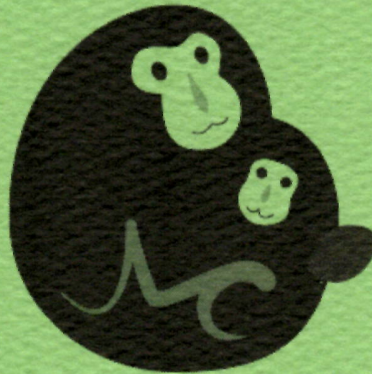


公益財団法人 日本モンキーセンター 年報

平成 26 年度



公益財団法人日本モンキーセンター

巻 頭 言

所長 松沢 哲郎

日本モンキーセンター(英文名称 Japan Monkey Centre、英文略称JMC)の年報をお届けする。JMC は、2014 年 4 月 1 日に公益財団法人として生まれ変わった。すなわち本誌は、公益財団法人化した初年度である平成 26 年度(2014 年度)の活動報告である。

日本モンキーセンターは 1956 年 10 月 17 日に設立された。愛知県では徳川美術館に次いで 2 番目に古い登録博物館である。博物館として、霊長類に関する調査研究や資試料の収集と展示等の活動をおこないつつ、附属動物園を保有している。日本に動物園は約 90 施設あるが、博物館登録されて博士学芸員の常駐する動物園は珍しい。

日本モンキーセンターが世界に誇れるものが 2 つある。第 1 に、保有するサルの種類が世界一だ。霊長類は世界に約 300 種類が現存していて、そのすべてが絶滅の危機に瀕しているか、絶滅の恐れがある。そうした貴重なサル類を 66 種 953 個体(2015 年 8 月 31 日現在)も保有している。世界を見渡して、JMC 以上に多くの種類のサル類をもつ動物園はない。サル類に特化したきわめてユニークな動物園だといえる。標本資料も約 16000 点ある。

第 2 に、世界で最も古い英文の学術誌 PRIMATES を発行している。1957 年に刊行を開始した。現在、霊長類学の英文学術誌は 5 誌あるが、本誌が最も古くから継続している。日本発行の英文学術誌が世界最古、というきわめて珍しい学問分野だといえる。

昨年 4 月に公益財団法人化という最も困難な選択をした。京大霊長類研究所教授のまま兼職・無給の所長職をつとめている。こうした決意をするにあたっては、創立以来の支援をくださった名古屋鉄道ならびに名鉄インプレスに厚く御礼申し上げたい。移行して 1 年半が経過した。尾池和夫理事長(京都造形芸術大学学長)のもと、所長・松沢哲郎、博物館長・山極壽一(京都大学総長)、動物園長・伊谷原一(京都大学野生動物研究センター教授)が一致協力して運営に携わっている。

京都大学では、5 つのリーディング大学院と呼ばれる博士課程の人材育成プログラムを実施している。そのひとつが 2013 年 10 月 1 日に発足した「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院(英文略称、PWS)」である。PWS は、霊長類を初めとする絶滅の危機に瀕した野生動物について、研究・教育・実践をおこなっている。日本モンキーセンターはまさにその実践の場だと位置づけられる。<http://www.wildlife-science.org/index.html>

公益財団法人化した日本モンキーセンターの使命を定款で明確に記載した。一言でいえば、日本モンキーセンターは「自然への窓」である。サル類を通じて、彼らが暮らす自然そのもののへの憧憬を人々の心の中に育みたい。まずは犬山の博物館・動物園に足を運んでご覧いただくことを願う。HP を参照いただきたい。英文：<http://www.japanmonkeycentre.org/>、和文：<http://www.j-monkey.jp/>、さらにはフランス語、ポルトガル語、中国語も整備した。来年の創立 60 周年に向け、関係各位のいっそうのご支援をお願いして、平成 26 年度の年報の巻頭のことばとする。



尾池和夫理事長



後列左より長谷川寿一理事、伊谷原一動物園長、松沢哲郎所長、
前列左より山極壽一博物館長、尾池和夫理事長

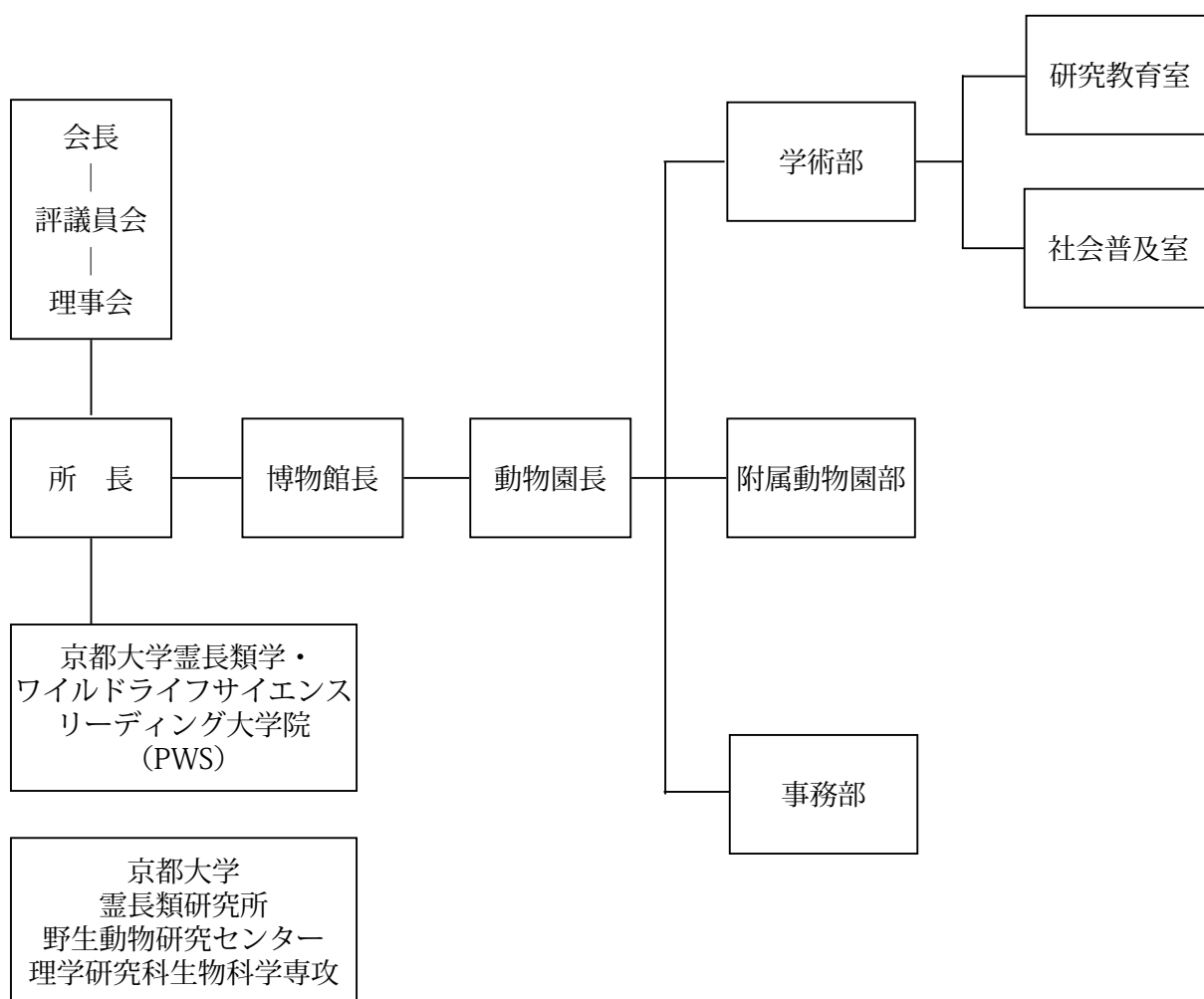
目 次

巻頭言（所長 松沢哲郎）	1
目次	3
総務	
I 組織	6
II 人事	9
III 総務	11
IV 入場人員	14
公益事業	
I 研究活動	16
II 学会および研究会	22
III 出版	37
IV 生息地研修	45
V 普及教育活動	59
VI 会議・研修	73
VII 広報・PR	76
VIII 連携研究・研修の受け入れ	77
IX 飼育・展示および収集・保存	82
X 友の会	106
XI 寄附活動	107
XII 施設	108
XIII その他	113
収益事業	
I 動物園付帯事業	118
II 土地・建物の賃貸事業	119
経理	
I 計算書類	122

総務

I 組織

1. 組織図（平成 27 年 3 月 31 日現在）



2. 役員（平成 27 年 3 月 31 日現在、50 音順、敬称略）

役 職	氏 名	備 考
会 長	河合 雅雄	京都大学名誉教授 日本モンキーセンター元所長
理事長	尾池 和夫	京都大学名誉教授 京都造形芸術大学 学長
常務理事	伊谷 原一	京都大学野生動物研究センター 教授 日本モンキーセンター動物園長
	松沢 哲郎	京都大学霊長類研究所 教授 日本モンキーセンター所長
	山極 壽一	京都大学 総長 日本モンキーセンター博物館長
理 事	市川 光雄	京都大学名誉教授 日本モンキーセンター前所長
	河野 英雄	名古屋鉄道(株) 取締役会長
	長谷川 寿一	東京大学 副学長
	山本 亜土	名古屋鉄道(株) 取締役社長
	吉川 泰弘	千葉科学大学 副学長
監 事	中野 雄介	中野公認会計士事務所 所長
	拝郷 寿夫	名古屋鉄道(株) 取締役事業企画部長
評議員	秋久 成人	京都市動物園 園長
	伊藤 博司	(株)名鉄インプレス 取締役社長
	小川 秀司	中京大学国際教養学部 教授
	亀崎 直樹	岡山理科大学生物地球学部 教授
	國松 豊	龍谷大学経営学部 教授
	幸島 司郎	京都大学野生動物研究センター長 教授
	田中 正之	京都市動物園 生き物・学び・研究センター長
	橋川 央	名古屋市東山動物園 園長
	平井 啓久	京都大学霊長類研究所所長 教授
	平田 聡	京都大学野生動物研究センター 教授
	山崎 由紀子	国立遺伝学研究所 准教授
	湯本 貴和	京都大学霊長類研究所 教授

3. 職員（平成 27 年 3 月 31 日現在）

所長	松沢 哲郎	（京都大学霊長類研究所 教授）
博物館長・学術部長	山極 壽一	（京都大学 総長）
動物園長・事務局長（兼任）	伊谷 原一	（京都大学野生動物研究センター 教授）
動物園長補佐・附属動物園部長	木村 直人	
学術部 研究教育室	高野 智	
	赤見 理恵	
	新宅 勇太	（京都大学野生動物研究センター 特定研究員）
	綿貫 宏史朗	（京都大学霊長類研究所 特定研究員）
	古賀 典子	（京都大学野生動物研究センター 特定研究員）
社会普及室	加藤 章	
	江藤 彩子	
附属動物園部	堀込 亮意	
	岡部 直樹	（京都大学野生動物研究センター 特定研究員）
	坂口 真悟	
	奥村 文彦	
	鏡味 芳宏	
	田中 ちぐさ	
	寺尾 由美子	
	根本 慧	
	廣川 百恵	
	星野 智紀	
	荒木 謙太	
	山田 真理子	
	辻内 裕美	
	中尾 汐莉	
	中村 翔	
	長谷川 裕士	
	廣川 類	
	山田 将也	
	石田 崇斗	
	杉浦 直樹	
	村山 祐哉	
事務部	安倍 由里香	
	今井 由香	（京都大学野生動物研究センター 教務補佐員）
	根本 真菜美	
	大岡 幸男	
	栗田 恵美子	
	仙石 久子	
	日下 征二	
	山田 久	

Ⅱ 人事

1. 採用

平成 26 年 4 月 1 日付

所長

博物館長

動物園長

附属動物園部長・動物園長補佐

学術部 研究教育室

社会普及室

附属動物園部

事務部

松沢哲郎（京都大学霊長類研究所教授）

山極壽一（京都大学大学院理学研究科教授）

伊谷原一（京都大学野生動物研究センター教授）

木村直人

高野智

赤見理恵

加藤章

江藤彩子

堀込亮意

坂口真悟

星野智紀

鏡味芳宏

佐藤百恵

廣川類

山田将也

荒木謙太

中村翔

石田崇人

杉浦直樹

安倍由里香

寺尾由美子

奥村文彦

根本慧

加藤真理子

中尾汐莉

辻内祐美

長谷川裕士

杉浦直樹

村山祐哉

大岡幸男

平成 26 年 4 月 30 日付

附属動物園部

田中ちぐさ

平成 26 年 7 月 11 日付

事務部

石田千佳

日下征二

石田早恵子

稲垣りの

山田久

仙石久子

栗田恵美子

平成 26 年 9 月 1 日付

事務部

根本真菜美

平成 26 年 9 月 16 日付

附属動物園部

三宅菜穂美

2. 着任

平成 26 年 4 月 1 日付
学術部 研究教育室

事務部

大橋岳（京都大学野生動物研究センター）
新宅勇太（京都大学野生動物研究センター）
綿貫宏史朗（京都大学野生霊長類研究所）
古賀典子（京都大学野生動物研究センター）
今井由香（京都大学野生動物研究センター）

平成 26 年 12 月 1 日付
附属動物園部

岡部直樹（京都大学野生動物研究センター）

3. 退職

平成 26 年 8 月 31 日付
事務部

稲垣りの

平成 26 年 9 月 31 日付
事務部

石田千佳

平成 27 年 1 月 31 日付
事務部

石田早恵子

平成 27 年 3 月 31 日付
附属動物園部

山田真理子 中村翔
村山祐哉

4. 離任

平成 26 年 12 月 31 日付
学術部 研究教育室

大橋岳（中部大学人文学部講師へ）

III 総務

1. 理事会、評議員会の開催

- (1) 第1回公益財団法人日本モンキーセンター評議員会
(第83回財団法人日本モンキーセンター評議員会) (みなし決議)
日程：平成26年4月1日
- (2) 第1回公益財団法人日本モンキーセンター理事会
(第97回財団法人日本モンキーセンター理事会)
日程：平成26年4月1日 11:00～
会場：名古屋鉄道株式会社 (愛知県名古屋市)
- (3) 第2回理事会
日程：平成26年5月7日 13:00～
会場：名鉄グランドホテル (愛知県名古屋市)
- (4) 第2回評議員会
日程：平成26年6月3日 13:00～
会場：公益財団法人日本モンキーセンター内
- (5) 第3回理事会 (みなし決議)
日程：平成26年12月24日
- (6) 第4回理事会 (みなし決議)
日程：平成27年3月28日

2. 公益財団法人移行に伴う申請・届出の提出 (動物・病院関係を除く)

- ① 役員変更登記申請書 (名古屋法務局) 平成26年4月
- ② 法定外公共物使用等承継届 (継鹿尾川給水ポンプ室・給水管) (犬山市農林治水課) 平成26年4月
- ③ 健康保険・厚生年金被保険者資格取得届 (愛知県一宮市) 平成26年4月
- ④ 犬山市道路占有許可申請書 (地下給水管) (犬山市道路維持課) 平成26年4月
- ⑤ (公社) 日本動物園水族館協会正会員入会申込 (公益社団法人日本動物園水族館協会) 平成26年4月
- ⑥ 府省共通研究開発管理システム研究機関情報変更申請書
(府省共通研究開発管理システム運用担当) 平成26年4月
- ⑦ 学術研究機関の名称変更等に伴う変更届 (文部科学省) 平成26年4月
- ⑧ 雇用保険事業主事業所各種変更届および雇用保険被保険者資格取得届
(犬山ハローワーク) 平成26年4月
- ⑨ 労働保険 名称、所在地等変更届 (江南労働基準監督署) 平成26年4月
- ⑩ 危険物貯蔵所変更届出書 (地下重油タンク) (愛知県犬山市消防本部) 平成26年4月
- ⑪ 消防計画作成 (変更) 届出書 (愛知県犬山市消防本部) 平成26年4月

- | | |
|---|--------------|
| ⑫ 砂防指定地内行為についての許可申請（継鹿尾川給水ポンプ室・給水管） | 平成 26 年 4 月 |
| ⑬ 博物館登録申請書記載事項の変更届出書（愛知県教育委員会） | 平成 26 年 5 月 |
| ⑭ 犬山市危険物安全物協会氏名変更届出書（愛知県犬山市消防本部） | 平成 26 年 5 月 |
| ⑮ 電波法に基づく簡易無線機の申請・届出等に関わる委任（株式会社メイエレック） | 平成 26 年 5 月 |
| ⑯ 犬山市観光協会 法人会員への入会（犬山市観光協会） | 平成 26 年 7 月 |
| ⑰ 移行登記完了届出書（文部科学省学術機関課） | 平成 26 年 8 月 |
| ⑱ 無線機免許更新（メイエレックに委託） | 平成 26 年 10 月 |
| ⑲ 炭化装置・乾燥炉設置届（犬山市消防本部） | 平成 26 年 10 月 |
| ⑳ セミナーハウス白帝の使用届出（犬山市消防本部） | 平成 26 年 10 月 |
| ㉑ 法定外公共物使用等期間更新許可申請（継鹿尾川給水ポンプ室・給水管）
（犬山市農林治水課） | 平成 27 年 1 月 |
| ㉒ 法定外公共物使用等期間更新許可申請（樋ヶ洞川給水管） | 平成 27 年 1 月 |
| ㉓ 法定外公共用物用途廃止、ならびに払い下げに伴う申請（犬山市） | 平成 27 年 3 月 |

3. 各種契約

(1) 業務委託

- | | |
|-----------------|-------------|
| ① 浄化槽維持管理 | 名鉄環境造園 |
| ② 発券・改札等事務 | 名鉄インプレス |
| ③ 動物検査 | ファルコバイオシステム |
| ④ 自家用電気工作物保安全管理 | 中部電気保安協会 |
| ⑤ 税理士業務 | 中野会計事務所 |
| ⑥ 警備 | 総合警備保障 |
| ⑦ 夜間巡回警備 | 日興エール |
| ⑧ 消防点検 | 総合ビルサービス |
| ⑨ 自動ドア点検 | ナブコドア |
| ⑩ レントゲン検査 | テクノ中部 |
| ⑪ バコティンヒーター点検 | 若松物産 |
| ⑫ ビジターセンター床清掃 | ダイキチカバーオール |
| ⑬ 飲食販売業務 | COCOMO |

(2) 業務受託

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ① 販売業務（おサルのウンチ：チョコレート菓子） | モノ・リンク |
| ② 販売業務（げんこつ：郷土菓子） | 巖骨庵 |
| ③ 販売業務（書籍） | 綿貫宏史朗 |
| ④ 販売業務（書籍・ポストカード） | 磯野代始子 |
| ⑤ 販売業務（グッズ） | サンクチュアリプロジェクト |
| ⑥ 自動販売機設置 | 名鉄協商 |
| ⑦ プリクラ機 | フリュー |
| ⑧ 特定動物（ニホンザル）飼養 | 犬山市 |

(3) 賃貸借契約

- | | |
|--------------------|------------|
| ① AED（自動体外式除細動器）借受 | 総合警備保障 |
| ② 高圧ガス容器使用（動物病院）借受 | 原田商店 |
| ③ Wi-Fi 設置 貸付 | ソフトバンクモバイル |
| ④ 電柱 貸付 | NTT |
| ⑤ 電柱 貸付 | DOCOMO |
| ⑥ コインロッカー 設置場所貸付 | グローリーサービス |

(4) その他契約

- | | |
|-------------------|--------------|
| ① 宮島ニホンザル捕獲に関する契約 | 宮島観光開発、名古屋鉄道 |
|-------------------|--------------|

4. その他

(1) 訓練の実施

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| ① AED 取扱講習 | 平成 26 年 7 月 29 日、7 月 30 日 |
| ② 大型類人猿脱出時対策訓練 | |
| 捕獲訓練 | 平成 26 年 12 月 8 日 |
| 招集訓練 | 平成 27 年 3 月 18 日 |
| ③ 初期消火訓練 | 平成 26 年 3 月 18 日 [平成 26 年度分を実施] |

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| (2). 土地測量・分筆の実施（柴山コンサルタント株式会社） | 平成 26 年 6 月～ 10 月 |
|--------------------------------|-------------------|

IV 入場人員

1. 月別入場人員数

入園区分	有料		無料	合計	開園日数
	一般	団体			
平成 26 年 4 月	8,351	645	4,670	13,666	23 日間 (1 日、30 日は開園)
5 月	17,570	2,244	10,782	30,596	24 日間
6 月	6,770	186	6,363	13,319	22 日間
7 月	3,519	318	1,018	4,855	21 日間
8 月	7,412	602	1,448	9,462	27 日間 (10 日は台風のため 休園、12 日は開園)
9 月	12,748	474	2,258	15,480	22 日間
10 月	10,200	6,368	2,112	18,680	25 日間 (6 日は終日、13 日は 半日、台風のため休園)
11 月	10,931	2,414	1,741	15,086	22 日間
12 月	2,996	175	534	3,705	22 日間
平成 27 年 1 月	5,416	22	1,040	6,478	23 日間
2 月	3,112	354	850	4,316	9 日間
3 月	9,406	8,00	1,674	11,880	22 日間
合計	98,431	14,602	34,490	147,523	262 日間

※休園日：祝日を除く火曜・水曜。
ただし 8 月と 10 月は火曜のみ、2 月は平日全てが休園日。

(参考) 過去 20 年間の年間入場者数の推移 (数値は遊園地日本モンキーパークとの総計)

年度	入場人員	年度	入場人員	年度	入場人員
平成 6 年	905,624	平成 13 年	905,169	平成 20 年	725,870
7 年	894,152	14 年	798,353	21 年	604,306
8 年	1,035,509	15 年	711,889	22 年	595,391
9 年	897,663	16 年	776,068	23 年	560,920
10 年	844,804	17 年	594,590	24 年	562,465
11 年	774,709	18 年	734,906	25 年	548,045
12 年	830,102	19 年	773,256		

公益事業

I 研究活動

1. 霊長類調査研究

- (1) 霊長類の社会行動の研究
- (2) 霊長類の進化に関する研究
- (3) 霊長類の形態学的研究
- (4) 霊長類の生態学的研究
- (5) 大型類人猿の保全研究
- (6) 霊長類の飼育管理の改善に関する研究
- (7) 霊長類の繁殖・疾病に関する研究
- (8) 霊長類を中心とした教材開発に関する研究
- (9) 霊長類標本の作製・管理並びに研究利用
- (10) 研究会等の積極的参加による情報の交換と収集
- (11) 霊長類希少種の人工繁殖や遺伝子に関する研究
- (12) 住民参加による熱帯雨林と生物多様性の保全に関わる基礎研究

2. 外部研究費による研究活動

- (1) 日本学術振興会科学研究費若手研究 B (2013-2015)
代表者：公益財団法人日本モンキーセンター・キュレーター 赤見理恵
課題名：動物園における学習利用促進のための利用者研究と事前学習教材の開発
- (2) 京都大学霊長類研究所共同利用研究
代表者：公益財団法人日本モンキーセンター・飼育技術員 佐藤百恵
課題名：遺伝子分析を利用したワオキツネザルの父系判定の研究

3. 他機関との連携

- (1) 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院との連携
平成 26 年 4 月 1 日～
- (2) 京都大学霊長類研究所との学術交流協定の締結
平成 26 年 10 月 15 日
- (3) JMC 所蔵分子生物学資料の取扱いに関する覚書の締結（京都大学霊長類研究所）
平成 26 年 10 月 15 日
- (4) 大型類人猿情報ネットワーク（GAIN）との連携
平成 26 年 4 月 1 日～綿貫宏史朗
- (5) 環境省生物多様性センター モニタリングサイト 1000 里地調査の実施
S118 犬山地域（日本モンキーセンター哺乳類調査グループ）
園敷地内に赤外線カメラを設置し、中型哺乳類を中心に撮影
撮影期間：平成 26 年 6 月 6 日～7 月 22 日



タヌキ (6月23日撮影)



キツネ (7月22日撮影)



ハクビシン (6月28日撮影)



アライグマ (6月12日撮影)



ニホンノウサギ (6月27日撮影)

モニタリングサイト 1000
赤外線カメラで撮影された動物

4. 研究業績

(1) 論文ほか

- ① Matsuda I, Tuuga A, Hashimoto C, Bernard H, Yamagiwa J, Fritz J, Tsubokawa K, Yayota M, Murai T, Iwata Y, Clauss M. (2014) Faecal particle size in free-ranging primates supports a 'rumination' strategy in the proboscis monkey (*Nasalis larvatus*). *Oecologia* 174: 1127-1137.
- ② 山極壽一. (2014) 人間性の起源を探求する重要性. *Anthropological Science (Japanese Series)* 122: 76-81.
- ③ Wilfried EEG, Yamagiwa J. (2014) Use of tool sets by chimpanzees for multiple purposes in Moukalaba-Doudou National Park, Gabon. *Primates* 55: 467-472.

- ④ Tsuchida S, Kitahara M, Nguema PPM, Norimitsu S, Fujita S, Yamagiwa J, Ngomanda A, Ohkuma M, Ushida K. (2014) *Lactobacillus gorillae* sp nov., isolated from the faeces of captive and wild western lowland gorillas (*Gorilla gorilla gorilla*). International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology 64: 4001-4006.
- ⑤ Yamagiwa J, Tsubokawa K, Inoue E, Ando C. (2015) Sharing fruit of *Treculia africana* among western gorillas in the Moukalaba-Doudou National Park, Gabon: preliminary report. Primates 56: 3-10.
- ⑥ Yamagiwa J. (2015) Preface for « Conservation of biodiversity in tropical forest through sustainable coexistence between human and wild animals », a special issue of Tropics. Tropics 23: 135.
- ⑦ Martin CF , Bhui R, Bossaer P, Matsuzawa T, Camerer C. (2014) Chimpanzee choice rates in competitive games match equilibrium game theory predictions. Scientific Reports 4: 5182.
- ⑧ Ross KM, Bard KA, Matsuzawa T. (2014) Playful expressions in one-year-old chimpanzee infants in social and solitary play contexts Frontiers in Psychology 5: 741.
- ⑨ Kret M, Tomonaga M, Matsuzawa T. (2014) Chimpanzees and Humans Mimic Pupil-Size of Conspecifics. PLoS ONE 9: e104886.
- ⑩ Martin CF, Biro D, Matsuzawa T. (2014) The Arena System: a novel shared touch-panel apparatus for the study of chimpanzee social interaction and cognition. Behavior Research Methods. 46: 611-618.
- ⑪ Wilson ML, Boesch C, Fruth B, Furuichi T, Gilby IC, Hashimoto C, Hobaiter CL, Hohmann G, Itoh N, Koops K, Lloyd JN, Matsuzawa T, Mitani JC, Mjungu DC, Morgan D, Muller MN, Mundry R, Nakamura M, Pruett J, Pusey AE, Riedel J, Sanz C, Schel AM, Simmons N, Waller M, Watts DP, White F, Wittig RM, Zuberbühler K, Wrangham RW. (2014) Lethal aggression in *Pan* is better explained by adaptive strategies than human impacts. Nature 513: 414-417.
- ⑫ Granier N, Hambuckers A, Matsuzawa T, Huynen M. (2014) Density estimates and nesting-site selection in chimpanzees of the Nimba Mountains, Côte d'Ivoire, and Guinea American Journal of Primatology 76: 999-1010.
- ⑬ Saito A, Hayashi M, Takeshita H, Matsuzawa T. (2014) The Origin of Representational Drawing: A Comparison of Human Children and Chimpanzees. Child Development 85: 2232–2246.
- ⑭ Morimura N, Ohashi G, Matsuzawa T. (2014) A survey of the savanna vegetation in Bossou, Guinea. Pan African News 21(2): 22-24.
- ⑮ Benito-Calvo A, Carvalho S, Arroyo A, Matsuzawa T, de la Torre I. (2015) First GIS Analysis of Modern Stone Tools Used by Wild Chimpanzees (*Pan troglodytes verus*) in Bossou, Guinea, West Africa. PLOS One 10: e0121613.

- ①⑥ Koops K, Schöning C, McGrew WC, Matsuzawa T. (2015) Chimpanzees prey on army ants at Seringbara, Nimba Mountains, Guinea: Predation patterns and tool use characteristics American Journal of Primatology 77: 319-329.
- ①⑦ Okamoto M, Miyazawa T, Morikawa S, Ono F, Nakamura S, Sato E, Yoshida T, Yoshikawa R, Sakai K, Mizutani T, Nagata N, Takano J, Okabayashi S, Hamano M, Fujimoto K, Nakaya T, Iida T, Horii T, Miyabe-Nishiwaki T, Watanabe A, Kaneko A, Saito A, Matsui A, Hayakawa T, Suzuki J, Akari H, Matsuzawa T, Hirai H. (2015) Emergence of infectious malignant thrombocytopenia in Japanese macaques (*Macaca fuscata*) by SRV-4 after transmission to a novel host. Scientific Reports 5: 8850.
- ①⑧ 松沢哲郎, 山極壽一, 伊谷原一. (2014) 公益財団法人日本モンキーセンター ―「自然の窓」としての動物園―. (ちびっ子チンパンジーと仲間たち 第152回) 科学 84: 842-843.
- ①⑨ 松沢哲郎, 山極壽一, 伊谷原一. (2015) 京都大学リーディング大学院 PWS 実践の場としての日本モンキーセンター. ヒマラヤ学誌 16: 2-10.
- ②⑩ 高野智. (2014) 自然人類学の要素を取り入れた博学連携プログラム. Anthropological Science (Japanese Series) 122: 68-70.
- ②⑪ 大橋岳. (2014) チンパンジーの文化的行動. アフリカ学会 (編) アフリカ学事典: pp460-461. 昭和堂. (2014年6月発行)
- ②⑫ 綿貫宏史朗, 落合知美, 平田聡, 森村成樹, 友永雅己, 伊谷原一, 松沢哲郎. (2014) 日本におけるチンパンジー飼育の変遷 (1926-2013年). 霊長類研究 30: 147-156.
- ②⑬ 大橋岳. (2014) ボッソウからリベリアへ ―国境を越えてチンパンジーを探す. プリマーテス研究会記録 55: 6-9. (2014年12月発行, 財団法人日本モンキーセンター平成25年度年報収録)

(2) 総説

- ① 山極壽一. (2014) 人間性の起源を探求する重要性. Anthropological Science (Japanese Series) 122: 76-81.
- ② 山極壽一. (2014) 野菜に飢えた日々: アフリカ熱帯雨林のキャンプ生活. Vesta 95: 14-15.
- ③ 山極壽一. (2014) ゴリラから見た人間の少子化と子育て. ひと・健康・未来 3: 4-5.
- ④ 山極壽一. (2014) 現代の大学に求められること. 青淵 787: 2-3.
- ⑤ 山極壽一. (2014) 学びの場としての屋久島ーサルとヒトと歩いた40年. 屋久島学 1: 33-45.
- ⑥ 山極壽一. (2014) こころにひびくことばー自然がほほ笑むとき. PHP 799: 表Ⅲ.
- ⑦ 山極壽一. (2014) 自然がほほ笑むとき. PHP 799: 113.
- ⑧ 山極壽一. (2015) 真の国際化とは何かー独創性を持ったリーダーの育成を. 中央公論 2月号: 108-115.

- ⑨ 山極壽一, 梶田真章 . (2015) 森の DNA — ままならぬ世を生きる知恵 —. MOKU 276: 54-67.
- ⑩ 山極壽一. (2015) ゴリラにならない泰然自若を信条に京都ならではの研究・教育の場を. U7 59: 6-19.
- ⑪ 山極壽一. (2015) 負けない構えの美しさをゴリラから学ぶ. 学燈 112: 2-5.
- ⑫ 山極壽一. (2015) 教育の原点と京都大学の国際戦略. NIKKEI 65: 1-4.
- ⑬ 山極壽一, 林真理子 . (2015) なぜ人は家族をつくるのか. 家の光 91(5): 22-27.
- ⑭ 山極壽一. (2015) 大人の品格はゴリラに学んだ. Fortuna 2: 34-37.
- ⑮ 山極壽一, 茂木健一郎 . (2015) 人間のルーツ、ゴリラが教えてくれる：メスの本能 PRESIDENT 2015.3.2 号 : pp.20-25.
- ⑯ 山極壽一. (2015) 父という余分なもの. OSAKA ROTARY CLUB Weekly Bulletin 2952 : 1-2.
- ⑰ 山極壽一, 林真理子 . (2015) 対談「なぜ人は家族をつくるのか」. 家の光創立 90 周年記念号 91(5) : 22-27.

(3) 書籍

- ① 山極壽一. (2014) 「サル化」する人間社会. 集英社インターナショナル
- ② 山極壽一. (2014) 父という余分なもの：サルに探る文明の起源. 新潮文庫
- ③ 山極壽一. (2014) サルを通してヒトをみつめる. 倉本聰・林原博光編「愚者が聞く」, 双葉社, pp. 155-197.
- ④ 山極壽一. (2014) ゴリラから人間関係を学べ. ビートたけし著「たけしのグレートジャーニー」, 新潮社, pp. 73-92.
- ⑤ 山極壽一. (2014) ゴリラが教えてくれた構えの継承. 京都芸術センター叢書「継ぐこと、伝えること」, 京都芸術センター, pp. 190-194.
- ⑥ 山極壽一. (2014) 言語以前のコミュニケーションと社会性の進化. 57 科学のとりら「人間とは何か—先端科学でヒトを読み解く」, 東京化学同人, pp.41-71.
- ⑦ 山極壽一. (2014) ゴリラが語る「ヒトとは何か」. 「人生を考えるのに遅すぎるということはない」, 講談社, pp.95-124.

(4) 記事

- ① 山極壽一 毎日新聞「時代の風」

「動物たちから学ぶこと—野生の姿から自分知る」	平成 26 年 4 月 20 日
「ともに生きる作法—他の生物たちと調和を」	平成 26 年 5 月 25 日
「科学する二つの能力—こだわりと発想の転換」	平成 26 年 6 月 29 日
「サル化する人間社会—低下する共感や連帯」	平成 26 年 8 月 3 日
「世界へ送り出す窓—大学教育の使命」	平成 26 年 9 月 21 日
「過大な期待は将来奪う—若者たちの挑戦」	平成 26 年 11 月 16 日

- | | |
|--|-------------------|
| 「道徳の低下と孤独な社会—恥と罪の共同体再生を」 | 平成 27 年 1 月 25 日 |
| 「静かな環境で知を結集—大学の街と思索の舞台」 | 平成 27 年 3 月 1 日 |
| ② 山極壽一 京都新聞「こころの森」
「共同体による子育ての危機」 | 平成 26 年 4 月 15 日 |
| ③ 山極壽一 中国新聞
「失われゆくものどう守る」 | 平成 26 年 12 月 25 日 |
| ④ 山極壽一 京都新聞
「生きる知恵を与えてくれた、何の目的もなく集まり過ごす時間」 | 平成 27 年 1 月 1 日 |
| ⑤ 木村直人 中日新聞「愛ラブ自然」
「木の葉ザルすくすく成長（フランソアルトン）」 | 平成 26 年 6 月 4 日 |
| 「アヌビスヒヒ観察し『実物大の夏休み』を（アヌビスヒヒ）」 | 平成 26 年 8 月 20 日 |
| 「『マモル』成長 たかいたかい（チンパンジー）」 | 平成 26 年 10 月 29 日 |
| 「暖を取るサル 今冬も（ワオキツネザル）」 | 平成 27 年 1 月 28 日 |
| ⑥ 加藤章 全国学童保育連絡協議会「日本の学童はいく」
「サルのお尻は、なぜ赤いの？」 | 平成 26 年 12 月号 |

Ⅱ 学会および研究会

1. 第 59 回プリマーテス研究会の開催

日程：平成 27 年 1 月 31 日・2 月 1 日

参加者：108 名（所員 34 名含む）

演題：口頭発表 30 題（うち 1 題は当日キャンセル、JMC 職員発表 7 題を含む）

ポスター発表 34 題（JMC 職員発表 11 題を含む）

会場：ビジターセンターホール（口頭発表）、セミナーハウス白帝（ポスター発表）

発表賞

最優秀口頭発表賞

坪川 桂子（京都大学大学院理学研究科、日本学術振興会）

「ニシローランドゴリラにおける群れとヒトリオスの出会い」

最優秀ポスター発表賞

若森 参（京都大学霊長類研究所）

「サルはしっぽを振らないの？ How do rhesus macaque and northern pig-tailed macaque move thier tail?」

優秀口頭発表賞

早川 卓志（京都大学霊長類研究所、日本学術振興会）

「野生チンパンジーにおける苦味受容体の遺伝的多様性と進化」

廣川 百恵（公益財団法人日本モンキーセンター）

「遺伝子分析を利用したワオキツネザルの父系判定の研究」

Lira Yu (Primate Research Institute, Kyoto University / Japan Society of the Promotion of Science)

「An experimental study on interactional synchrony in chimpanzees (*Pan troglodytes*)」

優秀ポスター発表賞

伊藤 聡美（京都大学霊長類研究所）

「ワオキツネザルオスの前腕臭腺から分泌される物質の季節変化」

平栗 明実（京都大学霊長類研究所）

「飼育下チンパンジーにおける母親の「拍手」行動の出現について」

木村 直人（公益財団法人日本モンキーセンター）

「日本モンキーセンターにおける飼育動物の診療と死亡原因について
～動物病院 10 年の振り返りと今後の展望～」

プログラム（番号下線付きはモンキーセンター職員が発表者に含まれるもの）

2015 年 1 月 31 日（土）

10:00 ～ 12:00 口頭発表①

O-1 ニシローランドゴリラにおける群れとヒトリオスの出会い
 ○坪川桂子（京都大学大学院理学研究科、日本学術振興会）

O-2 ワンバの野生ボノボにおける食物分配
 ○山本真也（神戸大学大学院国際文化学研究科）

O-3 演題キャンセル

O-4 ヒトとニホンザルの甘味感受性の違い
 ○西栄美子、筒井圭、今井啓雄（京都大学霊長類研究所）

O-5 霊長類の脳進化をたどる：磁気共鳴画像（MRI）法によるこれまでの歩みと
 今後の展望
 ○酒井朋子（慶應義塾大学医学部）

O-6 染色体による霊長類の分類
 ○平井啓久（京都大学霊長類研究所）

O-7 野生チンパンジーにおける苦味受容体の遺伝的多様性と進化
 ○早川卓志^{1,2}、井上英治³、松尾ほだか¹、Kathelijne Koops⁴、村山美穂⁵、
 橋本千絵¹、松沢哲郎¹、今井啓雄¹（¹ 京都大学霊長類研究所、² 日本学術振興会、
 ³ 京都大学大学院理学研究科、⁴ ケンブリッジ大学、⁵ 京都大学野生動物研究
 センター）

O-8 遺伝子分析を利用したワオキツネザルの父系判定の研究
 ○廣川百恵¹、中尾汐莉¹、田中ちぐさ¹、加藤真理子¹、川本芳²、市野進一郎³
 （¹ 公益財団法人日本モンキーセンター、² 京都大学霊長類研究所、³ 京都大学
 アフリカ地域研究資料センター）

12:00 ～ 13:00 休憩

13:00 ～ 14:15 口頭発表②

O-9 日本モンキーセンターにおけるエンリッチメントの取り組み
 ○山田将也、鏡味芳宏、荒木謙太（公益財団法人日本モンキーセンター）

O-10 飼育下ヤクニホンザルにおける形態の時間的変化
 ○新宅勇太（公益財団法人日本モンキーセンター、京都大学野生動物研究
 センター）

- O-11 飼育下チンパンジーにおける子どもとその集団の社会的発達について
○川上文人^{1,2}、Chloe Gonseth^{1,2}、市野悦子¹、平栗明実¹、林美里¹
(¹ 京都大学霊長類研究所、² 日本学術振興会)
- O-12 動物園飼育の霊長類における系列学習
○田中正之^{1,2}、松永雅之¹、島田かなえ¹、伊藤二三夫¹、佐々木智子¹
(¹ 京都市動物園、² 京都大学野生動物研究センター)
- O-13 日本モンキーセンターにおける霊長類コレクションの自己評価と今後の持続可能性
○綿貫宏史朗 (公益財団法人日本モンキーセンター、京都大学霊長類研究所)

14:15 ~ 14:45 休憩

14:45 ~ 16:45 口頭発表③

- O-14 Enrichment and welfare of non-human primates at the Singapore Zoo
○ John Sha Chih Mun (Japan Society for the Promotion of Science, Primate Research Institute, Kyoto University)
- O-15 Can eye preferences in response to emotional stimuli be used as a welfare measure in captive capuchin monkeys?
○ Duncan Wilson¹, Sarah-Jane Vick² (¹University of Edinburgh, ²University of Stirling)
- O-16 The peaceful death of an old adult female chimpanzee in a captive group
○ James R. Anderson (Kyoto University Graduate School of Letters)
- O-17 An experimental study on interactional synchrony in chimpanzees (*Pan troglodytes*)
○ Lira Yu^{1,2}, Masaki Tomonaga¹ (¹Primate Research Institute, Kyoto University, ²Japan Society for the Promotion of Science)
- O-18 Gaze Following in Two Species of Colobine Monkeys
○ Jie Gao¹, Jingzhi Tan², Tao Chen³, Ruoting Tao, Yanjie Su³ (¹College of Life Sciences, Peking University, ²Department of Evolutionary Anthropology, Duke University, ³Department of Psychology, Peking University)
- O-19 Age-Related Changes in the cranial thickness of Japanese Macaques (*Macaca fuscata*)
○ Nguyen Van Minh, Eishi Hirasaki, Yuzuru Hamada (Primate Research Institute, Kyoto University)

- O-20 Hormonal profile of free-ranging Japanese macaques: effects of environment, social behavior and reproductive state
○ Rafaela S. C. Takeshita, Michael A. Huffman, Fred B. Bercovitch (Primate Research Institute, Kyoto University)

- O-21 Hidden constraints of nematode infection on body mass and fecundity in Japanese macaques
○ Andrew MacIntosh (Primate Research Institute, Kyoto University)

17:00 ~ 19:00 ポスターセッション

2015 年 2 月 1 日 (日)

10:00 ~ 11:00 口頭発表④

- O-22 動物園は霊長類のイメージを変えられるか
○ 赤見理恵、高野智 (公益財団法人日本モンキーセンター)

- O-23 テレビ電話機能を使った理科の授業実践 — 5 年生「人の誕生」で、単元末に未知の課題を提案することを通して—
○ 古市博之 (愛知教育大学附属名古屋小学校)

- O-24 日本モンキーセンターにおける博物館学校連携 ～ 10 年間の歩みと今後の展望～
○ 高野智、赤見理恵 (公益財団法人日本モンキーセンター)

- O-25 タンザニアへの生息地研修とその後について
○ 奥村文彦、星野智紀 (公益財団法人日本モンキーセンター)

11:00 ~ 11:30 休憩

11:30 ~ 12:45 口頭発表⑤

- O-26 ボノボの協力行動に関する実験的研究
○ 川口ゆり¹、平田聡² (¹ 京都大学文学部、² 京都大学野生動物研究センター)

- O-27 霊長類における「追跡」の知覚
○ 渥美剛史 (京都大学霊長類研究所)

- O-28 チンパンジーにおける音のリズムに対する自発的な同調
○ 服部裕子 (京都大学霊長類研究所)

- O-29 大型類人猿ボノボによる生息地利用：長期行動観察データに基づく保全への提言
○ 寺田佐恵子、坂巻哲也、湯本貴和、古市剛史 (京都大学霊長類研究所)

- O-30 マレー半島のオランウータン野生復帰プログラム
○林美里¹、Rosimah Roslan²、Sabapathy Dharmalingam² (¹ 京都大学霊長類研究所、²Bukit Merah Orang Utan Island Foundation)

ポスター発表 Poster Presentations

- P-1 Less prevalence and severity of lumbar osteoarthritis found in free-ranging Japanese macaques which is different from captive macaques but similar to humans
○Porrawee Pomchote¹、Yuzuru Hamada¹、Tadashi Sankai² (¹Primate Research Institute, Kyoto University, ²Tsukuba Primate Research Center, National Institute of Biomedical Innovation)
- P-2 サルはしっぽを振らないの？ How do rhesus macaque and northern pig-tailed macaque move their tail?
○若森参、濱田穰 (京都大学霊長類研究所)
- P-3 スマトラオランウータン、フランジ雄死亡によるアンフランジ雄の2次的な性的発達について
○木村幸一¹、高倉健一郎¹、黒鳥英俊^{2,3}、木下こづえ^{3,4}、小倉匡俊⁵、尾崎康彦⁶、久世濃子^{4,7} (¹名古屋市東山動物園、²東京都恩賜上野動物園、³京都大学野生動物研究センター、⁴日本学術振興会、⁵北里大学獣医学部、⁶名古屋市立大学産婦人科、⁷国立科学博物館)
- P-4 ワオキツネザルオスの前腕臭腺から分泌される物質の季節変化
○伊藤聡美¹、白須未香²、宗近功³、東原和成²、今井啓雄¹ (¹ 京都大学霊長類研究所、² 東京大学大学院農学生命科学研究科／ERATO 東原化学感覚シグナルプロジェクト、³ 財団法人進化生物学的研究所)
- P-5 新世界ザルの苦味受容体応答の種間差
○筒井圭¹、尾頭雅大²、櫻井児太摩²、鈴木 - 橋戸南美¹、早川卓志¹、Barbara J. Welker³、Filippo Aureli^{4,5}、Colleen M. Schaffner⁵、Linda M. Fedigan⁶、河村正二²、今井啓雄¹ (¹ 京都大学霊長類研究所、² 東京大学大学院新領域創成科学研究科、³ State University New York Geneseo、⁴ Liverpool John Moores University、⁵ Universidad Veracruzana、⁶ University of Calgary)
- P-6 チンパンジーのネジキ中毒症例について
○岡部直樹¹、上垣隆一²、山中典子²、鶴殿俊史³ (¹ 公益財団法人日本モンキーセンター、² 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所、³ 京都大学野生動物研究センター)

- P-7 ボッソウにおけるサバンナ植生調査
 ○森村成樹¹、大橋岳²、松沢哲郎^{3,4} (¹ 京都大学野生動物研究センター、² 中部大学人文学部、³ 京都大学霊長類研究所、⁴ 日本モンキーセンター)
- P-8 リベリア共和国パラにおける野生チンパンジーの道具使用行動
 ○大橋岳 (中部大学人文学部)
- P-9 The role of mother-offspring contact in wild Bornean orangutans (*Pongo pygmaeus morio*)
 ○Morgane Allanic¹, Danica Stark², Benoit Goossens² (¹Primate Research Institute, Kyoto University, ²Danau Girang Field Centre, Cardiff University, Sabah, Malaysia)
- P-10 Mother-infant behavior in wild orangutans (*Pongo pygmaeus morio*), Danum Valley, Borneo
 ○Renata Mendonça, Tomoko Kanamori, Misato Hayashi, Tetsuro Matsuzawa (Primate Research Institute, Kyoto University)
- P-11 Spatial features of chimpanzees communicative behaviors
 ○C. Gonseth, F. Kawakami, E. Ichino, M. Tomonaga (Primate Research Institute, Kyoto University)
- P-12 Experimental investigation into cultural transmission: can captive monkeys learn a communicative, novel action from conspecifics in a social (begging) context?
 ○Claire Watson, Tetsuro Matsuzawa (Primate Research Institute, Kyoto University)
- P-13 No gratitude, but punishment?: orangutan's sensitivity to familiar selfish humans
 ○Yena Kim¹, Jae Chun Choe^{2,3}, Jeong Rae Rho⁴, Masaki Tomonaga¹ (¹Primate Research Institute, Kyoto University, ²Division of Ecoscience, Ewha Womans University, ³National Institute of Ecology, Republic of Korea, ⁴Animal Welfare Division, Seoul Zoo)
- P-14 認知バイアスの進化的・認知的基盤に関する検討
 ○村井千寿子¹・宮崎美智子²・友永雅己³・岡田浩之¹・今井むつみ⁴
 (¹ 玉川大学、² 大妻女子大学、³ 京都大学霊長類研究所、⁴ 慶応義塾大学)
- P-15 チンパンジーは自分の資産を増やそうとするのか
 ○黒澤圭貴、友永雅己 (京都大学霊長類研究所)
- P-16 協和音・不協和音はチンパンジーの同調タッピングに影響を与えるか?
 ○瀧山拓哉¹、服部裕子²、松沢哲郎² (¹ 京都大学理学部、² 京都大学霊長類研究所)

- P-17 チンパンジーにおける桁上がりをふくむ数系列の学習：1 から 19
○村松明穂^{1,2}、松沢哲郎¹（¹ 京都大学霊長類研究所、² 日本学術振興会）
- P-18 シロテテナガザル（*Hylobates lar*）とホオジロテナガザル（*Nomascus leucogenys*）のハイブリッド♀ 1 個体の音声の特徴
○打越万喜子¹、瀧本薫²、堂前弘志²、松村初男²、美馬秀夫²（¹ 京都大学霊長類研究所、² いしかわ動物園）
- P-19 第 1 回国際テナガザル会議の内容紹介と第 2 回会議のご案内
○打越万喜子（京都大学霊長類研究所）
- P-20 飼育下チンパンジーにおける母親の「拍手」行動の出現について
○平栗明実、川上文人、Claire Watson、Chloe Gonseth、市野悦子、有賀菜津美、林美里、友永雅己（京都大学霊長類研究所）
- P-21 飼育チンパンジーにおける夜間の就眠場所による社会関係の検討
○市野悦子、林美里（京都大学霊長類研究所）
- P-22 日本モンキーセンターにおける飼育動物の診療と死亡原因について
～動物病院 10 年のふりかえりと今後の展望～
○木村直人（公益財団法人日本モンキーセンター）
- P-23 左上肢を切断した飼育下チンパンジーにおける群れ再導入後の行動の変化
○櫻庭陽子^{1,2}、近藤裕治³、山本光陽³、今西鉄也³、橋川央³、足立幾磨¹、林美里¹（¹ 京都大学霊長類研究所、² 日本学術振興会、³ 名古屋市東山動植物園）
- P-24 日本モンキーセンターにおけるワオキツネザルの繁殖計画 ～繁殖制限と搬出～
○田中ちぐさ、中尾汐莉、廣川百恵、杉浦直樹（公益財団法人日本モンキーセンター）
- P-25 飼育下チンパンジーにおける食事内容の改善
○藤森唯、林美里（京都大学霊長類研究所）
- P-26 熊本サンクチュアリ研修から当園の飼育へ
○坂口真悟、堀込亮意、星野智紀、寺尾由美子、奥村文彦、鏡味芳宏、廣川百恵、根本慧、田中ちぐさ、中尾汐莉（公益財団法人日本モンキーセンター）
- P-27 日本モンキーセンター南米館における現在の飼育状況と今後の展望
○寺尾由美子、根本慧、廣川類（公益財団法人日本モンキーセンター）
- P-28 動物福祉に配慮したふれあい展示による学習効果の向上の試み
○三宅菜穂美、長谷川裕士、中村翔、石田崇斗、村山祐哉、堀込亮意（公益財団法人日本モンキーセンター）

- P-29 桃太郎園と谷津遊園のチンパンジー
○落合知美¹、綿貫宏史朗^{1,2}、鶴殿俊史³（¹ 京都大学霊長類研究所、² 日本モンキーセンター、³ 京都大学野生動物研究センター）
- P-30 幸島への生息地研修について
○中尾汐莉、寺尾由美子、根本慧、坂口真悟、堀込亮意（公益財団法人日本モンキーセンター）
- P-31 屋久島生息地研修 ～1 カ月 35 日雨がふる島へ～
○廣川類¹、辻内祐美¹、新宅勇太^{1,2}（¹ 公益財団法人日本モンキーセンター、² 京都大学野生動物研究センター）
- P-32 国際学術雑誌 PRIMATES：出版状況と取り組み
○古賀典子（公益財団法人日本モンキーセンター）
- P-33 公益財団法人日本モンキーセンターにおける初年度の出張派遣状況について
○今井由香、安倍由里香、根本真菜美、大岡幸男（公益財団法人日本モンキーセンター）
- P-34 日本モンキーセンターミュージアムショップの取り組み
江藤彩子、○加藤章（公益財団法人日本モンキーセンター）



2. 学会参加

(1) 希少動物人工繁殖研究会第 22 回会議

日程：平成 26 年 7 月 2 日～7 月 3 日

会場：神戸大学（兵庫県神戸市）

綿貫宏史朗、田中ちぐさ

(2) 第 30 回日本霊長類学会大会

日程：平成 26 年 7 月 4 日～7 月 6 日

会場：大阪大学（大阪府吹田市）、大阪科学技術センタービル（大阪府大阪市）

高野智、大橋岳、新宅勇太

(3) The 25th Congress of the International Primatological Society

日程：平成 26 年 8 月 11 日～16 日

会場：Melia Hotel Hanoi（Hanoi, Vietnam）

大橋岳、新宅勇太、古賀典子

(4) The 1st PWS Interim Symposium

日程：平成 26 年 8 月 29 日～8 月 30 日

会場：京都大学（京都府京都市）

大橋岳、新宅勇太、綿貫宏史朗、古賀典子、今井由香

(5) The 22nd Conference of International Zoo Educators Association

日程：平成 26 年 9 月 2 日～9 月 6 日

会場：L' Hotel Island South（Hong Kong, China）

赤見理恵

(6) 第 38 回日本科学教育学会年会

日程：平成 26 年 9 月 13 日～15 日

会場：埼玉大学、大宮ソニックシティ（埼玉県さいたま市）

高野智

(7) 第 20 回日本野生動物医学会つくば大会

日程：平成 26 年 9 月 16 日～19 日

会場：つくば国際会議場（茨城県つくば市）

綿貫宏史朗

(8) 第 62 回動物園技術者研究会

日程：平成 26 年 10 月 14 日～10 月 16 日

会場：松山全日空ホテル（愛媛県松山市）

綿貫宏史朗、荒木謙太

(9) 第 17 回アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い（SAGA シンポジウム）

日程：平成 26 年 11 月 15 日～11 月 16 日

会場：日立シビックセンター、日立市かみね動物園（茨城県日立市）

赤見理恵、新宅勇太、綿貫宏史朗、坂口真悟、鏡味芳宏、
奥村文彦、廣川百恵、田中ちぐさ、廣川類

(10) 第 55 回日本動物園水族館教育研究会仙台大会

日程：平成 26 年 12 月 13 日～14 日

会場：東京エレクトロンホール宮城（宮城県仙台市）

赤見理恵、荒木謙太

(11) 第 4 回日本マーモセット研究大会

日程：平成 27 年 1 月 22 日～1 月 23 日

会場：犬山市国際観光センター フロイデ（愛知県犬山市）

寺尾由美子、廣川類

(12) The 2nd Annual Symposium of Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science

日程：平成 27 年 3 月 5 日～3 月 8 日

会場：京都大学（京都府京都市）

新宅勇太、綿貫宏史朗、古賀典子、今井由香

(13) 動物園大学 5 in 高知 ず～ぜよ。

日程：平成 27 年 3 月 15 日

会場：高知県立のいち動物公園（高知県香南市）

赤見理恵、新宅勇太、綿貫宏史朗、中尾汐莉

3. 発表

(1) 学会・研究会での発表（プリマーテス研究会での発表を除く）

- ① 山極壽一, 伊谷原一, 松沢哲郎. (2014) 新生日本モンキーセンターと国際学術誌 PRIMATES の未来. 第 30 回日本霊長類学会大会・特別シンポジウム. (大阪府大阪市)
- ② Yamagiwa J. (2014) Closing Remarks. Mapping the mind. (Kyoto, Japan)
- ③ Basabose AK, Inoue E, Sebulimbwa K, Murhabale B, Akomo-Okoue E, Yamagiwa J. (2014) Estimating the population size and genetic structure of a wild chimpanzee community by genotyping fecal samples in Kahuzi-Biega National Park, Democratic Republic of Congo. International Primatological Society XXV Congress (Hanoi, Vietnam)
- ④ Yamagiwa J., Tsubokawa K, Inoue E, Ando C. (2014) Transfer of fruit among western lowland gorillas in Moukalaba-Doudou National Park, Gabon. International Primatological Society XXV Congress (Hanoi, Vietnam)
- ⑤ Ghislain Wilfried E, Yamagiwa J. (2014) Use of combined tools by chimpanzees for multiple purposes in Moukalaba-Doudou National Park, Gabon. International Primatological Society XXV Congress (Hanoi, Vietnam)
- ⑥ Yamagiwa J., Iwata Y, Tsubokawa K, Ando C, Basabose AK. (2014) Association patterns among females and males of eastern and western lowland gorillas. International Primatological Society XXV Congress (Hanoi, Vietnam)
- ⑦ Inoue E, Fujita S, Ando C, Akomo-Okoue EF, Nze-Nkogue C, Inoue-Murayama M, Yamagiwa J. (2014) Individual identification by fecal DNA analyses in a western gorilla group. International Primatological Society XXV Congress (Hanoi, Vietnam)
- ⑧ Yamagiwa J. (2015) Evolution of human sociality: What we can learn from gorillas. 1st Kyoto University-UC San Diego Joint Symposium: New Era of Trans-Pacific Knowledge Interactions (Kyoto, Japan)
- ⑨ 伊谷原一, 山極壽一, 松沢哲郎. (2014) 新しいモンキーセンターの動物園構想. 第 30 回日本霊長類学会大会・特別シンポジウム. (大阪府大阪市)
- ⑩ 高野智, 赤見理恵. (2014) 学校教育における霊長類の教材化 ～日本モンキーセンターにおける博学連携～. 第 30 回日本霊長類学会大会. (大阪府大阪市)
- ⑪ 新宅勇太. (2014) ヤクニホンザルの飼育群における下顎骨形態の変化. 第 30 回日本霊長類学会大会. (大阪府大阪市)

- ⑫ Ochiai T, Watanuki K, Udono T, Morimura N, Hirata S, Tomonaga M, Idani G, Matsuzawa T. (2014) The early history of captive chimpanzees in Japan. 第 74 回日本動物心理学会大会 . (愛知県犬山市)
- ⑬ Ohashi G. (2014) Tool use behaviors of wild chimpanzees at Kpala, Liberia. The 25th Congress of the International Primatological Society. (Hanoi, Vietnam)
- ⑭ Shintaku Y. (2014) Temporal change in skeletal morphology of captive Japanese macaques (*Macaca fuscata yakui*). The 25th Congress of the International Primatological Society. (Hanoi, Vietnam)
- ⑮ 柳井徳磨, 加藤由隆, 平田暁大, 酒井洋樹, 綿貫宏史朗. (2014) 突然死した雄のチンパンジーの病理学的検査. 第 23 回サル類の疾病と病理のための研究会ワークショップ 2014. (千葉県銚子市)
- ⑯ Ohashi G. (2014) Tool use behaviors of wild chimpanzees at Kpala, Liberia. The 1st PWS Interim Symposium. (京都府京都市)
- ⑰ Shintaku Y. (2014) Morphological change in captive Japanese Yaku macaque. The 1st PWS Interim Symposium. (京都府京都市)
- ⑱ Akami R, Takano T, Eto A. (2014) Educational programs and evaluation systems in JMC. The 22nd Conference of International Zoo Educators Association. (Hong Kong, China)
- ⑲ 高野智, 赤見理恵, 木村直人 (2014) 動物園が企画する教員向け研修会 . 日本科学教育学会第 38 回年会 . (埼玉県さいたま市)
- ⑳ 清水紫乃, 柵木利昭, 酒井洋樹, 柳井徳磨, 西村 剛, 落合知美, 綿貫宏史朗, 野田亜矢子. (2014) 大脳動脈瘤破裂による脳出血が疑われたチンパンジー (*Pan troglodytes*) の 1 例 . 第 20 回日本野生動物医学会つくば大会 . (茨城県つくば市)
- ㉑ 荒木謙太, 綿貫宏史朗, 鏡味芳宏, 堀込亮意, 木村直人, 伊谷原一. (2014) 日本モンキーセンターにおける環境エンリッチメントの取り組み. 第 62 回動物園技術者研究会. (愛媛県松山市)
- ㉒ 落合知美, 綿貫宏史朗, 打越万喜子, 伊谷原一, 友永雅己, 松沢哲郎. (2014) 国内血統登録書に未掲載のゴリラについて . 第 17 回 SAGA シンポジウム . (茨城県日立市)
- ㉓ 鏡味芳宏, 荒木謙太, 綿貫宏史朗, 堀込亮意, 木村直人, 伊谷原一. (2014) 日本モンキーセンターにおける環境エンリッチメントの取り組み . 第 17 回 SAGA シンポジウム . (茨城県日立市)
- ㉔ 綿貫宏史朗, 落合知美, 打越万喜子, 友永雅己, 伊谷原一, 松沢哲郎. (2014) 日本におけるゴリラ飼育の変遷 . 第 17 回 SAGA シンポジウム . (茨城県日立市)
- ㉕ 赤見理恵, 高野智, 南曜子 . (2014) 自由連想調査による学習効果の定性的評価の試み . 第 55 回日本動物園水族館教育研究会 . (宮城県仙台市)
- ㉖ 荒木謙太, 鏡味芳宏, 赤見理恵, 堀込亮意, 木村直人, 伊谷原一. (2014) 動物福祉に配慮したふれあい方法と展示の改善 . 第 55 回日本動物園水族館教育研究会 . (宮城県仙台市)

- ⑳ Shintaku Y. (2015) Morphometric comparison among generations of captive Japanese Yaku macaque (*Macaca fuscata yakui*). The 2nd Annual Symposium of Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science. (京都府京都市)
- ㉑ Watanuki K. (2015) Evaluation toward the future sustainability of the primate collection in Japan Monkey Centre. The 2nd Annual Symposium of Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science. (京都府京都市)
- ㉒ 赤見理恵. (2015) サルってどんなイメージ？—動物園が伝えていくべき野生動物の姿—. 動物園大学 5 in 高知 ず〜ぜよ。(高知県香南市)
- ㉓ 新宅勇太. (2015) ヤクニホンザルの 60 年：飼育下でおきた体型の変化. 動物園大学 5 in 高知 ず〜ぜよ。(高知県香南市)
- ㉔ 田中ちぐさ, 中尾汐莉, 廣川百恵, 杉浦直樹. (2015) 日本モンキーセンターにおけるワオキツネザルの繁殖計画〜繁殖制限と搬出〜. 動物園大学 5 in 高知 ず〜ぜよ。(高知県香南市)
- ㉕ 綿貫宏史朗, 赤見理恵, 根本慧. (2015) 野生を見に行こう！〜アマゾン野生動物研修〜. 動物園大学 5 in 高知 ず〜ぜよ。(高知県香南市)

4. 研究会、セミナー等での講演

(1) 国際会議招待講演

- ① Matsuzawa T. (2014) The evolutionary origins of human cognition viewed from the study of chimpanzees. Workshop on behavior, cognition and evolution, University of Lisbon. (Lisbon, Portugal).
- ② Matsuzawa T. (2014) The evolutionary origins of human cognition viewed from the study of chimpanzees. CogEvo-Rovereto Workshop on Cognition and Evolution. (Rovereto, Italy)
- ③ Matsuzawa T. (2014) The evolutionary origins of human cognitive development: insights from research on chimpanzees. XIX biennial international conference on infant studies. (Berlin, Germany)
- ④ Matsuzawa T. (2014) Symbolic representation of number and working memory in chimpanzees. Making of humanities: biological roots of mathematics and cooperation: a joint workshop of social psychology and neuroethology. (Sapporo, Japan)
- ⑤ Matsuzawa T. (2014) Evolution of human mind and culture viewed from the study of chimpanzees. International conference on collaboration across boundaries: culture, distance & technology. (Kyoto, Japan)
- ⑥ Matsuzawa T. (2014) A parallel effort of studying chimpanzees in the laboratory and in the wild. The 37th meeting of the American Society of Primatologists. (Decatur, USA)
- ⑦ Matsuzawa T. (2014) Education by master-apprenticeship in stone-tool use in wild chimpanzees. International Conference: Percussive Technology and Human Evolution, University College London. (London, UK)
- ⑧ Matsuzawa T. (2014) The evolutionary origins of human cognition viewed from the study of chimpanzees. IEEE ICDL-EPIROB 2014, Palazzo Ducale. (Genoa, Italy)

- ⑨ Matsuzawa T. Orangutans, gorillas, chimpanzees, and humans: the hominid family consists of the four genera. International primate/Orangutan Dialogue, University Sains Malaysia. (Pulau Pinang, Malaysia)
- ⑩ Matsuzawa T. (2015) Behavior, cognition, and ecology of Japanese snow monkeys: the introduction to Japan Monkey Centre founded in 1956. Lincoln Park Zoo. (Chicago, USA)
- ⑪ Matsuzawa T. (2015) The evolutionary origins of human cognitive development: insights from research on chimpanzees. 2015 SRCD biennial meeting. (Pennsylvania, USA)

(2) 国内講演

- ① 山極壽一. (2014) 言語以前のコミュニケーション：ゴリラの社会から考える．第 58 回システム制御情報学会大会．(京都府京都市)
- ② 足達太郎, 山極壽一. (2014) 第 3 回アフリカ生物学フォーラム．第 51 回日本アフリカ学会学術大会．(京都府京都市)
- ③ 山極壽一. (2014) ゴリラの妊娠・出産・育児から人間の進化を考える．第 50 回日本周産期・新生児医学会．(千葉県浦安市)
- ④ 山極壽一. (2014) 家族進化論—ゴリラの社会から見た人間性の由来．日本家族心理学会第 31 回大会．(京都府京都市)
- ⑤ 山極壽一. (2014) 老年期の進化と人間社会の未来．「寿命」第 3 回研究会．(愛知県春日井市)
- ⑥ 山極壽一. (2015) 京都大学の超高齢社会に対する貢献と安寧の都市ユニット．京都大学・安寧の都市ユニット 5 周年記念シンポジウム．(京都府京都市)
- ⑦ 山極壽一. (2015) ゴリラと生物多様性保全．第 6 回京都環境文化学術フォーラム．(京都府京都市)
- ⑧ 山極壽一. (2015) ゴリラ：「サル化」する人間社会．第 4 回ひと・健康・未来シンポジウム．(愛知県犬山市)
- ⑨ 山極壽一. (2015) 言語以前のコミュニケーション．情報処理学会第 77 回全国大会．(京都府京都市)
- ⑩ 伊谷原一. (2014) 動物園間の連携．第 17 回 SAGA シンポジウム．(茨城県日立市)
- ⑪ 伊谷原一. (2015) サルを知り、ヒトを知る．第 52 回中部財界セミナー．(愛知県犬山市)
- ⑫ 伊谷原一. (2015) 野生から学ぶ—ボノボ社会から見えるもの—．熊本市動植物園特別講演．(熊本県熊本市)
- ⑬ 坂口真悟. (2014) 日本モンキーセンターのゴリラ飼養歴史．第 17 回 SAGA シンポジウム．(茨城県日立市)

- ⑭ 中尾汐莉. (2015) 目にケガを負ったワオキツネザルの治療奮闘話～もとの群れに帰るまで～. 動物園大学 5 in 高知 ず～ぜよ。(高知県香南市)

5. JMC 動物園学セミナーの開催

(平成 26 年度 JMC セミナーおよび JMC-PRI 合同勉強会「動物園学セミナー」としてそれぞれ開催したものを統合)

第 1 回 (第 1 回 JMC-PRI 合同勉強会「動物園学セミナー」)

日時：平成 26 年 7 月 11 日

会場：京都大学霊長類研究所大会議室

演題：エンリッチメントの基礎と実践 橋本直子・藤森唯 (京都大学霊長類研究所)

演題：生息地観察からの応用 (幸島研修報告) 坂口真悟 (日本モンキーセンター)

ワークショップ：消防ホースを使った実践例

橋本直子・藤森唯 (京都大学霊長類研究所)

第 2 回 (第 1 回 JMC セミナー)

日時：平成 26 年 10 月 30 日

会場：セミナーハウス白帝

演題：幸島はサルを何頭養えるのか？

～長期データと閉鎖生態系から見えるニホンザルの動態～

高橋明子 (京都大学野生動物研究センター幸島観察所)

演題：給餌条件および家系の違いによる繁殖パラメーターの比較

鈴村崇文 (京都大学野生動物研究センター幸島観察所)

第 3 回 (第 2 回 JMC-PRI 合同勉強会「動物園学セミナー」)

日時：平成 26 年 11 月 7 日

会場：セミナーハウス白帝

演題：タンザニア生息地研修の報告 奥村文彦 (日本モンキーセンター)

演題：動物園での動物の赤ちゃんづくり 木下こづえ (京都大学霊長類研究所)

ワークショップ：エンリッチメント実践例 Part2

橋本直子・藤森唯 (京都大学霊長類研究所)

第 4 回 (第 2 回 JMC セミナー)

日時：平成 27 年 1 月 17 日

会場：セミナーハウス白帝

演題：チンパンジー・ボノボの飼育に携わる

廣澤麻里 (京都大学野生動物研究センター熊本サクチュアリ)

第5回（第3回 JMC-PRI 合同勉強会「動物園学セミナー」）

日時：平成27年3月20日

会場：セミナーハウス白帝

演題：アマゾン研修報告

根本慧（日本モンキーセンター）

演題：屋久島研修報告

辻内祐美（日本モンキーセンター）

演題：DNA が明らかにする霊長類の血縁、行動、生態、そして進化

早川卓志（京都大学霊長類研究所）

ワークショップ：エンリッチメント実践例 Part3

橋本直子・藤森唯（京都大学霊長類研究所）



第3回セミナー



6. (公社) 日本動物園水族館協会中部ブロック協議会 中部ブロック獣医師研究会

① 第136回獣医師研究会

日程：平成26年6月4日～6月5日

会場：静岡市立日本平動物園（静岡県静岡市）

発表：症例報告、検査報告、剖検報告、動物の異動報告

木村直人

② 第137回獣医師研究会

日程：平成26年9月3日～9月4日

会場：豊橋総合動植物公園（愛知県豊橋市）

発表：症例報告、検査報告、剖検報告、動物の異動報告

木村直人

③ 第138回獣医師研究会

日程：平成26年12月10日～12月11日

会場：名古屋市東山動物園（愛知県名古屋市）

発表：症例報告、検査報告、剖検報告、動物の異動報告

木村直人、岡部直樹

④ 第139回獣医師研究会

日程：平成27年3月4日～3月5日

会場：伊豆シャボテン公園（静岡県伊東市）

発表：症例報告、検査報告、剖検報告、動物の異動報告

岡部直樹

III 出版

1. 英文学術雑誌「PRIMATES」の発行

編集長

山極 壽一 (京都大学、日本モンキーセンター)、平成 26 年 9 月 30 日まで
松沢 哲郎 (京都大学、日本モンキーセンター)、平成 26 年 10 月 1 日より

編集委員

James R. Anderson (京都大学)
Fred Bercovitch (京都大学)
Warren Y. Brockelman (Mahidol University, タイ)
古市 剛史 (京都大学)
半谷 吾郎 (京都大学) 平成 27 年 1 月 1 日より
Alexander H. Harcourt (University of California, Davis, アメリカ)
Brian Hare (Duke University, アメリカ)
Eckhard W. Heymann (German Primate Center, ドイツ)
平田 聡 (京都大学) 平成 27 年 1 月 1 日より
Michael A. Huffman (京都大学) 平成 27 年 1 月 1 日より
村山 美穂 (京都大学)
石田 貴文 (東京大学)
川本 芳 (京都大学)
熊倉 博雄 (大阪大学)
松沢 哲郎 (京都大学、日本モンキーセンター)、平成 26 年 9 月 30 日まで
William C. McGrew (University of Cambridge, イギリス)
John C. Mitani (University of Michigan, アメリカ)
中川 尚史 (京都大学)
中道 正之 (大阪大学)
中村 美知夫 (京都大学)
中村 紳一郎 (滋賀医科大学)
中務 真人 (京都大学)
清水 慶子 (岡山理科大学) 平成 27 年 1 月 1 日より
David S. Sprague (農業環境技術研究所)
Karen B. Strier (University of Wisconsin, Madison, アメリカ)
高畑 由紀夫 (関西学院大学)
Peter S. Ungar (University of Arkansas, アメリカ)
Linda Vigilant (Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology, ドイツ)
山極 壽一 (京都大学、日本モンキーセンター)、平成 26 年 10 月 1 日より

アドバイザーボード

Kim A. Bard (University of Portsmouth, イギリス)
Josep Call (University of St. Andrews, イギリス)

Júlio César Bicca-Marques	(Pontifical Catholic University of Rio Grande do Sul, ブラジル)
Mukesh K. Chalise	(Tribhuvan University, ネパール)
Diane M. Doran-Sheehy	(Stony Brook University, アメリカ) 平成 26 年 12 月 31 日まで
Dorothy M. Fragaszy	(University of Georgia, アメリカ)
藤田 志歩	(鹿児島大学)
半谷 吾郎	(京都大学) 平成 26 年 12 月 31 日まで
平田 聡	(京都大学) 平成 26 年 12 月 31 日まで
Gottfried Hohmann	(Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology, ドイツ)
William D. Hopkins	(Yerkes Regional Primate Research Center, アメリカ)
五百部 裕	(梶山女学園大学)
井上 英治	(京都大学) 平成 27 年 1 月 1 日より
Charles Janson	(University of Montana, アメリカ) 平成 27 年 1 月 1 日より
河村 正二	(東京大学)
Andreas Koenig	(Stony Brook University, アメリカ)
Amanda Korstjens	(Bournemouth University, イギリス) 平成 27 年 1 月 1 日より
沓掛 展之	(総合研究大学院大学)
Phyllis Lee	(University of Stirling, イギリス)
Joseph Manson	(University of California, Los Angeles, アメリカ) 平成 26 年 12 月 31 日まで
松田 一希	(京都大学) 平成 27 年 1 月 1 日より
松本 晶子	(琉球大学)
Katharine Milton	(University of California, Berkeley, アメリカ)
James Moore	(University of California, San Diego, アメリカ) 平成 26 年 12 月 31 日まで
室山 泰之	(東洋大学)
John F. Oates	(City University of New York, アメリカ)
荻原 直道	(慶應義塾大学) 平成 27 年 1 月 1 日より
岡本 宗裕	(京都大学)
Elisabetta Palagi	(University of Pisa, イタリア)
Ryne A. Palombit	(Rutgers University, アメリカ)
Mary S. M. Pavelka	(University of Calgary, カナダ)
Andrew J. Plumptre	(Wildlife Conservation Society, アメリカ)
Martha M. Robbins	(Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology, ドイツ)
Crickette Sanz	(Washington University in St. Louis, アメリカ) 平成 27 年 1 月 1 日より
Gabriele Schino	(Institute of Cognitive Sciences and Technologies, CNR, イタリア)
Robert M. Seyfarth	(University of Pennsylvania, アメリカ)
清水 慶子	(岡山理科大学) 平成 26 年 12 月 31 日まで
下岡 ゆき子	(帝京科学大学) 平成 27 年 1 月 1 日より
Pascale Sicotte	(University of Calgary, カナダ)
Joan Silk	(Arizona State University, アメリカ)
David Glenn Smith	(University of California, Davis, アメリカ)
Charles T. Snowdon	(University of Wisconsin, Madison, アメリカ)

Joseph M. Soltis	(Disney's Animal Kingdom, アメリカ)
Volker Sommer	(University College London, イギリス)
Craig B. Stanford	(University of Southern California, アメリカ)
杉浦 秀紀	(京都大学)
高井 正成	(京都大学)
竹ノ下 佑二	(中部学院大学) 平成 27 年 1 月 1 日より
田中 伊知郎	(四日市大学)
田中 正之	(京都市動物園) 平成 27 年 1 月 1 日より
友永 雅己	(京都大学)
辻 大和	(京都大学) 平成 27 年 1 月 1 日より
Frans B. M. de Waal	(Emory University, アメリカ)
David Watts	(Yale University, アメリカ)
山越 言	(京都大学)
山本 真也	(神戸大学) 平成 27 年 1 月 1 日より

CONTENTS

Volume 55, Number 2, April 2014

News and Perspectives

Jacob C. Dunn, Aralisa Shedden-González, Jurgi Cristóbal-Azkarate, Liliana Cortés-Ortiz, Ernesto Rodríguez-Luna and Leslie A. Knapp: Limited genetic diversity in the critically endangered Mexican howler monkey (*Alouatta palliata mexicana*) in the Selva Zoque, Mexico. pp.155-160

Riyou Tsujino and Takakazu Yumoto: Problems associated with the seed-trap method when measuring seed dispersal in forests inhabited by Japanese macaques. pp.161-165

Rafael Magalhães Rabelo, Felipe Ennes Silva, Tatiana Vieira, Jefferson Ferreira-Ferreira, Fernanda Pozzan Paim, Wallace Dutra, José de Souza e Silva Júnior and João Valsecchi: Extension of the geographic range of *Ateles chamek* (Primates, Atelidae): evidence of river-barrier crossing by an amazonian primate. pp.167-171

Matthew R. McLennan: Chimpanzee insectivory in the northern half of Uganda's Rift Valley: do Bulindi chimpanzees conform to a regional pattern? pp.173-178

Nobuko Kazahari: Maintaining social cohesion is a more important determinant of patch residence time than maximizing food intake rate in a group-living primate, Japanese macaque (*Macaca fuscata*). pp.179-184

Bruna Martins Bezerra, Matthew Philip Keasey, Nicola Schiel and Antonio da Silva Souto: Responses towards a dying adult group member in a wild New World monkey. pp.185-188

Original Article

- Manakorn Sukmak, Suchinda Malaivijitnond, Oliver Schülke, Julia Ostner, Yuzuru Hamada and Worawidh Wajjwalku: Preliminary study of the genetic diversity of eastern Assamese macaques (*Macaca assamensis assamensis*) in Thailand based on mitochondrial DNA and microsatellite markers. pp.189-197
- Nayara de Alcântara Cardoso, João Valsecchi, Tatiana Vieiral and Helder Lima Queiroz: New records and range expansion of the white bald uakari (*Cacajao calvus calvus*, I. Geoffroy, 1847) in Central Brazilian Amazonia. pp.199-206
- Marni LaFleur, Michelle Sauter, Frank Cuzzo, Nayuta Yamashita, Ibrahim Antho Jacky Youssouf and Richard Bender: Cathemerality in wild ring-tailed lemurs (*Lemur catta*) in the spiny forest of Tsimanampetsotsa National Park: camera trap data and preliminary behavioral observations. pp.207-217
- Hiroki Sato, Shinichiro Ichino and Goro Hanya: Dietary modification by common brown lemurs (*Eulemur fulvus*) during seasonal drought conditions in western Madagascar. pp.219-230
- Ruth Thomsen: Non-invasive collection and analysis of semen in wild macaques. pp.231-237
- Dao Zhang, Han-Lan Fei, Sheng-Dong Yuan, Wen-Mo Sun, Qing-Yong Ni, Liang-Wei Cui and Peng-Fei Fan: Ranging behavior of eastern hoolock gibbon (*Hoolock leuconedys*) in a northern montane forest in Gaoligongshan, Yunnan, China. pp.239-247
- Akiko Sawada, Hiroto Sato, Eiji Inoue, Yosuke Otani and Goro Hanya: Mycophagy among Japanese macaques in Yakushima: fungal species diversity and behavioral patterns. pp.249-257
- H. S. Darusman, J. Call, D. Sajuthi, S. J. Schapiro, A. Gjedde, O. Kallioikoski and J. Hau: Delayed response task performance as a function of age in cynomolgus monkeys (*Macaca fascicularis*). pp.259-267
- Hideshi Ogawa, Midori Yoshikawa and Gen'ichi Idani: Sleeping site selection by savanna chimpanzees in Uganda, Tanzania. pp.269-282
- Joana Sousa, Catarina Casanova, André V. Barata and Cláudia Sousa: The effect of canopy closure on chimpanzee nest abundance in Lagoas de Cufada National Park, Guinea-Bissau. pp.283-292
- Maricle Nascimento Barbosa and Maria Teresa da Silva Mota: Do newborn vocalizations affect the behavioral and hormonal responses of nonreproductive male common marmosets (*Callithrix jacchus*)? pp.293-302
- Yukimaru Sugiyama, Hiroyuki Kurita, Takeshi Matsui, Satoshi Kimoto and Junko Egawa: Congenital malformations in Japanese macaques (*Macaca fuscata*) at Takasakiyama. pp.303-311
- Ikki Matsuda, Yoshihiro Akiyama, Augustine Tuuga, Henry Bernard and Marcus Clauss: Daily feeding rhythm in proboscis monkeys: a preliminary comparison with other non-human primates. pp.313-326

Yukiko Shimooka and Naofumi Nakagawa: Functions of an unreported “rocking-embrace” gesture between female Japanese Macaques (*Macaca fuscata*) in Kinkazan Island, Japan. pp.327-335

Book Review

Hiroki Sato: Judith Masters, Marco Gamba, and Fabien Génin (eds). Leaping ahead: advances in prosimian biology. pp.337-340

Vincent Leblan: Kaori Kawai (ed.) Groups: The evolution of human sociality. pp.341-343

Volume 55, Number 3, July 2014

News and Perspectives

Ariadna Rangel-Negrín, Alejandro Coyohua-Fuentes, Domingo Canales-Espinosa and Pedro Américo D. Dias: Mammal assemblages in forest fragments and landscapes occupied by black howler monkeys. pp.345-352

Yuji Iwata: Food dropping as a food transfer mechanism among western lowland gorillas in Moukalaba-Doudou National Park, Gabon. pp.353-358

Juan Scheun, Nigel C. Bennett, Andre Ganswindt and Julia Nowack: Spicing up the menu: evidence of fruit feeding in *Galago moholi*. pp.359-363

Helen C. Morrogh-Bernard, Jessica M. Stitt, Zeri Yeen, K. A. I. Nekaris and Susan M. Cheyne: Interactions between a wild Bornean orang-utan and a Philippine slow loris in a peat-swamp forest. pp.365-368

Maria Thunström, Paul Kuchenbuch and Christopher Young: Concealing of facial expressions by a wild Barbary macaque (*Macaca sylvanus*). pp.369-375

Ma Chi, Huang Zhi-Pang, Zhao Xiao-Fei, Zhang Li-Xiang, Sun Wen-Mo, Matthew B. Scott, Wang Xing-Wen, Cui Liang-Wei and Xiao Wen: Distribution and conservation status of *Rhinopithecus strykeri* in China. pp.377-382

Original Article

Selene Maldonado-López, Yurixhi Maldonado-López, Alberto Gómez-Tagle Ch., Pablo Cuevas-Reyes and Kathryn E. Stoner: Patterns of infection by intestinal parasites in sympatric howler monkey (*Alouatta palliata*) and spider monkey (*Ateles geoffroyi*) populations in a tropical dry forest in Costa Rica. pp.383-392

Mónica Dafne García Granados, Leonor Estela Hernández López, Alejandro Córdoba Aguilar, Ana Lilia Cerda Molina, Olivia Pérez-Ramírez and Ricardo Mondragón-Ceballos: Effect of photoperiod on characteristics of semen obtained by electroejaculation in stump-tailed macaques (*Macaca arctoides*). pp.393-401

Denis Kupsch, Matthias Waltert and Eckhard W. Heymann: Forest type affects prey foraging of saddleback tamarins, *Saguinus nigrifrons*. pp.403-413

Manuel Ruiz-García, Pablo Escobar-Armel, Norberto Leguizamon, Paola Manzur, Myreya Pinedo-Castro and Joseph M. Shostell: Genetic characterization and structure of the endemic Colombian silvery brown bare-face tamarin, *Saguinus leucopus* (Callitrichinae, Cebidae, Primates). pp.415-435

Charlotte Brand, Robert Eguma, Klaus Zuberbühler and Catherine Hobaiter: First report of prey capture from human laid snare-traps by wild chimpanzees. pp.437-440

Hiroshi Shimoda, Akatsuki Saito, Keita Noguchi, Yutaka Terada, Ryusei Kuwata, Hirofumi Akari, Tomohiko Takasaki and Ken Maeda: Seroprevalence of Japanese encephalitis virus infection in captive Japanese macaques (*Macaca fuscata*). pp.441-445

Federica Amici, Filippo Aureli, Roger Mundry, Alejandro Sánchez Amaro, Abraham Mesa Barroso, Jessica Ferretti and Josep Call: Calculated reciprocity? A comparative test with six primate species. pp.447-457

Volume 55, Number 4, October 2014

News and Perspectives

Ariadna Rangel-Negrín, Elizabeth Flores-Escobar, Roberto Chavira, Domingo Canales-Espinosa and Pedro Américo D. Dias: Physiological and analytical validations of fecal steroid hormone measures in black howler monkeys. pp.459-465

Ebang Ella Ghislain Wilfried and Juichi Yamagiwa: Use of tool sets by chimpanzees for multiple purposes in Moukalaba-Doudou National Park, Gabon. pp.467-472

Shun Hongo: New evidence from observations of progressions of mandrills (*Mandrillus sphinx*): a multilevel or non-nested society? pp.473-481

Original Article

Wenshi Pan, Tielu Gu, Yue Pan, Chunguang Feng, Yu Long, Yi Zhao, Hao Meng, Zuhong Liang and Meng Yao: Birth intervention and non-maternal infant-handling during parturition in a nonhuman primate. pp.483-488

Andrew M. Robbins, Maryke Gray, Prosper Uwingeli, Innocent Mburanumwe, Edwin Kagoda and Martha M. Robbins: Variance in the reproductive success of dominant male mountain gorillas. pp.489-499

Takeshi D. Nishimura and Tsuyoshi Ito: Aplasia of the maxillary sinus in a Tibetan macaque (*Macaca thibetana*) with implications for its evolutionary loss and reacquisition. pp.501-508

Sayaka Tojima: Variation of the number of proximal caudal vertebrae with tail reduction in Old World monkeys. pp.509-514

Sam Shanee: Yellow-tailed woolly monkey (*Lagothrix flavicauda*) proximal spacing and forest strata use in La Esperanza, Peru. pp.515-523

William C. McGrew, Pamela J. Baldwin, Linda F. Marchant, Jill D. Pruetz and Caroline E. G. Tutin: Chimpanzees (*Pan troglodytes verus*) and their mammalian sympatriates: Mt. Assirik, Niokolo-Koba National Park, Senegal. pp.525-532

Pamela Heidi Douglas: Female sociality during the daytime birth of a wild bonobo at Luikotale, Democratic Republic of the Congo. pp.533-542

Honnavalli Nagaraj Kumara, Mewa Singh, Anantha Krishna Sharma, Kumar Santhosh and Arijit Pal: Impact of forest fragment size on between-group encounters in lion-tailed macaques. pp.543-548

Suma Mallavarapu, Tara S. Stoinski, Bonnie M. Perdue and Terry L. Maple: Double invisible displacement understanding in orangutans: testing in non-locomotor and locomotor space. pp.549-557

Announcement The *Primates* 2014 Most-Cited Paper Award is conferred upon Dr. Goro Hanya et al. pp.559

Acknowledgement pp.561-562

Books received pp.563

Volume 56, Number1, January 2015

Editorial

Tetsuro Matsuzawa: New editorial board 2015–2017. pp.1

Original Article

Juichi Yamagiwa, Keiko Tsubokawa, Eiji Inoue and Chieko Ando: Sharing fruit of *Treculia africana* among western gorillas in the Moukalaba-Doudou National Park, Gabon: Preliminary report. pp.3-10

Tsuyoshi Ito, Takeshi D. Nishimura, Yuzuru Hamada and Masanaru Takai: Contribution of the maxillary sinus to the modularity and variability of nasal cavity shape in Japanese macaques. pp.11-19

Madeleine E. Hardus, Adriano R. Lameira, Serge A. Wich, Han de Vries, Rachmad Wahyudi, Robert W. Shumaker and Steph B. J. Menken: Effect of repeated exposures and sociality on novel food acceptance and consumption by orangutans. pp.21-27

Juan Carlos Serio-Silva, Eugenia J. Olguín, Luis Garcia-Feria, Karla Tapia-Fierro and Colin A. Chapman: Cascading impacts of anthropogenically driven habitat loss: deforestation, flooding, and possible lead poisoning in howler monkeys (*Alouatta pigra*). pp.29-35

Adrian Mendoza, Jillian Ng, Karen L. Bales, Sally P. Mendoza, Debra A. George, David Glenn Smith and Sree Kanthaswamy: Population genetics of the California National Primate Research Center's (CNPRC) captive *Callicebus cupreus* colony. pp.37-44

Joseph J. Erinjery, T. S. Kavana and Mewa Singh: Food resources, distribution and seasonal variations in ranging in lion-tailed macaques, *Macaca silenus* in the Western Ghats, India. pp.45-54

Porrawee Pomchote: Age-related changes in osteometry, bone mineral density and osteophytosis of the lumbar vertebrae in Japanese macaques. pp.55-70

Ruth Irene Steel: Using multiple travel paths to estimate daily travel distance in arboreal, group-living primates. pp.71-75

Janya Jadejaroen, Yuzuru Hamada, Yoshi Kawamoto and Suchinda Malaivijitnond: Use of photogrammetry as a means to assess hybrids of rhesus (*Macaca mulatta*) and long-tailed (*M. fascicularis*) macaques. pp.77-88

Paul Dutton and Hazel Chapman: New tools suggest local variation in tool use by a montane community of the rare Nigeria–Cameroon chimpanzee, *Pan troglodytes ellioti*, in Nigeria. pp.89-100.

Book Review

Tadamichi Morisaka: Juichi Yamagiwa, Leszek Karczmarski (eds): Primates and cetaceans: field research and conservation of complex mammalian societies. pp.101-103

2. 平成 25 年度財団法人日本モンキーセンター年報の発行

発行：平成 26 年 12 月 31 日付

3. 第 59 回プリマーテス研究会記録集の発行

発行：平成 27 年 3 月 15 日付



PRIMATES 表紙

IV 生息地研修

1. 幸島（京都大学野生動物研究センター幸島観察所）

対応者：高橋明子研究員、鈴木崇文技術職員）

第1班 平成26年6月8日～6月11日

木村直人、坂口真悟



日本の霊長類学発祥の地である都井岬と幸島を訪れた。幸島実習はサルの生息地を知る上で大きな意義があり、都井岬へ向かう道中ではマウンティング行動も観察され、ウマからサルへの研究対象の転換点を、時代を遡って体験することができた。（木村）



幸島に渡り、ニホンザル大人オスを見て「なんと小さいのか」と驚きました。観察所周囲にてニホンザルと遭遇、体格差は歴然でした。幸島特有の生態を知る事が出来ました。園内で行うガイドの幅が広がりました。（坂口）

第2班 平成26年6月30日～7月3日

堀込亮意、高野智、根本慧



初めて幸島に渡りました。天候にも恵まれ、2日続けて幸島のニホンザルを観察することができました。大変、感動しました。都井岬で半野生馬の観察もでき、日本の霊長類学の原点をたどる研修となりました。（堀込）



都井岬と幸島という、日本の霊長類研究の原点を訪ねることができ、感慨深いものがありました。社会普及活動の中でフィードバックしていきたいと思います。本州のニホンザルを見慣れた目には、亜熱帯林とニホンザルの組み合わせが新鮮に映りました。（高野）



ニホンザルの浜での行動と山の中での行動が見えた。観察はその種類だけではなく植物や環境などすべてを見ないといけないということを学んだ。もっと植物のことを学んでモンキーセンターのサルたちに与えていきたい。（根本）

第3班 平成26年7月27日～7月30日

赤見理恵、寺尾由美子、中尾汐莉



7月の研修は暑くて大変でした。写真は木陰ではおぶくろの麦を噛みつつ毛づくろいを楽しむヤシ♀とシデ♀とシデの赤ちゃん。優位な家系なので良い場所で早々に麦を拾い、まだ麦をひろっているサルたちもいる中、ゆったりと休んでいます。私も一緒に木陰で休むと、潮風が心地よかったです。(赤見)



研修では月に一度の全頭体重測定を見せていただくことが出来ました。野生のサルを全頭個体識別し、コントロールするという技術を見せていただき、今後の動物園の飼育作業に生かしていこうと思いました。(寺尾)



トレッキングや観察・座学などから、幸島に生息するニホンザルの暮らしとその自然環境を肌で感じ、現在行われている研究、体重測定を行うための誘導技術、幸島と地域・人との繋がりなどについて詳しく知ることができました。(中尾)

第4班 平成26年1月27日～1月29日

奥村文彦、山田将也、石田崇斗、杉浦直樹、安倍由里香



実際に幸島のニホンザルの生息地へ赴くことでその環境を体感することができました。幸島内のトレッキングや石波の海岸樹林の散策では、種同定など植生を丁寧に解説して頂いたことで数種の植物の同定の仕方を身につける事ができ、また食痕から冬季のニホンザルの食性についての傾向を探ることができたことはとても貴重な経験となりました。(奥村)



幸島にわたり、幸島の自然環境、飼育下ではわからない冬季と夏季でのニホンザルの食性の違い、多種多様の植物の見分け方について学ぶことができました。貴重な体験をすることができました。糞分析を行った結果から、冬季と夏季の食性の違いがはっきりとわかりました。(山田)



4日間の研修で幸島の野生のニホンザルの観察やトレッキング、糞分析や周辺の植生の観察などを行いました。体重測定の際の鈴木技術専門職員の体重計へサルを誘導する技術と個体識別能力に驚きました。高橋研究員のレクチャーでは給餌を行うことの意味と、それによる利益や問題などを学びました。幸島の例を挙げてのお話はとても興味深く、改めて「給餌」ということの意味について考えさせられました。(石田)



幸島の猿たちは夏と比べ全体的にやせている印象でした。また、交尾期と餌が少ない時期が重なり、喧嘩を頻繁にしており、ストレスがたまっている印象を受けました。子どもの猿は木に登り、枝のしなりを利用してゆりかごのようにゆらゆら遊んでいるところが観察できました。(安倍)

幸島研修では野生のニホンザルに出会い、群れでの行動・幸島での食性を肌で感じ学ぶことが出来ました。実際に野生下の暮らしを観察し、採取したフンを分析することで食性の詳細を知ることが出来ました。研修を終えて野生を知ることとはとても大切だと改めて感じました。学んだことを飼育現場でエンリッチメントとして生かしていきたい思います。(杉浦)

第5班 平成27年2月6日～2月8日
新宅勇太
(モンキーキャンパス幸島研修第1班)



本州と異なる植生。本土とは大きく異なるサルの体格。記事などで読んで知ってはいたものの、実際に歩いて、自分の目で見ることで得た感覚からは、しばらく遠ざかっていたフィールドワークの意義を改めて実感することができた。(新宅)

第6班 平成27年2月20日～2月22日
江藤彩子
(モンキーキャンパス幸島研修第2班)



京大モンキーキャンパスの幸島研修ツアーの引率を兼ねて、受講者と共に研修を実施した。潮の都合で幸島での滞在時間は2時間だったが、大泊の浜での小麦拾いの観察ができ、書籍とは違うリアルを体感できた。(江藤)

第7班 平成27年3月24日～3月26日

田中ちぐさ、長谷川裕士、古賀典子、今井由香



動物を飼育する上で必要な野生の状態を垣間見ることができました。2頭の仔ザルが木で遊ぶ姿は今後の飼育環境づくりにも生かすことができそうです。特に島という限られた環境で暮らしているサルなので、動物園で暮らすサルの参考になると感じました。(田中)



麦を洗っている場面である。プリマーテス誌編集事務局に勤務する私は、やはりこの日本の霊長類学会発展の始まりと言える「イモ洗い・麦洗い」にとりわけ特別な思いを抱いて幸島に行った。目撃できて大満足。(古賀)



長年、幸島観察所で幸島のニホンザルたちを見てきた鈴村技術職員は、手際よく全員の体重測定を行いました。一頭一頭の顔を見分け、間違いなく記録をするスキルはすばらしかったです。モンキーセンターの職員も個体識別には長けていますが、飼育をする上で大変重要な技術だと改めて感じました。(今井)



天気も良く、幸島に二度も渡ることができたのでサルをゆっくりと観察することができました。ただ森林内を動く姿を見ることができなかったので次回はそこを観察したいです。それと同時に、その季節の植生についても学びたいです。(長谷川)

2. 屋久島（屋久島学ソサエティ第2回大会・

京都大学野生動物研究センター屋久島観察ステーション）

対応者：湯本貴和教授、澤田晶子研究員、早川卓志氏、杉浦秀樹准教授

平成26年12月12日～12月15日

新宅勇太、辻内祐美、廣川類



2群れ計20頭ほどのヤクニホンザルを観察することができた。日光浴、採食、毛づくろいをはじめとし、吐き戻しや射精した精液を尻尾を振りながら食べる行動、シカに乗る行動なども観察できた。（辻内）



木に登ったり、地面を掘って自ら探し選ぶ採食行動や、どこかへ向かい群れが移動するという、自然なまの姿はやはり魅力的に見えた。飼育しているサルにも採食行動が引き出せるように工夫していきたいと改めて強く感じた。（辻内）



屋久島に生息地研修に行って感じたことは、クワズイモが道端に生え、12月にも関わらずハイビスカスが外に咲いていることに驚かされました。しかし、屋久島は暖かいというイメージを持っていましたが、寒かったです。そして、雨が非常に多く、雨具は必需品でした。

屋久島では、ヤクスギランドを歩き、屋久杉の雄大さに驚かされました。屋久島学ソサエティに参加して、屋久島が抱える登山のトイレの問題を聞き、屋久杉のすべてという題では、各方面での屋久杉について研究者の話を聞くことができました。また、ヤクタネゴヨウの森づくり植樹祭では、実際にヤクタネゴヨウの植樹をして、次世代への自然を残す大切さを学びました。

PWSハウス屋久島での宿泊は、できたばかりの綺麗な宿泊施設で、とても木の香りが良く、研究者の方達との夕食は、屋久島での研究の面白い話が聞けて大変貴重な経験ができました。

最終日は、晴れた西部林道でのヤクニホンザルの観察で、多くのヤクニホンザルが見られ、面白い行動が沢山見られたことは、今後のサルを飼育するにあたっての大きな糧になったことは間違いありません。（廣川）



ヤクスギランドの中に作られた植生保護柵。増えすぎたヤクシカによって森林の下層植生は大きな影響を受けている。人、動物、植物、様々な要素のバランスの上に成り立つ保護活動の難しさを痛感した。(新宅)



シカに飛び乗るサル。シカは何度も振り落とそうとするが、サルも何度も飛び乗ろうとしていた。西部林道ではこのような珍しい光景も観察できた。(新宅)

3. 小豆島（京都大学霊長類研究所院生会企画）

平成 27 年 3 月 12 日～ 3 月 14 日

中尾汐莉



200 頭近いニホンザルを観察することができました。サル団子や群れ同士の距離が近い様子を見て、小豆島特有の性格の寛容さを感じ、生息環境やその地域による特徴的な性格の違いや、そこからうまれる行動について興味を持ちました。(中尾)

4. 京都大学野生動物研究センター 熊本サルクチュアリ

対応者：平田聡教授、森村成樹特定准教授、鶴殿俊史特定研究員、岡部直樹特定研究員、
野上悦子技術職員ほか

第1班 平成26年6月23日～6月24日

堀込亮意、高野智、赤見理恵、奥村文彦



チンパンジーを自然のかたちで飼育をして、健康と長寿をはかるとともに、人間の本性について理解を深める研究をおこなっている。医学、薬学、生理学の実験及び、野生状態に比して著しく行動変容をもたらす可能性のあるすべての行為はおこなわない。エンリッチメントを通してチンパンジーが、快適にそして楽しく刺激のある生活を送ることができるように、工夫をしている。(堀込)



チンパンジーの福祉を最大のゴールとして、そこへ邁進していくスタッフのみなさんの熱意に感銘を受けました。また、ボノボの声を初めて生で聞き、ホカホカなど独特の行動を見ることができたのもよい経験になりました。(高野)



チンパンジーのトレーニングでは直腸から麻酔を行うための訓練や心電図検査、体重測定、ナッツ割りなどを見学しました。対面でのトレーニングも見ることができ、チンパンジーとのコミュニケーションの取り方や、組み合わせ及び個体の性格や様子に合わせた対応の仕方など大変勉強になりました。(奥村)



もっとも印象的だったボノボのレノア♀。「ボノボは平和的である」と言われますが、そんな我がない霊長類がいるのだろうか疑問に思っていました。課題ができなくてイライラするレノアを見て、少しホッとしました。(赤見)

第2班 平成26年8月26日～8月27日

坂口真悟、星野智紀、鏡味芳宏



KS全体の連携が素晴らしいと感じた研修でした。エンリッチメントを通して、チンパンジーが楽しむ事を、スタッフ全員が楽しんで考えている。そんな熱意に感動しました。私の飼育に向き合う気持ちが変わりました。(坂口)



熊本サクチュアリでは、すべての施設に空間エンリッチメントが施され、至る所にチンパンジーが飼育施設を広く、有意義に使える工夫が取り込まれていました。チンパンジーへの愛情がすべての仕事の基となっており、チンパンジーはもちろん、働く皆様も楽しんでいる様子がとても印象的でした。同じ気持ちをモンキーセンターでも必ず芽吹かせていきたいと思います。(鏡味)



見学したチンパンジー達の誕生日会の時には、スタッフの方々が始まる時間になると続々と集まりチンパンジーの誕生日を祝っていました。そのスタッフ達の姿は実の子供を見守る親のように微笑ましい様子でした。(星野)

第3班 平成26年9月9日～9月10日

寺尾由美子、廣川百恵、田中ちぐさ



飼育スタッフとチンパンジーたちの距離の近さを感じ、お互い信頼関係が成り立っているのだと思いました。エンリッチメントもさまざまなものを見せていただき、人も楽しんでエンリッチメントをすることによりチンパンジーたちにも楽しさが伝わるのだと感じました。(寺尾)



研修では、誕生日会やハズバンダリートレーニング、無麻酔下での心電図計測、チンパンジーナオヤの手術と健康診断の様子などの見学をしました。今でも飼育で新しいことに挑戦しようとするとき、動物が怪我や病気をしてしまうのではないかと心配になりますか？檻が破損しないか？と心配になりますが、この研修で見たことを思い出して挑戦するようにしています。(廣川)



私たちの研修では、治療と健康診断のようすを見学させていただきました。獣医師以外の飼育スタッフも一丸となって、採血や体側等すすめていることがとても印象的でした。他にも、日常の健康管理を知ることもでき、勉強になりました。(田中)

第4班 平成26年10月27日～10月29日

木村直人、根本慧、中尾汐莉



動物園職員という立場でサンクチュアリ施設を初めて訪れた。離合集散を可能とするすぐれた施設やエンリッチメントの各種取り組みを実地に見学、体験できた。特に動物福祉に欠かせない病院の施設、機能の充実には目を見張るものがあった。(木村)



チンパンジーの放飼場には多くのエンリッチメントの道具があり工夫がされていた。飼育員たちは皆サルを1番に考えていることが伝わってきた。モンキーセンターのサルたちにも同じように接していきたい。(根本)



施設・トレーニング・実験風景の見学に加え、健康診断についても詳しく知ることが出来て、とても貴重な経験となりました。スタッフの方々が、様々な場面でチンパンジーやボノボと接する一瞬一瞬の様子が、とても新鮮で印象的でした。(中尾)

第5班 平成27年2月3日～2月5日

荒木謙太、廣川類、村山祐哉



熊本サンクチュアリ研修では、エンリッチメントとして段ボール宅急便を毎週水曜日におこなっています。こちらの写真は段ボールの中には、果実や野菜を詰めたペットボトルや筒、麻袋などが入っています。喜ばれるものもありますが、中にはあまり喜ばれないものも入っています…それも開けてみるまで中身がわからない宅急便の醍醐味というものです。チンパンジーが宅急便を開ける姿は、とても楽しそうに見えます。(荒木)



熊本サンクチュアリでの研修は、各施設内での見学、説明をしていただき、いろいろなエンリッチメントも教えていただき大変勉強になりました。チンパンジーのミナトの誕生日会では、チンパンジーの個々の性格を垣間見ることができました。また、初のボノボを見ることができ、高い声、チンパンジーとは違う体型、顔つきに驚かされました。サンクチュアリのチンパンジーは、限られた空間で飼育しているにも関わらず、毎日変化に富んだ工夫をして、そこに暮らすチンパンジー、ボノボの福祉を考えた飼育をすることの重要性を教えてくださいました。(廣川)

第6班 平成27年2月16日～2月18日

新宅勇太、長谷川裕士、安倍由里香



野菜や果物は農家の方に型落ちしているものをいただいたり、病院食を作る企業からパンや乾物類をいただいたりと飼料費はほぼもらい物だそうです。そして熊本サングチュアリには自分たちでみかんも育てているそうです。モンキーセンターでは毎月飼料費だけでも200万以上支出されていきます。そこで、いつも野菜や果物を寄附していただいている方とうまく情報交換できれば、経費削減につながるのではないかと思案しています。(安倍)



まずチンパンジーと人との距離が近いことに驚きました。トレーニングの成果だけでなく、動物の幸せを第一に考えることで信頼関係もより深まるものなのだなと感じました。またお忙しい中トレーニングを見させていただきありがとうございました。(長谷川)



サングチュアリでは様々なエンリッチメントの取り組みがなされている。一方で同じことを動物園で実施する時には来園者に正確にその内容と意義を伝えていくことが必要だという印象も受けた。(新宅)

第7班 平成27年2月25日～2月27日

山田将也、三宅菜穂美、大岡幸男



ホースやハンモックなどを複雑に張り巡らしてあるボノボの放飼場は空間を最大限に活かした作りになっており、その中でのびのびと暮らしているボノボの姿に感動しました。また、スタッフの方々にチンパンジーが怖がらず身を委ねている姿がとても印象に残りました。(山田)



写真はチンパンジーの表情を示したパネルです。チンパンジーの笑った顔をすぐに当てることができませんでした。これからはきちんと飼育されている側はどう思っているのか、どんな環境がいいのか向き合いながら飼育をしていきます。(三宅)



じっとして静かに検診を受けるということは、人とチンパンジーの信頼関係がないと、できないなと思いました。(大岡)

第8班 平成27年3月10日～3月12日

根本真菜美、辻内祐美、石田崇斗



「家族なら何でもしてあげたいと思う」
「残りの余生を毎日幸せに暮らしてもらう」
その言葉に込められた信念を、誕生日会を見守るスタッフの方々の表情から十分に窺い知ることができた。チンパンジーの嬉しそうな表情、声を聴き、私も自然と笑顔になった。(辻内)



辻内さんについつい目がいってしまいますが、よく見ると木の上に野上さんがいます。チンパンジーたちにあげる葉っぱを採取しているのですが、野上さんはあっという間に上まで登り木を切っていました。圧巻でした。(根本)



3日間の研修で、とても貴重な時間を過ごさせていただくことができました。チンパンジーたちが幸せそうなのはもちろん、職員の方々も楽しんで仕事をされているのが伝わってきました。働いている人間が幸せで楽しく仕事をしていることが、飼育動物の幸せに繋がるのだと感じました。研修で学んだことを活かし、常に考えることを止めず、飼育している動物たちの幸せを目指してこれからの展示施設や給餌などに生かしていきたいと思います。(石田)

5. タンザニア（ゴンベ国立公園、・セルー動物保護区）

平成 26 年 9 月 12 日～9 月 21 日

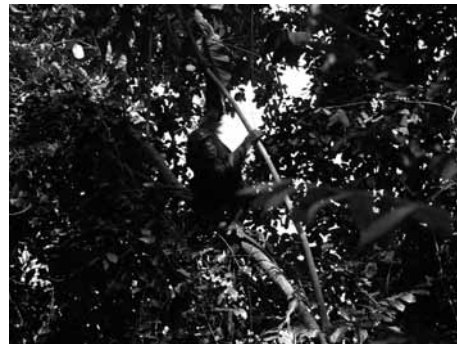
星野智紀、奥村文彦



ゴンベ国立公園では、1 日目には、何も隔てる物の無い森の中で僅か数メートルの距離でチンパンジーの母子を観察しました。私たちにほとんど警戒することなく一緒に森の中をトレッキングする事が出来ました。（星野）



セルー動物保護区では、サバンナで暮らす様々な野生動物達や、車で走るたびに次々変わり行くサバンナの大自然を観てきました。最後にはアフリカゾウの群れにも出会う事が出来ました。（星野）



ゴンベ国立公園ではチンパンジーの他にアヌビスヒヒ、アカコロブス、アカオザル、ブルーモンキーなどのサル類を観察することができました。普段は檻やガラス越しでしか接することのないチンパンジー達を何も隔てることなく間近で観察することができたり、彼らが暮らす森を実際に歩き、その空気を肌で感じた事はかけがえのない経験となりました。セルー動物保護区では雄大なルフィジ川を群れをなして移動するカバやアカシアの葉を食むキリン、昼寝をするライオン、行く手を横断するアフリカゾウの群れなど、幼いころからテレビやあるいは動物園で見て憧れた動物たちの野生の姿を見られたことは大変感慨深いものがありました。（奥村）

6. アマゾン（ブラジル：マナウス・リオデジャネイロ）

平成 27 年 1 月 18 日～1 月 29 日

赤見理恵、綿貫宏史朗、根本慧



リオデジャネイロ近郊の農園の一角で、念願のゴールデンライオンタマリンと対面！狭い範囲で 3 群に会うことができました。飼育下繁殖の孫世代の群れで、黒いペイントで個体識別されていました。（赤見）



シロガオサキが食べていた果実が、上からボロボロと落ちてきます。一つをひろって食べてみたら、ライチのようなザクロのような味でとてもおいしい！アグーチも落ちた実を食べていました。（赤見）



研修 4 日目にしてやっと出会えた霊長類が、シロガオサキでした！樹上 20m ほどの高さで果実を食べています。重い 500mm のレンズをずっと担いでいた苦勞が報われた瞬間でした。（赤見）

野生のシロガオサキ。私の担当のシロガオサキと同じく食事の仕方が汚かった。少し果実を齧ってはすぐ下に落としていた。しかし、下に落とした果実はアグーチが食べており共生があることに感動した。（根本）



植物園で出会ったクロオマキザル。40 頭ほどの群れでおり、ナッツ割りや尻尾でぶら下がるなど多くの行動が見られた。（根本）



アマゾンにはたくさんの種類の鳥が生息していて、インコやオオハシのなかまなどエキゾチックでカラフルなものが目立ちます。宿泊したロッジの周りで暮らしていたこのインコも、鮮やかな朱色がとても綺麗。カラー写真で掲載できないのが残念です。(綿貫)



カワイルカのなかまは数種ありますが、世界的にも飼育例は少なく、野生でなければなかなか見ることができません。アマゾン川は最も簡単にカワイルカを見ることができる場所の一つで、写真のように一緒に泳げる「ドルフィンスイム」が観光の目玉となっています。(綿貫)



ゴールデンライオンタマリンは、動物園が貢献した生息域外保全の好例としてよく話題に出されます。野生では絶滅寸前にまで減りましたが、世界中の動物園で飼育されていた個体を集め、殖やし、野生に再び戻す試みがなされました。実際に野生下で命をつないでいるようすを見て、非常に感慨深く思いました。リオ近郊のボソ・ダス・アンタス国立公園にて。(綿貫)



生息地研修実施場所

V 普及教育活動

1. 企画展・特別展の開催

- (1) 企画展「明日の動物園と大学をつなぐ ～動物園をフィールドとした 研究ポスター展～」

会期：平成 26 年 4 月 1 日～6 月 29 日

場所：ビジターセンター内特別展示室

共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院
京都大学野生動物研究センター

協力：公益財団法人横浜市緑の協会

- (2) 特別展「モンキーセンター・コレクション ～博物館を支えるモノ～」

会期：平成 26 年 7 月 19 日～8 月 31 日

場所：ビジターセンター内特別展示室

共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院

後援：愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、犬山市教育委員会

- (3) 企画展「生息地研修パネル展」

会期：平成 26 年 10 月 11 日～ 開催中

場所：ビジターセンター内

- (4) 特別展「類人猿のいる風景 ～進化の隣人たちとの共存に向けて～」

会期：平成 26 年 10 月 16 日～平成 27 年 2 月 1 日

場所：ビジターセンター内特別展示室

共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院

後援：愛知県教育委員会、犬山市、犬山市教育委員会

(ESD あいち・なごやパートナーシップ事業)

協力：岩田有史氏（京都大学大学院理学研究科）・打越万喜子氏（京都大学霊長類研究所）

金森朝子氏（京都大学霊長類研究所）・久世濃子氏（国立科学博物館）

坂巻哲也氏（京都大学霊長類研究所）・橋本千絵氏（京都大学霊長類研究所）

古市剛史氏（京都大学霊長類研究所）・松本卓也氏（京都大学大学院理学研究科）

- (5) 特別展「サルの“すごい”にせまる」

会期：平成 27 年 3 月 21 日～ 開催中

場所：ビジターセンター

共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院

後援：愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、犬山市、犬山市教育委員会



モンキーセンター・
コレクション



類人猿のいる風景

2. 2014 年度京大モンキーキャンパスの開講

平成 25 年度まで「モンキーカレッジ」として開催していたものを改称

共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院

後援：愛知県、愛知県教育委員会、岐阜県、岐阜県教育委員会、犬山市、
犬山市教育委員会

受講費：15,000 円（全 6 回分、日本モンキーセンター友の会年会費 3,000 円を含む）

受講者数：120 名

プログラム：

第 1 回 平成 26 年 6 月 8 日

講師：松沢哲郎（公益財団法人日本モンキーセンター所長、
京都大学霊長類研究所）

「想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心」

第 2 回 平成 26 年 7 月 20 日

講師：山極壽一（公益財団法人日本モンキーセンター博物館長、
京都大学大学院理学研究科）

「言語以前のコミュニケーション：ゴリラの社会から考える」

第 3 回 平成 26 年 8 月 17 日

講師：伊谷原一（公益財団法人日本モンキーセンター動物園長、
京都大学野生動物研究センター）

「女性が導く近隣関係：ボノボの社会から」

第 4 回 平成 26 年 9 月 7 日

講師：湯本貴和（京都大学霊長類研究所）

「熱帯雨林の多様性とその危機を考える」

第 5 回 平成 26 年 10 月 12 日

講師：幸島司郎（京都大学野生動物研究センター）

「世界の野生動物をフィールドワークする：ヒマラヤから海中まで、
氷河から熱帯雨林まで」

第 6 回 平成 26 年 11 月 24 日

講師：阿形清和（京都大学大学院理学研究科）

「ゲノム時代の生物学が開く新たな扉」



第 2 回講義の様子

3. 京大モンキーキャンパス研修旅行の開催

京大モンキーキャンパス受講者を対象に、宮崎県・幸島への研修ツアーを開催

第1班：平成27年2月6日～2月8日 参加者 11名 赤見理恵、新宅勇太

第2班：平成27年2月20日～2月22日 参加者 15名 高野智、江藤彩子

訪問先：京都大学野生動物研究センター幸島観察所、宮崎県総合博物館、
都井岬ビジターセンター、青島海岸、宮崎市フェニックス自然動物園



第1班



第2班



宮崎県総合博物館



都井岬

4. 京大モンキー日曜サロンの開催

主催：公益財団法人日本モンキーセンター

京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院

京都大学霊長類研究所

第1回 「染色体（せんしよくたい）と遊ぼう」

講師：平井啓久（京都大学霊長類研究所）

平成26年8月3日

第2回 「脳って、すごい！」

講師：高田昌彦（京都大学霊長類研究所）

平成26年9月21日（臨時休園のため、8月10日から延期）

第3回 「考えるを科学する」

講師：足立幾麿（京都大学霊長類研究所）

平成26年8月24日

第4回 「樹液を飲み、盲腸で味わう？サル ブラジルでのマーモセット観察の報告」

講師：今井啓雄（京都大学霊長類研究所）

平成26年8月31日

第5回 「常夏の国・インドネシアでジャワルトンを観察する」

講師：辻大和（京都大学霊長類研究所）

平成26年9月14日

第6回 「動物園での動物の赤ちゃんづくり」

講師：木下こづえ（京都大学霊長類研究所）

平成26年9月28日

第7回 「双眼鏡をもって動物園にいこう！」

講師：澤田晶子（京都大学霊長類研究所）

平成26年10月5日

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 第 8 回 「チンパンジーのリズム感から音楽の進化を探る」 | |
| 講師：服部裕子（京都大学霊長類研究所） | 平成 26 年 10 月 19 日 |
| 第 9 回 「ボノボのメスの団結力」 | |
| 講師：徳山奈帆子（京都大学霊長類研究所） | 平成 26 年 11 月 9 日 |
| 第 10 回 「マカクの進化：移住、交雑、適応、ヒトの影響」 | |
| 講師：濱田穰（京都大学霊長類研究所） | 平成 26 年 11 月 23 日 |
| 第 11 回 「DNA でサル暮らしはどこまでわかるか？」 | |
| 講師：早川卓志（京都大学霊長類研究所） | 平成 27 年 3 月 22 日 |



第 8 回の様子

5. アニマルフォトコンテストの開催

- ① 第 9 回モンキーセンターアニマルフォトコンテスト 優秀作品展の開催

期間：平成 25 年 11 月 3 日～平成 26 年 10 月 28 日

場所：ビジターセンター内

- ② 第 10 回モンキーセンターアニマルフォトコンテストの開催

募集期間：平成 26 年 7 月 1 日～9 月 30 日

部門：一般部門、学生部門、科学写真部門、組み写真部門

応募点数：854 点

入選点数：39 点（特別賞 19 点、入選 20 点）

表彰式：平成 26 年 11 月 3 日

場所：ビジターセンターホール

参加者：受賞者およびその家族等、およそ 50 名

- ③ 第 10 回モンキーセンターアニマルフォトコンテスト 優秀作品展の開催

期間：平成 26 年 11 月 3 日～ 開催中

場所：ビジターセンター内

6. 写生大会の開催

- ① 第 58 回中部ブロック動物園水族館協会写生コンクール参加

日本モンキーセンター写生大会 優秀作品展の開催

期間：平成 25 年 7 月 15 日～平成 26 年 7 月 20 日

場所：アフリカセンター内室内観覧通路

- ② 第 59 回中部ブロック動物園水族館協会写生コンクール参加
 日本モンキーセンター写生大会の開催
 募集期間：平成 26 年 4 月 1 日～5 月 31 日
 応募点数：233 点
 入選点数：43 点（特別賞 11 点、特選 12 点、入選 20 点）
 表彰式：平成 26 年 7 月 21 日
 場所：ビジターセンターホール
 参加者：受賞者およびその家族、およそ 140 名

- ③ 第 59 回中部ブロック動物園水族館協会写生コンクール参加
 日本モンキーセンター写生大会 優秀作品展の開催
 期間：平成 26 年 7 月 21 日～ 開催中
 場所：アフリカセンター内室内観覧通路

7. ホームページの充実

Web サイトの更新件数：207 件
 主な更新：英語・ポルトガル語・フランス語・中国語サイトの公開
 カレンダーの設置
 所長室、館長室、園長室、友の会のページの新設
 トップページ写真、ニュース、飼育室、獣医室等の定期的な更新

8. メールマガジン「新 JMC 通信」の発行

平成 20 年 7 月より発行していたものをリニューアル
 配信日：毎月 1 回、第 3 水曜日または木曜日
 平成 27 年 3 月 31 日時点の登録数：4,645 件

9. フェイスブックを通じた情報発信

10. 学習利用

幼稚園・保育園・学校・社会教育団体等向けのレクチャーや特別イベントの実施

(1) 団体入園者数 241 件・17,191 名

内訳：	幼稚園・保育園	59 件	6,403 名
	小学校	73 件	5,980 名
	中学校	7 件	634 名
	高等学校	13 件	1,162 名
	大学・専門学校	20 件	898 名
	特別支援・養護学校	8 件	281 名
	福祉・介護施設	16 件	364 名
	一般・その他	45 件	1,469 名

- (2) 教育プログラム利用状況 総数 170 件・12,047 名
- | | |
|-------------------|-------|
| レクチャー: | 145 件 |
| 紙芝居: | 39 件 |
| KIDSZOO 団体利用: | 73 件 |
| スポットガイド団体利用: | 115 件 |
| キュレーター等によるガイドツアー: | 36 件 |
| バックヤード見学: | 12 件 |
- その他、標本を活用した実習、行動観察、ワークシート学習、特別撮影等



獣医師レクチャー（10月3日）

11. 教員研修会の誘致

- (1) 知多理科自主学習会
 日程：平成 26 年 11 月 30 日
 参加者：小中学校教員 10 名
 内容：レクチャー、ワークシート学習、事例紹介
 講師：高野智

12. 教育普及活動の充実につながる各種ツールの開発

- (1) 学校団体向け利用の手引き（改訂）
- (2) ワークシートの開発
- (3) オリジナル紙芝居（新作）
- (4) オリジナルカンバッチ（新作）
- (5) 霊長類ガイドブックの活用
- (6) 標本等を活用した教材開発

13. アウトリーチ活動

- (1) 地元、近隣の学校と連携した教育活動の実践における職員の講師派遣

① 金城学院大学

日程：平成 26 年 5 月 8 日
 対象：現代子ども学科 1 年生 137 名
 内容：人間科学基礎演習「行動観察実習の事前学習」

赤見理恵

② 犬山市立犬山西小学校

日程：平成 26 年 6 月 17 日
 対象：6 年生 105 名
 内容：理科授業「食物と消化管の違いとその特徴」

高野智

- ③ 犬山市立羽黒小学校
日程：平成 26 年 6 月 19 日
対象：6 年生 84 名
内容：理科授業「食性の異なるサルの消化管の違いとその特徴」 高野智
- ④ 犬山市立犬山西小学校
日程：平成 26 年 7 月 9 日
対象：5 年生 112 名
内容：理科授業「人とサルの出産の違いとその特徴」 赤見理恵
- ⑤ 犬山市立城東中学校
日程：平成 26 年 7 月 10 日
対象：2 年生 201 名
内容：理科授業「ヒトとチンパンジーの骨格の違いとはたらき・生活環境の違いと進化」 高野智
- ⑥ 犬山市立東部中学校
日程：平成 26 年 7 月 14 日
対象：2 年生 123 名
内容：理科授業「ヒトとチンパンジーの骨格の違いとはたらき」 高野智
- ⑦ 犬山市立犬山中学校
日程：平成 26 年 7 月 16 日、17 日
対象：2 年生 213 名
内容：理科授業「ヒトとチンパンジーの骨格の違いとはたらき」 高野智
- ⑧ 犬山市立城東小学校
日程：平成 26 年 9 月 9 日
対象：5 年生 134 名
内容：理科授業「ヒトの誕生とサルの誕生の共通点・相違点をサルの標本から考察する」 赤見理恵
- ⑨ 犬山市立羽黒小学校
日程：平成 26 年 9 月 24 日
対象：5 年生 91 名
内容：理科授業「ヒトの誕生とサルの誕生の共通点・相違点をサルの標本から考察する」 赤見理恵
- ⑩ 犬山市立南部中学校
日程：平成 26 年 11 月 11 日
対象：2 年生約 200 名
内容：想像するちから ～チンパンジーが教えてくれた人間の心～
松沢哲郎、赤見理恵
- ⑪ 多治見西高等学校附属中学校
日程：平成 26 年 11 月 12 日
対象：2 年生 48 名
内容：理科授業「サルについて学ぶとは」「ヒトとチンパンジーの骨格標本からわかること」 高野智

⑫ 犬山市立城東中学校

日程：平成 26 年 11 月 21 日

対象：全校生徒、保護者、学校職員

内容：想像するちから ～チンパンジーが教えてくれた人間の心～

松沢哲郎、赤見理恵

⑬ 犬山市立犬山西小学校

日程：平成 26 年 11 月 26 日

対象：4 年生 101 名

内容：理科授業「ヒトとサルの骨格の違いとその特徴」

高野智

⑭ 安城市立安城西中学校

日程：平成 27 年 1 月 28 日

対象：1 年生生徒

内容：愛知県教育委員会 あいち「授業づくり」人材バンク事業
職業セミナー「動物園獣医師のしごと」

木村直人

⑮ 犬山市立犬山中学校

日程：平成 27 年年 2 月 3 日

対象：1 年生約 200 名

内容：想像するちから ～チンパンジーが教えてくれた人間の心～

松沢哲郎、赤見理恵

⑯ 犬山市立犬山東部中学校

日程：平成 27 年 2 月 18 日

対象：2 年生 124 名

内容：想像するちから ～チンパンジーが教えてくれた人間の心～

松沢哲郎、赤見理恵

⑰ 江南市立古知野北小学校

日程：平成 27 年 2 月 19 日

対象：1 年生 64 名

内容：国語授業「どうぶつの赤ちゃん」

赤見理恵

⑱ 東京農業大学

日程：平成 27 年 2 月 23 日、3 月 2 日

対象：大学 3 年生 28 名（2 月 23 日）、41 名（3 月 2 日）、教員 3 名

内容：「日本モンキーセンターの概要と学芸員としての取り組み」

赤見理恵



犬山中学校アウトリーチ（7 月 9 日）

(2) キュレーターその他職員の一般会合等への講師派遣

① ユニー（株）「エコ博」へのブース出展

日程：平成 26 年 6 月 29 日

場所：リーフウォーク稲沢（愛知県稲沢市）

対象：一般市民

内容：JMC 紹介パネル展、森の工作、出張 KIDSZOO

加藤章、江藤彩子、石田崇人

② 熱田神宮緑陰教室

日程：平成 26 年 8 月 1 日

場所：熱田神宮（愛知県名古屋市）

対象：小学 1 ～ 3 年生 約 500 名

内容：講演「サルの話」

赤見理恵

③ 丸の内キッズジャンボリー 2014

日程：平成 26 年 8 月 12 日～ 8 月 14 日

場所：東京国際フォーラム（東京都千代田区）

対象：幼児、小学生、中学生および保護者 125,139 名（来場者総数）

内容：PWS と共同で「サル・ヒト・キミ研究室」出展

講演「動物園は“野生への窓” 野生動物とキミをつなぐ動物園の新しい形」

赤見理恵、辻内祐美

④ なごや環境大学 ESD シンポジウム「伝えるのは命 繋ぐのは命 名古屋」

日程：平成 26 年 9 月 20 日

場所：伏見ライフプラザ 鯉城ホール（愛知県名古屋市）

加藤章

⑤ PWS 東京フォーラム

日程：平成 26 年 10 月 4 日

場所：日本科学未来館（東京都江東区）

対象：一般市民 159 名

内容：講演「フィールドとつながる動物園・日本モンキーセンターの新たな挑戦」

赤見理恵

⑥ 大垣市環境教育フェスティバル

日程：平成 27 年 3 月 8 日

場所：大垣市情報工房（岐阜県大垣市）

対象：大垣市民や近隣市民 約 200 名

内容：講演「人ってなんだろう・・・生き物の命は繋がりあっている」、動物クイズ、

出張 KIDSZOO、パネル展「類人猿のいる風景」

赤見理恵、三宅奈穂美

⑦ 環境省シンポジウム

「希少な生物の保全のために ー野生生物の輸入国、日本の責任ー」

日程：平成 27 年 3 月 21 日

場所：イオンコンパス東京八重洲（東京都中央区）

対象：一般市民

内容：講演「スローロリス等の霊長類を中心とした希少種の密輸と飼育の現場から」

加藤章

(3) 地元、近隣の教育委員会や教員の集まりや研究会への参加

① 一般財団法人愛知教育会 教育講演会

日程：平成 26 年 8 月 23 日

場所：名古屋市教育センター講堂（愛知県名古屋市）

内容：想像するちから ～チンパンジーが教えてくれた人間の心～

松沢哲郎、高野智

② 岡崎教員研修会・四季の会

日程：平成 26 年 11 月 22 日

対象：岡崎市の学校教員 約 600 名

内容：想像するちから ～チンパンジーが教えてくれた人間の心～

松沢哲郎、赤見理恵

(4) シンポジウム等の受け入れ

① 公益財団法人ひと・健康・未来研究財団 市民公開講座

第 4 回ひと・健康・未来シンポジウム 2015 犬山

「サルに学ぶ、人間の不思議」

日程：平成 27 年 2 月 19 日



会場の様子

(5) シンポジウム等の共催

① 中部学院大学 公開講座「比較認知発達論」

第 1 回：平成 26 年 7 月 17 日

「野生チンパンジーの危機 - 野火、密猟、エボラ出血熱 -」

松沢哲郎

第 2 回：平成 27 年 1 月 22 日

「新しい命の誕生 チンパンジーの子どもの発達」

松沢哲郎

② 第 20 回「野生生物と社会」学会犬山大会 公開シンポジウム

「フィールドミュージアムの可能性を探る」

日程：平成 26 年 11 月 1 日

会場：犬山国際観光センター フロイデ

(6) 地元、近隣の学校訪問（誘致・広報活動）

犬山市を中心に、出前授業等の機会も利用して誘致の呼びかけ

(7) 社会貢献

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ① 日本人類学会 教育普及委員会委員 | 高野智 |
| ② あいちサイエンスフェスティバル 実行委員 | 高野智 |
| ③ 愛知県尾張北部地域生態系ネットワーク 幹事 | 高野智 |
| ④ 日本動物園水族館教育研究会 運営委員 | 赤見理恵 |
| ⑤ NPO 法人市民 ZOO ネットワーク 理事 | 綿貫宏史朗 |
| ⑥ 愛知県高等学校キャリア教育推進事業地域推進会議 | 加藤章 |
| ⑦ 犬山市環境審議会 | 加藤章 |
| ⑧ (公社) 日本動物園水族館協会 総務委員会倫理福祉部員 | 木村直人 |

(8) その他

- ① 愛知教育大学附属名古屋小学校 遠隔授業
日程：平成 26 年 12 月 4 日、平成 27 年 3 月 11 日、3 月 16 日
対象：5 年生 115 名
内容：理科授業「生命のつながり」における助言 赤見理恵

14. 他園館への博物館資料の貸出

(1) あいち健康プラザ健康科学館

目的：冬の特別展示「くらべてびっくり! アニマルランド」での展示
貸出資料：アヌビスヒヒ全身骨格 2 点、ヤクニホンザル全身骨格 1 点等
期間：平成 26 年 12 月 13 日～平成 27 年 3 月 3 日

(2) 国立科学博物館

目的：特別展「大アマゾン展」での展示
貸出資料：エンペラータマリン、クロホエザル、マンクサキなど 剥製 9 点
期間：平成 27 年 3 月 3 日～ 貸出中

15. キュレーターによるレクチャー、ガイドツアーの実施

(1) 春季キュレーターズトーク

- | | |
|---------------------------|-------|
| 「ホネから知るサルの秘密」 | |
| 平成 26 年 4 月 27 日 | 高野智 |
| 「アフリカに暮らしチンパンジーを探す」 | |
| 平成 26 年 4 月 29 日 | 大橋岳 |
| 「動物園を学びの場にするために」 | |
| 平成 26 年 5 月 3 日 | 赤見理恵 |
| 「なるほど! サル教室」 | |
| 平成 26 年 5 月 4 日 | 加藤章 |
| 「日本の哺乳類の多様性 ～“島”のネズミとサル～」 | |
| 平成 26 年 5 月 5 日 | 新宅勇太 |
| 「日本にいるわたしたちの“隣人”たち」 | |
| 平成 26 年 5 月 6 日 | 綿貫宏史朗 |

(2) 秋季キュレーターズガイド

「カラフルなサル、地味なサル：オナガザルの仲間の多様性」

平成 26 年 9 月 13 日、10 月 18 日

新宅勇太

「サルの形と動きを調べよう」

平成 26 年 9 月 20 日、10 月 25 日

高野智

「標本が支える生物学 ～モンキーセンターの標本庫を探検してみよう～」

平成 26 年 11 月 15 日

高野智

「ヒトの一生、サルの一生」

平成 26 年 9 月 27 日、11 月 1 日、11 月 22 日

赤見理恵

「チンパンジーの赤ちゃんが大きくなるまで」

平成 26 年 10 月 4 日、11 月 8 日

大橋岳

「動物園の「楽しみ方」教えます！」

平成 26 年 10 月 11 日、11 月 29 日

綿貫宏史朗

(3) 冬季キュレーターズトーク

「アフリカでのチンパンジー調査のようす」

平成 26 年 12 月 21 日

大橋岳

「骨をさわってみよう！」

平成 26 年 12 月 28 日、平成 27 年 1 月 18 日

高野智

「バレイのサルの故郷へ」

平成 27 年 1 月 4 日、1 月 25 日

新宅勇太

「写真で見る「たき火にあたるサル」の今昔」

平成 27 年 1 月 11 日

赤見理恵

「野生を見てかんがえた、未来の動物園」

平成 27 年 2 月 8 日：前編、2 月 22 日：後編

綿貫宏史朗

「アマゾンでサルに会う！」

平成 27 年 2 月 15 日

赤見理恵

(4) 2015 年度春季キュレーターズガイド（2014 年度内開催分）

「サルの“すごい”にせまる」

平成 27 年 3 月 21 日

高野智

「しっぽの“すごい”を探しに行こう」

平成 27 年 3 月 28 日

新宅勇太



キュレーターズガイド
「チンパンジーの赤ちゃんが大きくなるまで」
(11 月 8 日)

16. 動物園イベント

(1) 常時受け付けの体験イベント

- ① 森の工作室（春季～夏季）
- ② クイズラリー「多様性ハンター」
- ③ ペーパークラフト「Wao キャップ」

(2) 通年イベント

- ① モンキーセンター おしごと体験（春季～秋季）
「おやつ作り体験」「飼料体験」「葉っぱ集め体験」
土日祝に有料にて開催
- ② シークレットガイド 毎日数回開催
- ③ 類人猿のディナータイム アフリカセンターにて毎日夕方開催

(3) 春季開催

- ① 公益財団法人化記念 無料開放日 平成 26 年 4 月 1 日

(4) 夏季開催

- ① サイエンスショー 平成 26 年 8 月 9 日、8 月 25 日

(5) 秋季開催

- ① 動物慰霊祭 平成 26 年 10 月 17 日
- ② タンザニア生息地研修報告会 平成 26 年 10 月 25 日

(6) 冬季開催

- ① 冬の風物詩 たき火にあたるサル
期間：平成 26 年 12 月 22 日～平成 27 年 2 月 28 日の土・日・祝
時間：11:30 ～ 14:00
- ② ホカホカおイモタイム
日時：たき火にあたるサルの開催日 14:00 ～
- ③ 日程限定！おイモの試食（来園者の方の試食会）
日程：平成 26 年 12 月 22 日、12 月 23 日、平成 27 年 1 月 1 日～1 月 4 日
時間：14:00 過ぎ（ホカホカおイモタイム終了後）



たき火にあたるサル取材（12 月 22 日）

④ 縁起物「奇跡のみかん」 プレゼント

日時：平成 27 年 1 月 1 日～ 1 月 4 日

10:00 より各日先着 50 個を配布

⑤ モンキーセンターからのお年玉♪

末尾「36」「8936」の年賀葉書持参者にプレゼント

平成 27 年 1 月 1 日～ 2 月 28 日

⑥ サルみくじ

平成 27 年 1 月 1 日～ 2 月 28 日

(7) 募集型イベント

① 主催

1 日飼育員体験 (参加費 4,000 円) 日程：平成 26 年 8 月 8 日 12 名

1 日霊長類学入門 (参加費 4,000 円) 日程：平成 26 年 8 月 26 日

定員に満たず不催行

② 他団体と連携した開催

ユニー&モンキーセンター モンキーサマースクール

日程：平成 26 年 8 月 22 日～ 8 月 23 日 1 泊 2 日 24 名

(8) その他

チンパンジーの赤ちゃん 名前公募

① 名前候補の募集

平成 26 年 8 月 2 日～ 8 月 24 日

応募総数 353 件

② 投票

「マモル」「マサル」「マコト」の 3 候補への投票受け付け

平成 26 年 9 月 1 日～ 9 月 30 日

投票総数 386 票

開票の結果、「マモル」に決定

③ 「マモル」命名式

平成 26 年 10 月 12 日 13:00 ～

所長挨拶、応募結果紹介、命名パネル除幕式



マモル命名式 (10 月 12 日)

VI 会議・研修

1. (公社) 日本動物園水族館協会

(1) 平成 26 年度 通常総会

日程：平成 26 年 5 月 22 日

会場：静岡市立日本平動物園

伊谷原一

(2) 総務委員会倫理福祉部会

① 平成 26 年度第 1 回倫理福祉部会

日時：平成 26 年 10 月 1 日

会場：恩賜上野動物園（東京都台東区）

木村直人

② 平成 26 年度第 2 回倫理福祉部会

日時：平成 27 年 2 月 27 日

会場：恩賜上野動物園（東京都台東区）

木村直人

(3) 生物多様性委員会霊長類作業部会ならびにチンパンジー専門部会

日時：平成 26 年 11 月 17 日～11 月 18 日

会場：多摩動物公園（東京都日野市）

加藤章、鏡味芳宏、奥村文彦

(4) (公社) 日本動物園水族館協会主催 個体群管理講習会

日時：平成 27 年 2 月 23 日～2 月 24 日

会場：恩賜上野動物園（東京都台東区）

鏡味芳宏、奥村文彦

2. (公社) 日本動物園水族館協会 中部ブロック協議会

(1) 中部ブロック園館長会議

① 平成 26 年度第 1 回中部ブロック園館長会議

日程：平成 26 年 10 月 28 日～10 月 29 日

会場：辰口温泉たがわ龍泉閣（石川県能美市、担当：いしかわ動物園）

伊谷原一

② 平成 26 年度第 2 回中部ブロック園館長会議

日程：平成 27 年 2 月 12 日～2 月 13 日

会場：名古屋市東山動物園（愛知県名古屋市）

伊谷原一

(2) 飼育技術者研修会

① 第 108 回中部ブロック飼育技術者研修会（近畿ブロックと合同開催）

日程：平成 26 年 6 月 26 日～6 月 27 日

会場：天王寺動物園（大阪府大阪市）

発表：バーバリーマカクの繁殖計画

佐藤百恵、辻内祐美

② 第 109 回中部ブロック飼育技術者研修会

日程：平成 26 年 11 月 25 日～11 月 26 日

会場：魚津水族館（富山県魚津市）

発表：タンザニアへの生息地研修とその後について

奥村文彦

3. (公社) 日本博物館協会

① 平成 26 年度全国博物館長会議

日程：平成 26 年 6 月 11 日

会場：文部科学省講堂（東京都千代田区）

高野智

4. 愛知県博物館協会

① 平成 26 年度愛知県博物館協会総会

日程：平成 26 年 6 月 25 日

会場：愛知県陶磁美術館（愛知県瀬戸市）

高野智

5. KS-PRI-JMC 獣医師合同カンファレンス

① 第 1 回合同カンファレンス

日程：平成 26 年 5 月 16 日

場所：京都大学霊長類研究所（TV 会議）

内容：健康診断項目の内容について

木村直人

② 第 2 回合同カンファレンス

日程：平成 26 年 6 月 27 日

場所：京都大学霊長類研究所（TV 会議）

発表：ニホンザルの乳腺炎治療について、ケナガクモザルの人工哺育について、
フサオマキザル乳児の前腕骨開放骨折治療について、
ノドジロオマキザルの膣脱治療など

木村直人

③ 第 3 回合同カンファレンス

日程：平成 26 年 8 月 8 日

場所：京都大学霊長類研究所（TV 会議）

発表：チンパンジーの出産について、シロテテナガザル上腕骨骨折の治療について、
ニホンザルの熱射病について

木村直人

④ 第 4 回合同カンファレンス

日程：平成 26 年 10 月 3 日

場所：京都大学霊長類研究所（TV 会議）

発表：ワオキツネザル乳幼児の外傷性角膜炎治療について

木村直人

⑤ 第 5 回合同カンファレンス

日程：平成 26 年 12 月 4 日

場所：京都大学霊長類研究所（TV 会議）

発表：サンタレムマーモセットの腋下腫瘤についてなど

木村直人

⑥ 第 6 回合同カンファレンス

日程：平成 27 年 1 月 30 日

場所：京都大学霊長類研究所（TV 会議）

発表：アヌビスヒヒの下半身麻痺治療について

木村直人、岡部直樹

⑦ 第7回合同カンファレンス

日程：平成27年3月6日

場所：セミナーハウス白帝（TV会議）

発表：アヌビスヒヒの下半身麻痺治療について（続報）、マンドリルの自傷について、
サバンナモンキーの肺炎・心不全について、サイクスモンキーの腎不全について、
マルブラウクモンキーの歯髄炎について 木村直人、岡部直樹

6. PRI-JMC 検討委員会

- ① 第13回委員会 平成26年5月20日
松沢哲郎、山極壽一、伊谷原一、高野智、赤見理恵
- ② 第14回委員会 平成26年7月15日
松沢哲郎、山極壽一、伊谷原一、高野智、赤見理恵
- ③ 第15回委員会 平成26年8月26日
松沢哲郎、伊谷原一、高野智、赤見理恵
- ④ 第16回委員会 平成26年12月2日
松沢哲郎、伊谷原一、高野智、赤見理恵

7. その他

- ① 京都大学野生動物研究センター連携園館チンパンジー将来計画会議
日程：平成26年7月28日
会場：京都大学野生動物研究センター（京都市左京区） 綿貫宏史朗、星野智紀
- ② （公社）愛知県獣医師会主催 公衆衛生部会講演会
日程：平成26年10月11日
会場：アイリス愛知（愛知県名古屋市） 木村直人
- ③ 動物取扱責任者研修会
日程：平成26年11月12日
会場：北名古屋市勤労文化会館（愛知県北名古屋市） 伊谷原一
- ④ 第30回全国飼育のつどい
日程：平成26年12月1日
会場：飯田市立動物園（長野県飯田市） 廣川百恵、中尾汐莉

VII 広報・PR

1. ホームページ

- (1) 和文ページ <http://www.j-monkey.jp/>
- (2) 英文ページ <http://www.japanmonkeycentre.org/index.html>
- (3) その他、フランス語、中国語、ポルトガル語のページ整備

2. ガイドブック

3. 英文パンフレット

4. ジャーナリズムへの資料提供

- (1) CBC テレビ制作協力「CBC イッポウ・半世紀前のフィルム・篠島三島」
愛知県篠島
- (2) 新聞記事掲載 38 件
- (3) テレビ 28 件
- (4) ラジオ 1 件（月 1 回の電話出演）

加藤章

5. リーフレット・園内案内のパンフレット

6. ポスター

7. フェイスブック (<https://www.facebook.com/japanmonkeycentre>)



新しいリーフレット

VIII 連携研究・研修の受け入れ

1. 連携研究の受入

連携研究番号：2014001

申請者：大井裕典（大阪大学）

課題名：ワオキツネザルにおけるアカンボウへの接触行動を通じたメスの親和関係の促進

連携研究番号：2014002

申請者：稲用博史（いなもち医院）・関幸夫（いなもち数値機械研究所）

課題名：数学モデルを用いた霊長類大腿骨形態の解析

連携研究番号：2014003

申請者：Vanessa Wilson（京都大学）・村山美穂（京都大学）

課題名：リスザルの性格に關与する遺伝子多型

連携研究番号：2014004

申請者：平松千尋（九州大学）・山下友子（九州大学）・嶋田容子（同志社大学）・

杉野強（九州大学）・飯田州人（九州大学）・田村俊介（九州大学）

課題名：霊長類における音声コミュニケーションの進化および発達過程の研究

連携研究番号：2014005

申請者：高井正成（京都大学）

課題名：東アジアのオナガザル科の進化に関する古生物学的研究

連携研究番号：2014006

申請者：鈴木希理恵（NPO 法人野生生物保全論研究会）・Anna Nakaris（オックスフォード

ブルックス大学）・Louisa Musing（オックスフォードブルックス大学）

課題名：スローロリス (*Nycticebus spp.*) の日本での飼育および流通実態の調査

連携研究番号：2014007

申請者：Wan-Ting Hong（京都大学）

課題名：Basic glucocorticoid profile of slow loris

連携研究番号：2014008

申請者：林美里・川上文人・Claire Watson・Chloe Gonseth・市野悦子・平栗明実・

有賀菜津美・友永雅己（京都大学）

課題名：飼育下チンパンジーにおける子どもの発達および母子関係について

連携研究番号：2014009

申請者：Luca Morino・Fred Bercovitch・打越万喜子（京都大学）

課題名：テナガザルの表情や行動の左右差と、発声との関連を調べる研究

連携研究番号：2014010

申請者：佐々木智彦（東京大学）

課題名：類人猿における下顎犬歯歯髓腔の年齢に伴う狭窄

連携研究番号：2014011

申請者：澤田晶子（京都大学）

課題名：フタユビナマケモノの行動観察および糞サンプル採取

連携研究番号：2014012

申請者：山田博之（愛知学院大学）

課題名：類人猿の乳犬歯の比較形態学的研究：乳犬歯と永久犬歯の比較について

連携研究番号：2014013

申請者：酒井朋子（慶応義塾大学）

課題名：拡散スペクトラム MRI を用いた霊長類の神経回路構造の比較研究

連携研究番号：2014014

申請者：木下こづえ（京都大学）

課題名：雌チンパンジーにおける授乳期間中の性皮腫脹と尿中ホルモン動態について

連携研究番号：2014015

申請者：山本真也（神戸大学）

課題名：霊長類多種を対象とした食物分配実験：なぜ分配する種としない種がいるのか？

連携研究番号：2014016

申請者：澤野啓一（神奈川歯科大学）

課題名：眼窩及び頭蓋底神経血管孔の比較解剖学的研究

胸腔及び腹腔内臓の比較解剖学的研究

連携研究番号：2014017

申請者：宮部貴子（京都大学）

課題名：非ヒト霊長類の自然発症疾患に関する臨床研究

胸腔及び腹腔内臓の比較解剖学的研究

連携研究番号：2014018

申請者：早川卓志（京都大学）

課題名：新世界ザルにおける核酸のうま味感受性の種差に関する行動実験

2. 標本資料の貸出（連携研究）

連携研究番号：2014005

貸出標本：ハヌマンラングール 骨格標本 10 点

期間：平成 26 年 6 月 2 日～7 月 1 日

貸出標本：フランソワルトン 骨格標本 5 点、ボウシラングール 骨格標本 5 点

期間：平成 26 年 7 月 1 日～8 月 27 日

連携研究番号：2014010

貸出標本：チンパンジー 骨格標本 2 点

期間：平成 26 年 11 月 6 日～11 月 14 日

貸出標本：ニシローランドゴリラ 骨格標本 2 点

期間：平成 26 年 11 月 14 日～12 月 11 日

連携研究番号：2014013

貸出標本：ニホンザル、ピグミーマーモセットほか、 脳標本計 4 点

期間：平成 26 年 12 月 9 日～貸出中

連携研究番号：2014016

貸出標本：チンパンジー 全身液浸標本 1 点

期間：平成 27 年 2 月 20 日～2 月 26 日

連携研究番号：2014017

貸出標本：アヌビスヒヒ 全身冷凍標本 1 点、骨格標本 1 点

期間：平成 27 年 3 月 17 日～3 月 19 日

3. 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院実習・セミナー

① インターラボ

内容：レクチャー、バックヤード見学、園内見学

平成 26 年 4 月 12 日

33 名

② 動物園・博物館実習

内容：レクチャー、エンリッチメント実習、飼育実習、解剖見学、標本実習、
教育プログラム見学、来園者調査

前期：平成 26 年 7 月 14 日～7 月 17 日

4 名

後期：平成 26 年 10 月 6 日～10 月 9 日

4 名

③ 第 4 回ブッダ・セミナー

内容：レクチャー、科学コミュニケーションについてのワークショップ

講師：毛利衛（日本科学未来館 館長・PWS 特任教授）

岩崎茜（日本科学未来館 科学コミュニケーター）

高橋麻美（日本科学未来館 科学コミュニケーター）

日程：平成 27 年 3 月 4 日

JMC 職員、京都大学教職員・学生 およそ 50 名



動物園・博物館実習
前期（左）と後期（右）

4. 飼育研修生の受け入れ 計 12 名

① 名古屋コミュニケーションアート専門学校 動物園・動物飼育専攻

平成 26 年 4 月 28 日～5 月 11 日

2 年生 1 名

平成 26 年 6 月 17 日～6 月 30 日

2 年生 1 名

平成 26 年 7 月 8 日～7 月 21 日

2 年生 1 名

平成 27 年 3 月 2 日～3 月 15 日

1 年生 1 名

平成 27 年 3 月 16 日～3 月 29 日

1 年生 1 名

平成 27 年 3 月 23 日～4 月 5 日

1 年生 1 名

平成 27 年 3 月 30 日～4 月 11 日

1 年生 1 名

② 大阪 ECO 動物海洋専門学校 動物園・動物飼育専攻

平成 26 年 7 月 22 日～8 月 4 日

2 年生 1 名

平成 26 年 8 月 27 日～9 月 9 日

2 年生 1 名

③ 大阪動植物海洋専門学校 動物飼育看護学科動物飼育コース

平成 26 年 12 月 5 日～12 月 18 日

1 年生 1 名

④ 日本獣医生命科学大学応用生命科学部動物科学科

平成 27 年 3 月 2 日～16 日

3 年生 1 名

⑤ 北里大学獣医学部動物資源科学科

平成 27 年 3 月 17 日～30 日

3 年生 1 名

5. 職場体験・インターンシップの受け入れ 計 17 件 100 名

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| ① 犬山市立東部中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 5 月 28 日～5 月 30 日 | 2 年生 4 名 |
| 平成 26 年 5 月 30 日 | 2 年生 4 名 |
| ② 豊田市立猿投中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 6 月 12 日 | 2 年生 1 名 |
| ③ 犬山市立城東中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 6 月 12 日～6 月 13 日 | 2 年生 9 名 |
| ④ 大口町立大口中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 6 月 16 日～6 月 17 日 | 2 年生 4 名、1 年生 4 名 |
| ⑤ 聖マリア女学院中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 7 月 24 日、8 月 11 日 | 3 年生 3 名 |
| ⑥ 岐阜大学教育学部附属中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 7 月 31 日 | 2 年生 2 名 |
| ⑦ 岩倉市立岩倉中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 8 月 4 日、8 月 6 日～8 月 7 日 | 2 年生 10 名 |
| ⑧ 扶桑町立扶桑中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 8 月 6 日～8 月 8 日 | 2 年生 3 名 |
| ⑨ 愛知県立犬山南高等学校 インターンシップ | |
| 平成 26 年 8 月 21 日～8 月 22 日 | 2 年生 1 名、1 年生 1 名 |
| ⑩ 岩倉市立南部中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 8 月 25 日、27 日～28 日 | 2 年生 9 名 |
| ⑪ 犬山市立南部中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 9 月 18 日～9 月 19 日 | 2 年生 8 名 |
| ⑫ 岐阜県立土岐紅陵高等学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 10 月 8 日～10 月 10 日 | 1 年生 1 名 |
| ⑬ 西尾市立福地中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 10 月 16 日～10 月 17 日 | 2 年生 10 名 |
| ⑭ 犬山市立犬山中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 10 月 23 日～10 月 24 日 | 2 年生 7 名 |
| ⑮ 各務原市立緑陽中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 10 月 23 日～10 月 24 日 | 2 年生 2 名 |
| ⑯ 各務原市立中央中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 10 月 29 日～10 月 30 日 | 2 年生 8 名 |
| ⑰ 各務原市立鵜沼中学校 職場体験 | |
| 平成 26 年 10 月 29 日～10 月 30 日 | 2 年生 9 名 |

6. 教員研修の受け入れ 計 2 件 2 名

- | | |
|-------------------------|--------|
| ① 名古屋市立長須賀小学校 | |
| 平成 26 年 8 月 3 日、8 月 8 日 | 教員 1 名 |
| ② 日進市立北小学校 | |
| 平成 26 年 8 月 21 日～23 日 | 教員 1 名 |

7. 博物館実習の受け入れ 計7件9名

- | | |
|--|--------|
| ① 愛知教育大学教育学部現代学芸課程自然科学コース
平成26年6月2日～6月13日 | 3年生 2名 |
| ② 名城大学農学部生物資源学科
平成26年7月31日～8月11日 | 4年生 1名 |
| ③ 名城大学農学部生物環境学科
平成26年7月31日～8月11日 | 4年生 1名 |
| ④ 岐阜女子大学文化創造学部文化創造学科
平成26年8月18日～8月31日 | 4年生 1名 |
| ⑤ 帝京科学大学生命環境学部アニマルサイエンス学科
平成26年8月24日～9月4日 | 4年生 1名 |
| ⑥ 岐阜大学応用生物科学部生産環境科学課程
平成26年8月24日～9月4日 | 3年生 2名 |
| ⑦ 帯広畜産大学畜産科学課程
平成26年9月8日～9月19日 | 4年生 1名 |
| ⑧ 帝京科学大学生命環境学部アニマルサイエンス学科
平成26年11月1日～11月12日 | 4年生 1名 |



博物館実習 [標本実習] (8月20日)

IX 飼育・展示および収集・保存

1. 各種環境エンリッチメントへの取り組み

(1) 空間エンリッチメント

- ① ハンモックの設置
- ② 消防ホースの取り付け
- ③ 植栽の導入（育成箱の設置、放飼場への植樹、観葉植物や木の枝、竹の設置など）
- ④ かじり木の導入



ハンモックに乗るバーバリーマカク



ヒヒの城での消防ホース設置



植栽の導入



(2) 社会的エンリッチメント

① ハズバンダリートレーニングの開始

(3) 感覚エンリッチメント

① ハーブ類を飼料に添加した味覚への刺激

② BGM や動画の再生による、視覚・聴覚への刺激

(4) 採食エンリッチメント

① 消防ホースや竹、塩ビ管、麻袋などで作成したフィーダーを用いた給餌方法の導入



フィーダーの導入



2. KIDSZOO でのふれあい展示等の開発

(1) モルモットの橋の設置

平成 26 年 9 月 5 日

(2) デグートネルの設置

平成 26 年 9 月 19 日

(3) ウッキーキャッチャーの設置

平成 26 年 11 月 14 日



モルモットの橋



デグートネル

3. 飼育動物一覧 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

(1) サル類

種名	学名	合計	オス	メス	不明
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	84	43	39	2
エリマキキツネザル	<i>Varecia variegata</i>	6	2	4	0
クロキツネザル	<i>Eulemur macaco</i>	2	0	2	0
ブラウンキツネザル	<i>Eulemur fulvus</i>	2	1	1	0
レッサースローロリス	<i>Nycticebus pygmaeus</i>	25	13	12	0
ポト	<i>Perodicticus potto</i>	5	4	1	0
ショウギャラゴ	<i>Galago senegalensis</i>	1	1	0	0
コモンマーモセット	<i>Callithrix jacchus</i>	11	7	2	2
クロミミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	14	11	2	1
シロガオマーモセット	<i>Callithrix geoffroyi</i>	4	0	4	0
サンタレムマーモセット	<i>Callithrix humeralifera</i>	3	2	1	0
ピグミーマーモセット	<i>Cebuella pygmaea</i>	7	4	3	0
アカテタマリン	<i>Saguinus midas</i>	11	6	3	2
ムネアカタマリン	<i>Saguinus labiatus</i>	1	0	1	0
ワタボウシパンシェ	<i>Saguinus oedipus</i>	2	1	1	0
ヨザル	<i>Aotus trivirgatus</i>	15	6	8	1
ダスキーティティ	<i>Callicebus moloch</i>	1	1	0	0
シロガオサキ	<i>Pithecia pithecia</i>	1	1	0	0
クロヒゲサキ	<i>Chiropotes satanas</i>	3	1	2	0
ノドジロオマキザル	<i>Cebus capucinus</i>	5	3	2	0
シロガオオマキザル	<i>Cebus albifrons</i>	5	4	1	0
フサオマキザル	<i>Cebus apella</i>	21	9	12	0
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	25	10	15	0
クロクモザル	<i>Ateles paniscus</i>	2	1	1	0
ケナガクモザル	<i>Ateles belzebuth</i>	9	6	3	0
ジェフロイクモザル	<i>Ateles geoffroyi</i>	8	3	5	0
コモンウーリーモンキー	<i>Lagothrix lagotrica</i>	5	3	2	0
バーバリーマカク	<i>Macaca sylvanus</i>	17	10	7	0
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	30	10	19	1
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	12	5	7	0
シシオザル	<i>Macaca silenus</i>	8	3	5	0
ブタオザル	<i>Macaca nemestrina</i>	15	6	9	0
カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	102	39	63	0
アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	5	1	4	0
タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i>	5	4	1	0
ベニガオザル	<i>Macaca arctoides</i>	1	1	0	0
チベットモンキー	<i>Macaca thibetana</i>	7	2	5	0
ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	129	55	74	0
ヤクニホンザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	156	77	77	2

種名	学名	合計	オス	メス	不明
ゴールデンマンガベイ	<i>Cercocebus chrysogaster</i>	1	1	0	0
アヌビスヒヒ	<i>Papio anubis</i>	78	28	50	0
ギニアヒヒ	<i>Papio papio</i>	1	1	0	0
マントヒヒ	<i>Papio hamadryas</i>	7	4	3	0
マンドリル	<i>Mandrillus sphinx</i>	17	10	7	0
クチヒゲグエノン	<i>Cercopithecus cephus</i>	1	0	1	0
サイクスモンキー	<i>Cercopithecus mitis alboglaris</i>	1	0	1	0
ブラッサグエノン	<i>Cercopithecus neglectus</i>	1	0	1	0
シュミットグエノン	<i>Cercopithecus ascanius schmidt</i>	5	0	5	0
バッティコファークエノン	<i>Cercopithecus petaurista buettikoferi</i>	1	0	1	0
マルブラウクモンキー	<i>Chlorocebus pygerythrus cynosuros</i>	2	0	2	0
サバンナモンキー	<i>Chlorocebus aethiops</i>	9	4	5	0
タラポアン	<i>Miopithecus talapoin</i>	4	2	2	0
パタスモンキー	<i>Erythrocebus patas</i>	8	4	3	1
ハヌマンラングール	<i>Semnopithecus entellus</i>	1	0	1	0
シルバールトン	<i>Trachypithecus cristatus</i>	2	2	0	0
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	3	1	2	0
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	5	3	2	0
アンゴラコロブス	<i>Colobus angolensis</i>	1	1	0	0
シロテテナガザル	<i>Hylobates lar</i>	8	6	2	0
ボウシテナガザル	<i>Hylobates pileatus</i>	6	3	3	0
アジルテナガザル	<i>Hylobates agilis</i>	1	0	1	0
ミューラーテナガザル	<i>Hylobates muelleri</i>	1	0	1	0
クロステナガザル	<i>Hylobates klossii</i>	1	0	1	0
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	11	6	5	0
ニシローランドゴリラ	<i>Gorilla gorilla gorilla</i>	1	1	0	0
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	8	5	3	0
計		950	438	500	12

(2) その他動物

種名	学名	合計	オス	メス	不明
ウサギ	<i>Oryctolagus cuniculus</i>	7	3	4	
ジャンガリアンハムスター	<i>Phodopus sungorus</i>	2		2	
デグー	<i>Octodon degus</i>	17	6	11	
モルモット	<i>Cavia porcellus</i>	14		14	
イヌ	<i>Canis familiaris</i>	2		2	
フタユビナマケモノ	<i>Choloepus didactylus</i>	1		1	
ケヅメリクガメ	<i>Geochelone sulcata</i>	2	2		
オオアタマガメ	<i>Platysternon megacephalum</i>	1			1
スピングラーヤマガメ	<i>Geoemyda spengleri</i>	2	1	1	
パンケーキリクガメ	<i>Malacochersus tomieri</i>	1		1	
ヒョウモンガメ	<i>Stigmochelys pardalis</i>	1		1	
ハウシャガメ	<i>Astrochelys radiata</i>	2		2	
ミツユビハコガメ	<i>Terrapene carolina triunguis</i>	1		1	
グリーンイグアナ	<i>Iguana iguana</i>	1	1		
ヒョウモントカゲモドキ	<i>Eublepharis macularius</i>	2	1	1	
フトアゴヒゲトカゲ	<i>Pogona vitticeps</i>	1		1	
オオアオジタトカゲ	<i>Tiliqua gigas</i>	1		1	
アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	47			47
シルバーアロワナ	<i>Osteoglossum bicirrhosum</i>	1			1
ブラックピラニア	<i>Serrasalmus rhombeus</i>	1			1
デンキウナギ	<i>Electrophorus electricus</i>	1			1
レッドコロソマ	<i>Piaractus brachipomum</i>	2			2
キンギョ	<i>Carassius auratus</i>	5			5
マダガスカルオオゴキブリ	<i>Gromphadorrhina portentosa</i>	16	1	0	15
ダイオウサソリ	<i>Pandinus imperator</i>	1			1
チリアンコモン	<i>Grammostola rosea</i>	1			1
総 計		133	15	43	75

4 ブリーディングローン動物一覧（平成 27 年 3 月 31 日現在）

(1) 貸付動物

種名	個体数	出園日／出生日	現飼育施設
ボルネオオランウータン <i>Pongo pygmaeus</i>	オス 1	1988 年 2 月 9 日 (横浜市立野毛山動物園で出生)	千葉市動物公園
コモンウーリーモンキー <i>Lagothrix lagotricha</i>	オス 1	1998 年 1 月 7 日 (出園)	横浜市立よこはま動物園
コモンウーリーモンキー <i>Lagothrix lagotricha</i>	オス 1	1999 年 2 月 18 日 (横浜市立よこはま動物園で出生)	横浜市立よこはま動物園
ブラッザグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	オス 1	1998 年 8 月 9 日 (京都市動物園にて出生)	神戸市立王子動物園
ブラッザグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	オス 1	2003 年 5 月 4 日 (広島市安佐動物公園にて出生)	広島市安佐動物公園
シシオザル <i>Macaca silenus</i>	メス 1	2005 年 11 月 12 日 (出園)	東武動物公園
ブラッザグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	メス 1	2006 年 5 月 22 日 (広島市安佐動物公園にて出生)	神戸市立王子動物園
サバンナモンキー <i>Chlorocebus aethiops</i>	オス 1	2010 年 12 月 14 日 (出園)	愛媛県立とべ動物園
チベットモンキー <i>Macaca thibetana</i>	オス 1	2011 年 10 月 20 日 (出園)	横浜市立よこはま動物園
ピグミーマーモセット <i>Cebuella pygmaea</i>	メス 1	2013 年 3 月 14 日 (出園)	静岡市立日本平動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2 メス 3	2014 年 7 月 23 日 (出園)	旭川市旭山動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 7 メス 4	2014 年 10 月 21 日 (出園)	神戸どうぶつ王国
ブラッザグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	メス 1	2014 年 10 月 23 日 (神戸市立王子動物園で出生)	神戸市立王子動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2	2014 年 11 月 16 日 (出園)	熊本市動植物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2014 年 11 月 27 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
ボリビアリスザル <i>Saimiri boliviensis</i>	メス 2	2014 年 11 月 27 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
フサオマキザル <i>Cebus apella</i>	メス 3	2014 年 11 月 27 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
アビシニアコロブス <i>Colobus guereza</i>	メス 1	2014 年 11 月 27 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園

(2) 借受動物

種名	個体数	来園日	来園元
エリマキキツネザル <i>Varecia variegata</i>	メス 1	2006 年 3 月 17 日	静岡市立日本平動物園
ポト <i>Perodicticus potto</i>	メス 1	2009 年 2 月 10 日	那須ワールドモンキーパーク
クロクモザル <i>Ateles paniscus</i>	メス 1	2010 年 12 月 16 日	愛媛県立とべ動物園
フランソワルトン <i>Trachypithecus francoisi</i>	オス 1	2010 年 10 月 30 日	到津の森公園 (帰属は鯖江市西山動物園)
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	メス 1	2011 年 10 月 22 日	伊豆シャボテン公園
クロヒゲサキ <i>Chiropotes satanus</i>	メス 1	2013 年 3 月 14 日	名古屋市東山動物園
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	メス 1	2013 年 6 月 6 日	豊橋市総合動植物公園
ワタボウシパンシェ <i>Saguinus oedipus</i>	メス 1	2014 年 12 月 28 日	伊豆シャボテン公園

5. 動物の異動

(1) 出園

サル類

ブリーディングローン 5 種 26 頭

内訳：旭川市旭山動物園

神戸どうぶつ王国

熊本市動植物園

鹿児島市平川動物公園

ワオキツネザル *Lemur catta* 5 頭

ワオキツネザル *Lemur catta* 12 頭

ワオキツネザル *Lemur catta* 2 頭

アビシニアコロブス *Colobus guereza* 1 頭

マンドリル *Mandrillus sphinx* 1 頭

フサオマキザル *Cebus apella* 3 頭

ボリビアリスザル *Saimiri boliviensis* 2 頭

無償譲渡 1 種 9 頭

内訳：アメリカ・リンカーンパーク動物園

ニホンザル *Macaca fuscata fuscata* 9 頭

その他動物

無償譲渡 2 種 2 頭

内訳：草津熱帯園

川原鳥獣貿易株式会社

ガボンアダー *Bitis gabonica* 1 頭

エミュー *Dromaius novaehollandiae* 1 羽



ニホンザルの搬出
(平成 26 年 9 月 22 日,
リンカーンパーク動物園へ)

アビシニアコロブスほかの
搬出
(平成 26 年 11 月 27 日,
鹿児島市平川動物公園へ)



(2) 来園

サル類

ブリーディングローン 1種1頭

内訳：伊豆シャボテン公園

ワタボウシパンシェ *Saguinus oedipus*

1頭

(3) 出産

種名	学名	出産	現存	死亡	繁殖区分
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	12	11	1	自然
エリマキキツネザル	<i>Varecia variegata</i>	2	0	2	自然
コモンマーモセット	<i>Callithrix jacchus</i>	6	3	3	自然 5、人工哺育 1
アカテタマリン	<i>Saguinus midas</i>	2	2	0	自然
ヨザル	<i>Aotus trivirgatus</i>	1	0	1	自然
ノドジロオマキザル	<i>Cebus capcinus</i>	1	0	1	自然
フサオマキザル	<i>Cebus apella</i>	3	3	0	自然
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	1	1	0	自然
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	3	2	1	自然
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	2	1	1	自然
シシオザル	<i>Macaca silenus</i>	2	1	1	自然
ブタオザル	<i>Macaca nemestrina</i>	1	0	1	自然
ヤクニホンザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	18	9	9	自然
アヌビスヒヒ	<i>Papio anubis</i>	4	1	3	自然 3、人工哺育 1
マンドリル	<i>Mandrillus sphinx</i>	2	0	2	自然
パタスモンキー	<i>Erythrocebus patas</i>	2	1	1	自然
シロテテナガザル	<i>Hylobates lar</i>	1	1	0	自然
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	2	2	0	自然 1、人工哺育 1
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	1	1	0	自然
計 19 種		66	40	26	

(4) 動物の死亡原因（サル類・その他動物の総計）

区分	飼育動物数		死亡動物数									飼育動物に 対する%
	年度末飼育頭数	年間死亡数	呼吸器系	消化器系	泌尿生殖器系	外傷	寄生虫症	感染症	神経系	その他	計	
哺乳類	993	74	14	3	3	10	0	1	4	39	74	6.9
鳥類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
爬虫類	15	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6.3
両生類	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0
	1008	76	14	3	3	10	0	1	4	41	76	7.0

* 飼育動物に対する% = 年間死亡数 ÷ (年度末飼育頭数 + 年間死亡数) × 100

6. 長年飼育動物（平成 27 年 3 月 31 日現在）

種 名	性別	年齢	飼育年数	摘要
ケナガクモザル <i>Ateles belzebuth</i>	メス	33	40 年 9 ヶ月	1974/6/27 入園
サバンナモンキー <i>Chlorocebus aethiops</i>	オス		33 年 6 ヶ月	1981/9/9 生
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	メス		46 年	1968 年推定 4 歳で野毛山へ入園 1994/5/19 モンキーセンターへ移入
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	オス		45 年	1969 年推定 2 歳で日本平へ入園 1994/5/19 モンキーセンターへ移入

7. 博物館資料

(1) 骨格・液浸・剥製・毛皮標本

和名	学名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
コビトキツネザル科	Cheirogaleidae	4	7	7	1	4	0
チビネズミキツネザル	<i>Microcebus murinus</i>	4	7	7	1	4	0
キツネザル科	Lemuridae	51	54	43	58	9	4
ブラウンキツネザル	<i>Eulemur fulvus</i>	0	0	0	2	0	0
クロキツネザル	<i>Eulemur macaco</i>	6	8	6	8	0	0
マンゲースキツネザル	<i>Eulemur mongoz</i>	6	7	4	0	3	2
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	29	27	21	29	4	2
エリマキキツネザル	<i>Varecia variegata</i>	16	16	16	24	2	0
	Lemuridae sp.	1	0	0	0	0	0
ギャラゴ科	Galagidae	29	36	20	23	7	4
ショウギャラゴ	<i>Galago senegalensis</i>	26	26	18	17	4	3
コビトギャラゴ	<i>Galago demidoff</i>	0	2	0	0	0	0
オオギャラゴ	<i>Otolemur crassicaudatus</i>	5	9	4	6	3	1
	Galagidae sp.	1	1	0	0	0	0
ロリス科	Lorisidae	59	68	46	30	9	4
スレンダーロリス	<i>Loris tardigradus</i>	7	9	6	1	3	0
ベンガルスローロリス	<i>Nycticebus bengalensis</i>	1	3	3	0	0	0
スローロリス	<i>Nycticebus coucang</i>	41	32	13	4	3	3
レッサースローロリス	<i>Nycticebus pygmaeus</i>	9	20	21	28	0	0
ポト	<i>Perodicticus potto</i>	5	9	8	2	3	1
	Lorisidae sp.	1	0	0	0	0	0
メガネザル科	Tarsiidae	2	5	5	2	3	4
フィリピンメガネザル	<i>Tarsius syrichta</i>	2	5	5	2	3	4
オマキザル科	Cebidae	823	777	634	453	58	41
ゲルジモンキー	<i>Callimico goeldii</i>	15	18	13	13	2	3
シルバーマーモセット	<i>Callithrix argentata</i>	25	27	19	4	3	2
シロガオマーモセット	<i>Callithrix geoffroyi</i>	29	37	33	11	3	0
サンタレムマーモセット	<i>Callithrix humeralifera</i>	8	11	11	17	0	0
コモンマーモセット	<i>Callithrix jacchus</i>	137	114	89	62	2	7
クロミミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	35	40	39	35	2	1
	<i>Calithrix</i> sp.	5	0	0	0	0	0
ピグミーマーモセット	<i>Cebuella pygmaea</i>	80	84	77	78	7	6
ゴールデンライオンタマリン	<i>Leontopithecus rosalia</i>	17	16	9	6	7	3
フタイロタマリン	<i>Saguinus bicolor</i>	2	2	2	0	1	0
サドルバックタマリン	<i>Saguinus fuscicollis</i>	7	5	1	3	1	0
ジェフロイタマリン	<i>Saguinus geoffroyi</i>	11	11	10	0	1	0
エンペラータマリン	<i>Saguinus imperator</i>	5	5	5	5	2	0
ムネアカタマリン	<i>Saguinus labiatus</i>	35	36	31	18	3	1
シロアシタマリン	<i>Saguinus leucopus</i>	8	9	6	0	3	0
アカテタマリン	<i>Saguinus midas</i>	13	15	15	5	2	0
クチヒゲタマリン	<i>Saguinus mystax</i>	30	33	31	23	2	2

和名	学名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
クロクビタマリン	<i>Saguinus nigricollis</i>	62	53	47	22	1	0
ワタボウシパンシェ	<i>Saguinus oedipus</i>	101	93	80	50	2	4
ウェッデルタマリン	<i>Saguinus weddelli</i>	11	9	9	9	2	2
	<i>Saguinus</i> sp.	8	0	0	0	0	0
シロガオオマキザル	<i>Cebus albifrons</i>	8	8	9	8	1	1
フサオマキザル	<i>Cebus apella</i>	17	16	9	19	2	0
ノドジロオマキザル	<i>Cebus capucinus</i>	10	11	15	7	1	1
ナキガオオマキザル	<i>Cubus nigrivittatus</i>	1	2	1	5	0	0
	<i>Cebus</i> sp.	4	0	0	0	0	0
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	3	4	4	8	0	0
コモンリスザル	<i>Saimiri sciureus</i>	88	77	59	26	3	2
ヨザル	<i>Aotus trivirgatus</i>	71	70	39	41	5	6
	<i>Cebidae</i> sp.	3	0	0	0	0	0
クモザル科	Atelidae	83	86	57	42	18	11
クロホエザル	<i>Alouatta caraya</i>	11	12	12	1	4	0
カッシュクホエザル	<i>Alouatta fusca</i>	1	1	1	0	2	0
アカホエザル	<i>Alouatta seniculus</i>	5	2	2	1	0	0
	<i>Alouatta</i> sp.	6	1	1	0	0	0
ケナガクモザル	<i>Ateles belzebuth</i>	2	6	3	2	2	0
ジェフロイクモザル	<i>Ateles geoffroyi</i>	20	30	19	27	4	4
クロクモザル	<i>Ateles paniscus</i>	12	17	8	0	3	1
	<i>Ateles</i> sp.	14	0	0	0	0	0
コモンウーリーモンキー	<i>Lagothrix lagotricha</i>	13	17	10	12	3	6
ハイロウーリーモンキー	<i>Lagothrix cana</i>	1	1	2	0	0	0
	<i>Lagothrix</i> sp.	1	0	0	0	0	0
サキ科	Pitheciidae	36	33	31	16	15	0
レッドティティ	<i>Callicebus cupreus</i>	2	1	2	0	2	0
ドナコフィルスティティ	<i>Callicebus donacophilus</i>	4	4	3	0	2	0
ダスキーティティ	<i>Callicebus moloch</i>	13	13	14	8	2	0
エリマキティティ	<i>Callicebus torquatus</i>	1	1	0	0	0	0
	<i>Callicebus</i> sp.	2	1	1	0	1	0
アカウアカリ	<i>Cacajao calvus rubicundus</i>	3	2	1	0	2	0
ヒゲサキ	<i>Chiropotes satanas</i>	2	0	0	0	0	0
マンクサキ	<i>Pithecia monachus</i>	5	6	5	0	4	0
シロガオサキ	<i>Pithecia pithecia</i>	4	6	6	8	2	0
オナガザル科	Cercopithecidae	2691	1817	1325	708	92	140
ベニガオザル	<i>Macaca arctoides</i>	10	11	6	5	0	0
アッサムモンキー	<i>Macaca assamensis</i>	5	6	4	1	0	0
タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i>	63	61	49	26	2	2
カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	652	282	172	123	1	70
ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	683	501	376	186	11	18
ヤクニホンザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	378	279	186	103	3	2
(ニホンザル)	<i>Macaca fuscata</i>	9	1	1	0	0	0
ムーアモンキー	<i>Macaca maura</i>	9	11	5	1	1	0

和名	学名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	143	117	108	17	0	0
ブタオザル	<i>Macaca nemestrina</i>	33	31	28	22	1	0
クロザル	<i>Macaca nigra</i>	9	7	7	0	0	0
ブトンモンキー	<i>Macaca ochreata brunescens</i>	2	0	0	0	0	0
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	60	55	37	37	2	2
シシオザル	<i>Macaca silenus</i>	12	14	14	7	2	0
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	8	10	8	11	0	1
バーバリーマカク	<i>Macaca sylvanus</i>	12	15	12	8	2	2
チベットモンキー	<i>Macaca thibetana</i>	3	3	3	1	0	0
トンケアンモンキー	<i>Macaca tonkeana</i>	2	0	0	0	0	0
	<i>Macaca hybrid</i>	2	1	0	0	3	0
	<i>Macaca sp.</i>	94	0	0	0	0	0
スーティマンガベイ	<i>Cercocebus atys</i>	5	5	3	2	1	1
シロカンムリマンガベイ	<i>Cercocebus atys lunulatus</i>	7	9	8	5	2	1
アジルマンガベイ	<i>Cercocebus agilis</i>	2	1	2	0	0	0
ゴールデンマンガベイ	<i>Cercocebus chrysogaster</i>	2	4	4	1	0	0
シロエリマンガベイ	<i>Cercocebus torquatus torquatus</i>	4	5	2	1	1	0
	<i>Cercocebus hybrid</i>	2	1	2	0	0	0
	<i>Cercocebus sp.</i>	3	0	0	0	0	0
ホオジロマンガベイ	<i>Lophocebus albigena</i>	2	2	1	0	2	0
ドリル	<i>Mandrillus leucophaeus</i>	12	11	2	5	3	1
マンドリル	<i>Mandrillus sphinx</i>	14	10	8	14	1	0
アヌビスヒヒ	<i>Papio anubis</i>	54	41	32	48	1	1
キイロヒヒ	<i>Papio cynocephalus</i>	17	15	6	0	0	0
マントヒヒ	<i>Papio hamadryas</i>	5	4	5	16	0	1
ギニアヒヒ	<i>Papio papio</i>	6	6	6	0	0	0
	<i>Papio sp.</i>	14	0	0	0	0	1
ゲラダヒヒ	<i>Theropithecus gelada</i>	5	5	2	2	1	0
アレンズモンキー	<i>Allenopithecus nigroviridis</i>	1	1	1	1	1	0
サイクスモンキー	<i>Cercopithecus albogularis</i>	6	9	8	1	2	1
アカオザル	<i>Cercopithecus ascanius</i>	10	8	6	0	0	0
シュミットグエノン	<i>Cercopithecus ascanius schmidtii</i>	4	3	3	0	1	0
クチヒゲグエノン	<i>Cercopithecus cephus</i>	4	5	3	0	1	0
ダイアナモンキー	<i>Cercopithecus diana</i>	2	3	2	0	1	0
シルバーモンキー	<i>Cercopithecus doggetti</i>	2	1	0	0	1	0
フクロウグエノン	<i>Cercopithecus hamlyni</i>	1	3	2	0	2	1
ロエストグエノン	<i>Cercopithecus lhoesti</i>	3	5	5	1	1	0
カンムリグエノン	<i>Cercopithecus mitis</i>	2	2	1	0	0	1
モナモンキー	<i>Cercopithecus mona</i>	12	13	9	10	1	1
ブラッサグエノン	<i>Cercopithecus neglectus</i>	12	15	12	3	1	2
バッティコファークグエノン	<i>Cercopithecus petaurista buettikoferi</i>	10	11	7	3	1	2
	<i>Cercopithecus sp.</i>	3	1	1	0	0	1
サバンナモンキー	<i>Chlorocebus aethiops</i>	15	10	7	5	4	0
マルブラウクモンキー	<i>Chlorocebus pygerythrus cynosuros</i>	0	1	1	0	0	0

和名	学名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
タラポワン	<i>Miopithecus talapoin</i>	13	14	12	2	4	0
パタスモンキー	<i>Erythrocebus patas</i>	124	80	66	21	2	5
	<i>Cercopithecinae</i> sp.	21	0	0	0	0	0
アンゴラコロブス	<i>Colobus angolensis</i>	14	23	22	5	3	0
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	9	19	18	3	2	4
キングコロブス	<i>Colobus polykomos</i>	6	1	0	0	0	1
アカコロブス	<i>Ptilocolobus badius</i>	3	3	0	0	3	1
クロカンムリリーフモンキー	<i>Presbytis melalophos</i>	0	1	1	0	0	0
ハヌマンラングール	<i>Semnopithecus entellus</i>	48	51	36	17	4	11
シルバールトン	<i>Trachypithecus cristatus</i>	23	29	29	27	2	1
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	10	7	7	5	3	1
ダスキールトン	<i>Trachypithecus obscurus</i>	11	10	7	0	1	1
ボウシラングール	<i>Trachypithecus pileatus</i>	6	7	4	2	3	0
カオムラサキラングール	<i>Trachypithecus vetulus</i>	3	3	2	0	1	1
ニシカオムラサキラングール	<i>Trachypithecus vetulus vetulus</i>	1	1	0	0	1	1
	<i>Presbytis</i> sp.	4	0	0	0	0	0
テングザル	<i>Nasalis larvatus</i>	6	7	6	2	5	1
ドゥクラングール	<i>Pygathrix nemaeus</i>	1	0	0	0	1	0
	<i>Colobinae</i> sp.	1	1	0	0	0	0
	<i>Cercopithecidae</i> sp.	19	0	0	0	0	0
テナガザル科	Hylobatidae	78	47	36	9	12	17
アジルテナガザル	<i>Hylobates agilis</i>	9	8	6	2	2	0
クロステナガザル	<i>Hylobates klossii</i>	2	2	0	0	0	0
シロテナガザル	<i>Hylobates lar</i>	41	17	14	1	4	2
ワウワウテナガザル	<i>Hylobates moloch</i>	3	4	3	2	1	0
ボウシテナガザル	<i>Hylobates pileatus</i>	4	1	0	0	1	2
	<i>Hylobates (moloch + lar)</i>	1	1	1	0	0	0
	<i>Hylobates</i> sp.	8	0	0	0	0	13
フーロックテナガザル	<i>Hoolock hoolock</i>	2	2	2	0	0	0
クロテナガザル	<i>Nomascus concolor</i>	3	2	4	0	1	0
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	8	12	8	4	3	0
ヒト科	Hominidae	24	30	19	10	16	0
ボルネオオランウータン	<i>Pongo pygmaeus</i>	7	6	3	1	3	0
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	11	19	11	9	5	0
ニシローランドゴリラ	<i>Gorilla gorilla gorilla</i>	6	3	3	0	6	0
マウンテンゴリラ	<i>Gorilla beringei beringei</i>	0	2	2	0	2	0
霊長目 科不明	Primates 科不明	1	0	0	0	0	0
	misc. Primates	1	0	0	0	0	0
ツパイ目	Scandentia	24	21	10	2	5	5
ミナミホソオツパイ	<i>Dendrogale melanura</i>	1	0	0	0	0	0
コモンツパイ	<i>Tupaia glis</i>	10	13	8	2	1	5
ホソツパイ	<i>Tupaia gracilis</i>	1	0	0	0	0	0
ショウツパイ	<i>Tupaia minor</i>	1	0	0	0	0	0
	<i>Tupaiaidae</i> sp.	10	8	2	0	4	0
ハネオツパイ	<i>Ptilocercus lowii</i>	1	0	0	0	0	0

和名	学名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
その他の哺乳類	Other mammals	202	2	0	0	0	0
偶蹄目	Artidactyla	80	0	0	0	0	0
食肉目	Carnivora	67	0	0	0	0	0
翼手目	Chiroptera	1	0	0	0	0	0
双前歯目	Diprodontia	18	0	0	0	0	0
皮翼目	Dermoptera	1	0	0	0	0	0
兔形目	Lagomorpha	4	0	0	0	0	0
奇蹄目	Perissodactyla	4	0	0	0	0	0
有毛目	Pilosa	1	0	0	0	0	0
齧歯目	Rodentia	28	2	0	0	0	0
トガリネズミ形目	Soricomorpha	10	0	0	0	0	0
その他	Others	25	0	0	2	6	0
鳥類	Aves	19	0	0	0	6	0
爬虫類	Reptilia	8	0	0	1	0	0
硬骨魚類	Actinopterygii	0	0	0	1	0	0
	霊長類 計	3880	2961	2224	1352	243	225
	霊長類以外 計	256	23	10	4	11	5
	総計	4136	2984	2234	1356	254	230
	2014 年度 作成数	37	47	47	17	0	3

(2) 寄生虫標本

宿主		寄生虫			
和名	学名	線虫	条虫	吸虫	その他
コビトキツネザル科	Cheirogaleidae	0	1	0	0
チビネズミキツネザル	<i>Microcebus murinus</i>	0	1	0	0
ギャラゴ科	Galagidae	5	3	0	1
ショウギャラゴ	<i>Galago senegalensis</i>	2	1	0	0
オオギャラゴ	<i>Otolemur crassicaudatus</i>	3	2	0	1
ロリス科	Lorisiidae	9	5	1	1
スレンダーロリス	<i>Loris tardigradus</i>	3	0	0	0
スローロリス	<i>Nycticebus coucang</i>	6	4	1	1
レッサースローロリス	<i>Nycticebus pygmaeus</i>	0	1	0	0
メガネザル科	Tarsiidae	0	1	0	0
フィリピンメガネザル	<i>Tarsius syrichta</i>	0	1	0	0
オマキザル科	Cebidae	109	5	1	6
ゲルジモンキー	<i>Callimico goeldii</i>	0	1	0	0
シルバーマーモセット	<i>Callithrix argentata</i>	4	0	0	1
シロガオマーモセット	<i>Callithrix geoffroyi</i>	3	0	0	0
コモンマーモセット	<i>Callithrix jacchus</i>	45	0	0	1
ピグミーマーモセット	<i>Cebuella pygmaea</i>	2	0	0	0
ゴールデンライオンタマリン	<i>Leontopithecus rosalia</i>	0	0	0	2
サドルバックタマリン	<i>Saguinus fuscicollis</i>	1	0	0	0
ムネアカタマリン	<i>Saguinus labiatus</i>	2	0	0	0
シロアシタマリン	<i>Saguinus leucopus</i>	1	0	0	0
アカテタマリン	<i>Saguinus midas</i>	2	0	0	1
クチヒゲタマリン	<i>Saguinus mystax</i>	9	0	0	0
クロクビタマリン	<i>Saguinus nigricollis</i>	20	1	1	0
ワタボウシバンシェ	<i>Saguinus oedipus</i>	4	0	0	1
ノドジロオマキザル	<i>Cebus capucinus</i>	0	1	0	0
コモンリスザル	<i>Saimiri sciureus</i>	15	2	0	0
ヨザル	<i>Aotus trivirgatus</i>	1	0	0	0
クモザル科	Atelidae	11	3	0	1
クロホエザル	<i>Alouatta caraya</i>	0	2	0	0
	<i>Alouatta</i> sp.	0	1	0	0
ジェフロイクモザル	<i>Ateles geoffroyi</i>	1	0	0	0
クロクモザル	<i>Ateles panisucis</i>	8	0	0	1
コモンウーリーモンキー	<i>Lagothrix lagotricha</i>	2	0	0	0
サキ科	Pitheciidae	2	2	0	0
レッドティティ	<i>Callicebus cupreus</i>	1	0	0	0
ダスキーティティ	<i>Callicebus moloch</i>	0	2	0	0
マンクサキ	<i>Pithecia monachus</i>	1	0	0	0
オナガザル科	Cercopithecidae	243	14	11	8
タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i>	5	1	0	0
カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	51	1	8	3

宿主		寄生虫			
和名	学名	線虫	条虫	吸虫	その他
ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	76	7	0	0
ヤクニホンザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	33	2	0	0
ムーアモンキー	<i>Macaca maura</i>	2	0	0	0
アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	26	1	0	2
ブタオザル	<i>Macaca nemestrina</i>	1	0	0	1
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	2	0	0	0
バーバリーマカク	<i>Macaca sylvanus</i>	1	0	0	0
チベットモンキー	<i>Macaca thibetana</i>	1	0	0	0
	<i>Macaca hybrid</i>	1	0	0	0
マンドリル	<i>Mandrillus sphinx</i>	1	0	0	0
アヌビスヒビ	<i>Papio anubis</i>	1	0	0	0
キイロヒビ	<i>Papio cynocephalus</i>	6	1	0	0
マントヒビ	<i>Papio hamadryas</i>	1	0	0	0
ギニアヒビ	<i>Papio papio</i>	1	0	0	0
サイクスモンキー	<i>Cercopithecus albogularis</i>	1	0	0	0
アカオザル	<i>Cercopithecus ascanius</i>	0	1	0	0
カンムリグエノン	<i>Cercopithecus mitis</i>	1	0	0	0
モナモンキー	<i>Cercopithecus mona</i>	1	0	0	0
サバンナモンキー	<i>Chlorocebus aethiops</i>	1	0	0	0
タラポアン	<i>Miopithecus talapoin</i>	2	0	0	0
パタスザル	<i>Erythrocebus patas</i>	24	0	1	0
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	0	0	1	0
アカコロブス	<i>Piliocolobus badius</i>	1	0	0	0
ハヌマンランゲール	<i>Semnopithecus entellus</i>	2	0	0	2
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	0	0	1	0
ダスキールトン	<i>Trachypithecus obscurus</i>	1	0	0	0
テナガザル科	Hylobatidae	8	2	0	0
アジルテナガザル	<i>Hylobates agilis</i>	1	0	0	0
シロテナガザル	<i>Hylobates lar</i>	3	2	0	0
フーロックテナガザル	<i>Hoolock hoolock</i>	1	0	0	0
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	3	0	0	0
ヒト科	Hominidae	15	0	0	0
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	15	0	0	0
ツパイ目	Scandentia	4	0	0	0
	Tupaia sp.	4	0	0	0
その他	Others	1	0	0	1
鳥類	Aves	1	0	0	1
霊長類 計		402	36	13	17
総計		407	36	13	18
2014 年度作成数		0	0	0	0

(3) 複製資料

標本番号	学名	性別・部位等
KNM-CA 380	<i>Micropithecus clarki</i>	下顎骨
KNM-SO 700	<i>Rangwapithecus gordonii</i>	上顎骨
KNM-RU 1850	<i>Dendropithecus macinnesi</i>	上下顎骨
KNM-RU 2087	<i>Proconsul nyanzae</i>	下顎骨
KNM-RU 7290	<i>Proconsul heseloni</i>	頭骨
KNM-SO 396	<i>Proconsul major</i>	下顎骨
KNM-FT 46	<i>Kenyapithecus wickeri</i>	上顎骨片と犬歯
KNM-KP 29281, 29283, 28285B, 28285A	<i>Australopithecus anamensis</i>	上下顎, 脛骨
KNM-WT 40000	<i>Kenyanthropus platyops</i>	頭骨
KNM-WT 17000	<i>Paranthropus aethiopicus</i>	頭骨
KNM-ER 406	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
KNM-ER 729	<i>Paranthropus boisei</i>	下顎骨
KNM-CA 732	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
KNM-ER 999	<i>Homo habilis</i>	大腿骨
KNM-ER 1470	<i>Homo rudolfensis</i>	頭骨
KNM-ER 1472	<i>Homo habilis</i>	右大腿骨
KNM-CA 1802	<i>Homo habilis</i>	下顎骨
KNM-ER 1813	<i>Homo habilis</i>	頭骨
KNM-ER 3733	<i>Homo ergaster</i>	頭骨
KNM-WT 15000	<i>Homo ergaster</i>	全身骨格
KNM-WT 16999	<i>Afropithecus turkanensis</i>	頭骨
OH-2	<i>Australopithecus afarensis</i>	下顎骨
OH-5	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
OH-7	<i>Homo habilis</i>	下顎骨
OH-8	<i>Homo habilis</i>	足骨
OH-13	<i>Australopithecus africanus</i>	上下顎骨
OH-24	<i>Australopithecus africanus</i>	頭骨
WN-64 (Peninj-160)	<i>Paranthropus boisei</i>	下顎骨
SK 48	<i>Paranthropus robustus</i>	頭骨
STS 5	<i>Australopithecus africanus</i>	頭骨
Taung Child	<i>Australopithecus africanus</i>	頭骨
Peking Man	<i>Homo erectus</i>	頭骨
Sangiran 17	<i>Homo erectus</i>	頭骨
Kabwe Skull	<i>Homo heidelbergensis</i>	頭骨
La Ferrassie 1	<i>Homo neanderthalensis</i>	頭骨
LB-1	<i>Homo floresiensis</i>	頭骨
CGM 40237	<i>Aegyptopithecus zeuxis</i>	頭骨
PIN 3381-236	<i>Parapresbytis eohanuman</i>	下顎骨
GSP 15000	<i>Sivapithecus indicus</i>	頭骨
<i>A. afarensis</i> 復元頭蓋	<i>Australopithecus afarensis</i>	頭骨
Zos 50	<i>Gorilla gorilla</i>	オスの頭骨

標本番号	学名	性別・部位等
Zos 53	<i>Pan troglodytes</i>	オスの頭骨
SH-10	<i>Homo sapiens</i>	男性の頭骨
JMC-Re-1	<i>Homo sapiens</i>	男性の全身骨格
JMC-Re-2	<i>Pan troglodytes</i>	オスの全身骨格
JMC-Re-3	<i>Homo sapiens</i>	アジア人男性の頭骨
JMC-Re-4	<i>Pan troglodytes</i>	オスの頭骨
JMC-Re-5	<i>Gorilla gorilla</i>	オスの頭骨
JMC-Re-6	<i>Homo sapiens</i>	女性の頭骨、骨盤、右上腕骨、右大腿骨
JMC-Re-7	<i>Homo sapiens</i>	子供（5歳）の頭骨、骨盤、右上腕骨、右大腿骨
JMC-Re-8	<i>Panthera leo</i>	頭骨
JMC-Re-9	<i>Daubentonia madagascariensis</i>	頭骨
JMC-Re-10	<i>Daubentonia madagascariensis</i>	右前肢
JMC-Re-11	<i>Tarsius</i> sp.	頭骨
JMC-Re-12	<i>Cynocephalus volans</i>	頭骨
JMC-Re-13	<i>Castor canadensis</i>	頭骨
JMC-Re-14	<i>Phascolarctos cinereus</i>	頭骨

2014 年度収集数

0 点

(4) 分野別民俗資料点数(猿二郎コレクション)

分類番号	種別	点数
00		
050	逐次刊行物	16
070	洋書	25
090	和書	9
200		
288.9	旗	1
300		
336.94	暖簾、看板	20
337.32	銀貨	1
337.4	補助貨幣(銅貨など)	1
348.6	紙幣	2
375.9	タバコ関係	23
380	教科書	7
383.3	風俗、習慣、民俗	24
383.55	アクセサリー、マスコット、根付	118
383.9	髪飾、小間物 (くし、こうがい、かんざし)	3
386	居住、民具	6
386.8	祭礼	2
387.1	信仰、民間信仰と迷信	199
400		
458	岩石	11
470	植物	13
470.8	菌類	7
489.9	霊長類	1
499.88	薬用植物	1
500		
524.86	出入口(窓、戸)	3
535.2	時計	2
545.28	電灯支持具、照明	4
545.5	灯具(行燈、提灯、ランプ)	3
573.38	タイル	5
576.4	蠟燭	1
581	金属製品	4
581.1	鋳物製品	32
581.7	刃物類(スプーン、 フォーク、ナイフ、鉄)	6
583	木製品	13
583.92	竹製品	3
583.94	蔓製品(藤、籐、あけび)	3
583.96	藁製品	2
583.97	縄製品	1
586.27	綿製品(たおる、てぬぐい)	14
586.37	麻製品	4

分類番号	種別	点数
586.78	織機	1
588.38	飴菓子	5
588.39	雑菓子	5
588.55	果実酒(容器)	8
589.211	和服	5
589.215	子供服、Tシャツ	2
589.224	ネクタイ	5
589.225	ハンカチ	6
589.23	靴下、足袋	4
589.24	マフラー、ネッカチーフ	2
589.253	靴、スリッパ	1
589.27	ハンドバック、袋物(財布)	17
589.28	ボタン、タイピン、カフス	3
589.3	傘、扇、団扇	14
589.4	洋傘	1
589.49	杖、ステッキ	1
589.5	ブラシ	1
589.7	文房具、運動具、貯金箱	85
594.1	モール	4
596.5	厨房具、食器	48
597	住居、家具、調度	37
597.2	カーテン、簾、タペストリー	16
597.7	床飾、インテリア	2
599.8	絵本	3
600		
629.61	灯籠	9
674.7	宣伝広告用印刷物、新聞、 PR誌、シール、チラシ、 案内状、シオリ	117
674.71	千社札	43
674.72	ポスター	123
674.73	カレンダー	15
675.18	包装、ラベル、容器	39
688.181	マッチラベル	275
693.5	観光みやげ物	199
693.8	切手、葉書、スタンプ	220
699.67	ラジオ、テレビ、演劇、 娯楽	1
700		
711.9	仮面(郷土玩具を除く)	14
713	木彫	149
714	石彫	61
717	粘土彫刻、テラコッタ、蝋、 石鹼	5
718.4	石仏、仏像	5

分類番号	種別	点数
720	絵画	7
721.2	大和絵、絵巻物	23
721.3	水墨画	10
721.6	写生画	15
721.7	文人画、南画、俳画、色紙	63
721.8	浮世絵、錦絵、大津絵	48
724.8	ガラス絵	1
726.58	絵葉書	93
726.7	児童画	1
726.8	影絵（シュリエット）	1
728.8	書跡	8
729.3	墨	3
729.5	硯	7
729.6	文鎮	8
729.7	水差し	5
733	木版画、版木	26
739.1	印章材料	10
745	陽画（写真）	33
751.3	陶磁器（皿、絵皿）	405
751.31	灰皿	19
751.32	徳利、杯	15
751.33	急須、湯呑	17
751.4	埴輪、古瓦	16
751.5	ガラス工芸	17
751.9	プラスチック	43
752	漆工芸	1
753.7	刺繍	11
753.8	染物	1
754	木工芸	92
754.7	竹工芸	36

分類番号	種別	点数
754.9	紙工芸（折り紙、せん紙、ペーパークラフト）	38
755.4	牙角細工	12
755.5	革細工	3
755.6	貝細工	6
756.14	鍍金	12
756.6	刀剣、鐔	4
756.7	甲冑	1
759	人形、玩具	308
759.9	郷土玩具、郷土人形	16
759.91	土人形、土笛、土面	493
759.92	首人形	14
759.93	土鈴、陶鈴、鈴	122
759.94	張り子	95
759.95	凧	5
759.96	張り子面、土面子	159
759.97	紙塑	5
759.98	練り物	6
759.99	木、竹、その他	159
774	歌舞伎	2
777.1	人形浄瑠璃	6
777.8	影絵芝居、ギニョール、マリオネット	30
791.5	茶器、菓子器	20
792.6	香合、香炉	14
793.5	花器	7
900		
909.3	童話	10
合計		4,723 点
2014 年度収集数		0 点

(5) 音響・映像資料

平成 27 年 3 月 31 日現在、42 点の映像資料、および以下の映像機器が登録されている。

ビデオデッキ	SONY VHS SLV-F6	1
カラービデオカメラ	SONY CCD-G5	1
デジタルビデオカメラ	Panasonic NV-GS50	1
	SONY DCR-PC5	1
	SONY DCR-HC62	1
デジタルハイビジョンビデオカメラ	Panasonic HDC-HS100	2
8mm 映写機	エルモ E80	1
16mm 映写機	BELL & HOWELL	1
スライドプロジェクター	ファミリーキャビン	1
	Master Lux	1
オーバーヘッドプロジェクター		1
液晶プロジェクター	東芝 TLP781J	1
	EPSON EMP1710	1
	EPSON EH-TW5200 (PWS)	1
CD/DVD プレーヤー / レコーダー	SONY DVP-NS53P	1
	Panasonic DVD-S39	1
	Victor SR-DVM700	1
	CCD-001	1
テレビモニター	TOSHIBA REGZA 37C7000	1
	By D:sign d:4222GJV3	1
	Panasonic VIERA TH-37TX50	1
	I・O Data LCD-MF223FBR-T (PWS)	1
	Panasonic TH-42AS600 (PWS)	1
TV 会議システム	Polycom HDX6000-720 (PWS)	1

(6) 図書資料

平成 26 年度に受け入れた資料は、次のとおりである。

図書	定期刊行物 (雑誌類等)
115 点	714 点

平成 27 年 3 月 31 日現在、保有する登録図書資料（製本分を含む）は、次のとおりである。

和 書	洋 書	計
5,918 点	3,736 点	9,744 点

逐次刊行物を受贈した機関は次のとおりである。

〈一般および研究関係等〉

ANA	岡崎市東公園管理事務所	鶴見大学
Elsevier	大阪自然環境保全協会	東京外国語大学アジア・アフリカ 言語文化研究所
IUCN 日本委員会	大阪大学大学院人間科学研究科	東京大学出版会
NBRP 広報企画ワーキンググルー プ	帯広百年記念館	東京農業大学
Springer	科学技術・学術審議会学術分科会	同志社大学博物館学芸員課程
Tokyo Zoo Volunteers	神奈川大学日本常民文化研究所	東洋大学
University of Notre Dame	川村学園女子大学	畜産草地研究所
WWF ジャパン	環境省自然環境局生物多様性セン ター	東海大学社会教育センター
愛銀教育文化財団	京都大学アフリカ地域研究セン ター	名古屋国際センター
愛知学院大学歯学会	京都大学生態学研究センター	名古屋市立大学医学部
愛知県生涯学習推進センター	京都大学大学院アジア・アフリカ 地域研究研究科	成田山名古屋別院大聖寺
愛知県立大学多文化共生研究所	京都大学大学院理学研究科生物科 学専攻	南山考古文化人類学研究会
麻布大学	京都大学ヒマラヤ研究会	日本学術振興会
石川県白山自然保護センター	京都大学野生動物研究センター	日本自然保護協会
稲盛財団	京都大学霊長類研究所	日本心理学会
犬山市役所	國學院大学博物館学研究室	日本人類学会
犬山城白帝文庫	国立感染症研究所	日本鳥類保護連盟
岩田洗心館	市民 ZOO ネットワーク	日本動物愛護協会
岩手大学農学部附属寒冷フィール ドサイエンス教育研究センター	飼料の研究社	日本動物心理学会
岩波書店	全国公益法人協会	日本ユネスコ協会連盟
栄研化学株式会社		日本霊長類学会

熱帯動植物友の会

農林水産省動物検疫所

日吉大社

増井梅宗國

文化環境研究所

三重県林業研究所

美濃加茂市民ミュージアム

武庫川女子大学附属中学校・高等学校

明治大学学芸員養成課程

百瀬製作所

屋久島生物多様性保全協議会

野生生物保全論研究会

野生動物保護管理事務所

山階鳥類研究所

横浜市動物園友の会事務局

横浜市緑の協会

立教大学学校・社会教育講座

〈博物館等〉

American Museum of Natural History

Museu de Zoologia da Universidade de Sao Paulo

愛知県陶磁資料館

秋吉台科学博物館

熱田神宮宝物館

魚津水族博物館

伊丹市昆虫館

一宮市尾西歴史民俗資料館

岩手県立博物館

江戸東京博物館

大阪市立自然史博物館

大阪歴史博物館

大町山岳博物館

岡崎市美術博物館

春日井市道風記念館

神奈川県立生命の星・地球博物館

蟹江町歴史民俗資料館

刈谷市美術館

北九州市立自然史・歴史博物館

北九州市立自然史・歴史博物館自然史友の会

岐阜県博物館

京都大学総合博物館

群馬県立自然史博物館

国立科学博物館

国立科学博物館付属自然教育園

国立民族学博物館

全国科学博物館協議会

たばこと塩の博物館

田原市博物館

中部大学民族資料博物館

知多市歴史民俗博物館

千葉県立中央博物館

藤村記念館

徳島県立博物館

栃木県立博物館

鳥取県立博物館

富山市科学博物館

豊田市郷土資料館

トヨタ博物館

豊橋市自然史博物館

豊橋市視聴覚教育センター

豊橋市地下資源館

名古屋市科学館

名古屋市市政資料館

名古屋市博物館

奈良県立民俗博物館

日本博物館協会

半田市立博物館

平塚市博物館

福井市自然史博物館

藤原岳自然科学館

鳳来寺山自然科学博物館

北海道開拓記念館

瑞浪市化石館

みよし市立歴史民俗資料館

ミュージアムパーク茨城県自然博物館

野外民族博物館リトルワールド

山口県立山口博物館

礪山美術館

〈動物園・水族館等〉

Freundeverein Zoo Basel

Zoo Köln

Zoo Zurich

秋田市大森山動物園

旭川市旭山動物園

青森県浅虫水族館

アクアマリンふくしま

アクアワールド茨城県大洗水族館

アドベンチャーワールド

いしかわ動物園

市原ぞうの国

大分マリンパレス

大阪・海遊館

葛西臨海水族園

鴨川シーワールド

岐阜県世界淡水魚園水族館
アクア・トリート ぎふ

京都市動物園

釧路市動物園

熊本市動植物園

高知県立のいち動物公園

神戸市立王子動物園

神戸市立須磨海浜水族園

こどもどうぶつえん

さっぽろ円山動物園

静岡市立日本平動物園

しまね海洋館アクアス

仙台市八木山動物公園

高崎山自然動物園

多摩動物公園

天王寺動物園

東京動物園協会

東京都恩賜上野動物園

鳥羽水族館

豊橋総合動植物公園

長野市茶臼山動物園

名古屋港水族館

名古屋市東山動植物園・東山の森

日本動物園水族館協会

浜松市動物園

日立市かみね動物園

姫路市立動物園

広島市安佐動物公園

広島市みどり生きもの協会

碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館

盛岡市動物公園公社

山口県周南市徳山動物園

横浜市繁殖センター

X 友の会

平成 26 年 4 月 1 日より募集開始

会員数：717 名（平成 27 年 3 月 31 日時点）

年会費：大人（高校生以上）3,000 円

小中学生 2,000 円

幼児（3 才以上）1,500 円

(1) モンキーセンター友の会 NEWS LETTER の発行

Vol. 1-1（通巻第 1 号） 平成 26 年 9 月 26 日 発行

Vol. 1-2（通巻第 2 号） 平成 27 年 2 月 3 日 発行

(2) 友の会のつどいの開催

第 1 回

日程：平成 26 年 10 月 12 日 13:30 ～ 16:00

内容：所長、博物館長、動物園長による鼎談

モンキーセンター活動報告

セミナーハウス白帝での茶話会

参加者：約 80 名

第 2 回

日程：平成 27 年 3 月 30 日 13:00 ～ 16:00

内容：講演「宇宙の始まりから人類の絶滅まで」

尾池和夫（公益財団法人日本モンキーセンター理事長・京都造形芸術大学学長）

飼育員と一緒にエンリッチメント体験・類人猿のディナータイム見学

モンキーセンター活動報告

参加者：約 80 名



第 1 回友の会つどい（鼎談）



第 1 回友の会つどい（白帝茶話会）



第 2 回友の会つどい（尾池理事長講演）

XI 寄附活動

1. 寄附口座の開設

2. オンライン寄附システムの構築（ITC ジャパン株式会社）

運用開始：平成 27 年 2 月 25 日

アドレス：<https://fundexapp.jp/monkey/entry.php>

3. 平成 26 年度寄附受領

寄附金

法人からの寄附金	2 件	163,000,000 円
個人からの寄附金	50 件	2,522,054 円
計	52 件	165,522,054 円

オンライン寄附システムより 10,000 円以上の寄附を頂いた方（順不同、敬称略）

神園 泰比古 川本 芳
松沢 哲郎 樽本 圭一

他、匿名の方を含め計 29 名の個人の方より寄附を頂きました。

その他の寄附

個人・機関からの寄附物品	70 件以上	野菜や果物などの動物の飼料、 消防ホースなど
--------------	--------	---------------------------

多くの寄附に職員一同、心より御礼申し上げます。

日本モンキーセンターでは法人・個人の方からの寄附を受け付けています。

頂いた寄附は特に老朽化した施設の改修を中心とした飼育下動物の福祉向上のほか、野生動物の生息地保全をはじめとする、日本モンキーセンターの公益活動に活用させていただきます。

XII 施設

1. 主な施設および設備の一覧と変動

〈世界サル類動物園地区〉

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

施設名	構 造	面積 (m ²)	建設・変動年
動物園管理事務所	鉄筋コンクリート2階造	565.5	平成15年
飼料調理倉庫	鉄骨造	64.8	平成15年
マダガスカル館	鉄筋コンクリート造	193	平成13年
マダガスカル館島	芝張り、硝子、電気柵	235	平成13年
アフリカ館	鉄骨ブロック造	446	昭和39年
ボイラー室と変電室 (旧モンキーアパート関係)	鉄骨ブロック造	49	昭和38年
ビジターセンター	鉄筋コンクリート造	860	平成元年
駐車場			平成15年
ニホンザルの丘	放養式フェンス、電気柵造	1,647	平成23年
南米館	鉄筋コンクリート2階造	480	昭和41年
リスザルの島	鉄筋コンクリート水張り造	1,507	昭和37年
ヒヒの城	放養式鉄筋コンクリート造	415	平成15年
休憩所	木造コロニアル葺造	81	平成15年
エコドーム	アイアンフレーム組SUSメッシュ張造	523	平成 3 年
エコドーム寝室	鉄筋コンクリート造	45	平成 3 年
休憩所 (エコドーム横)	鉄筋組ルーフデッキ葺造	85.8	平成 3 年
アジア館	鉄筋コンクリート造	375	昭和53年
アフリカセンター	鉄筋コンクリート造	2,240	昭和55年
テナガ・クモザルの島	鉄筋コンクリート石積水張造一部電柵併用	1,500	平成 9 年
ギボンハウス	鉄筋強度度セメント中空押出整形張 ALC葺シート防水SOS メッシュ張造2棟	164.4 ×2棟	平成 6 年
セミナーハウス白帝	鉄筋コンクリート平屋建造	261	昭和39年
トイレ1 (休憩所横)	ブロック積コロニアル葺造	20	昭和60年
トイレ2 (KIDSZOO横)	鉄筋コンクリートコロニアル葺造	36	昭和61年
トイレ3 (アフリカセンター)	鉄筋コンクリート造	60	昭和55年
障害者用トイレ (アフリカセンター前)	鉄筋ALC張切板葺	10.2	平成15年
動物園出改札詰め所	鉄骨造	50.4	平成15年
モンキーバレイ	放養式フェンス電気柵造	3,321.7	平成 9 年
診療及び資料棟	ブロック積鉄柱梁組サイデングボード張 ルーフデッキ葺造	217.74	平成 9 年
検疫棟	ルーフデッキ葺造	91.08	平成 9 年
収容棟	ルーフデッキ葺造	71.28	平成 9 年
標本作成棟	ルーフデッキ葺造	18.5	平成 9 年

施設名	構 造	面積 (m ²)	建設・変動年
屋外ケージ	鉄骨金網張り造	129.6	平成9年
焼却炉（炭化装置）	ブロック積鉄柱梁組スレート張りスレート造	12.5	平成15年
資材倉庫	プレハブ造	17	平成9年
焼却炉（乾燥炉）	プレハブ造	22.74	平成25年
ベビールーム	ブロック積鉄柱梁組サイドボード張 コロニアル葺造	16.24	平成10年
南米館用バコティン ヒーター室	上屋鉄骨組ルーフデッキ葺 サイディングボード張りスレート葺造	9.25	平成10年
Waoランド	木造 ブロック積 水張り 電柵併用	1,000	平成17年
モンキースクランブル	鉄木材複合構造 水張り 電柵併用 総 延長300m		平成18年
Waoランドmini	ステンレス檻 木造寝室 木造デッキ	35.1	平成21年
KIDSZOO	透水式路面工法 トレーラーハウス30m ² デッキ100m ²	568	平成23年

2. 施設配置図



- | | | |
|----------------|--------------|----------------|
| 1 管理事務所 | 16 アフリカセンター | 31 ポンプ場 |
| 2 飼料倉庫 | 17 トイレ | 32 ニホンザルの丘 |
| 3 資材倉庫 | 18 セミナーハウス白帝 | 33 ヒヒの城 |
| 4 ガレージ | 19 駐車場 | 34 駐車場 |
| 5 ポンプ場 | 20 倉庫 | 35 エコドーム |
| 6 モニュメント | 21 倉庫 | 36 リスザルの島 |
| 7 動物園正門出札 | 22 ポンプ場 | 37 テナガ・クモザルの島 |
| 8 ビジターセンター | 23 屋外収容棟 | 38 ギボンハウス 2 |
| 9 Wao ランド mini | 24 収容棟 | 39 ギボンハウス 1 |
| 10 マダガスカル館 | 25 診療棟および資料棟 | 40 トイレ |
| 11 アフリカ館 | 26 検疫棟 | 41 楽猿 (レストラン) |
| 12 南米館 | 27 乾燥炉 | 42 無料休憩所 |
| 13 ボイラー室 | 28 資料作成室 | 43 モンキーバー (軽食) |
| 14 アジア館 | 29 炭化装置 | 44 KIDSZOO |
| 15 Wao ランド | 30 猿塚 | 45 トイレ |

3. 平成 26 年度施設整備

1	動物園ゲート券売機導入（名鉄協商株式会社）	4月1日
2	猿舎 ノーリツ番線（中喜商事株式会社）	4月15日
3	エントランス FRP モニュメントサイン改修工事・ 動物園ゲート窓口改修工事（中央工芸）	4月21日
4	ヒヒの城 猿舎修理（鍛冶幸）	4月30日
5	アジア館 柵修理（鍛冶幸）	5月12日
6	アフリカセンター ゲート修理（鍛冶幸）	5月22日
7	園内 消火器設置・点検（名鉄自動車整備株式会社）	5月26日
8	ヒヒの城 綱引きマシーン修理（中央工芸）	5月28日
9	園内 自販機アートパネル設置（中央工芸）	5月28日
10	アフリカ館 排水つまり洗浄抜き（村上設備）	5月31日
11	KIDSZOO エアコン点検（CEPPO）	6月13日
12	マダガスカル館 空調機新設（村上設備）	6月15日
13	アフリカセンター詰所 クーラー取り付け（村上設備）	6月15日
14	アジア館 照明器具取替え修理（文化電気）	6月18日
15	事務所2階 無線機移設作業（株式会社メイエレクト）	6月26日
16	アジア館 部屋鉄板取り付け作業（鍛冶幸）	7月1日
17	花時計 鉄柱の切断（鍛冶幸）	7月1日
18	ヒヒの城 扉引金具の修理（鍛冶幸）	7月1日
19	KIDSZOO 砂利敷き工事（若山グリーンテック）	7月1日
20	園内 自動火災報知機交換作業（綜警ビルサービス株式会社）	7月26日
21	旧カニクイザル舎 給水管漏水修理（村上設備）	7月28日
22	ヒヒの城 給水加圧ポンプ部品取替え（村上設備）	7月28日
23	KIDSZOO 横トイレ 汚水詰まり抜き（村上設備）	7月28日
24	ニホンザルの丘 溶接・電柵撤去・床掘作業・土間コン打ち込み・ 給水汚水配管器具設置・電気コンセント配線等（鍛冶幸）	7月31日
25	ヒヒの城 加圧ポンプメカニカルシール取替え（村上設備）	8月17日
26	バックヤード 散水栓取替え（村上設備）	8月17日
27	ビジターセンター裏 給水管漏水修理（村上設備）	8月17日
28	バックヤード・南米館 電気点検（落雷のため）（文化電気）	8月17日
29	ビジターセンター横 外灯修理（落雷のため）（文化電気）	8月17日
30	Wao ランド 電気柵資材（ファームエイジ株式会社）	8月25日
31	バックヤード エアコン取替え（今井設備）	8月28日
32	アジア館 ブレーカー盤及び照明修理（文化電気）	8月28日
33	ビジターセンター 自動ドア修理（落雷のため） （ナブコドア株式会社）	8月30日
34	アフリカセンター チンパンジー舎扉修理（鍛冶幸）	8月30日
35	アジア館・資料倉庫 エアコン修理（今井設備）	9月9日
36	Wao ランド 配線回路絶縁不良調査及び修理（今井設備）	9月9日
37	事務所2階 エアコン取替え（落雷のため）（今井設備）	9月14日

38	園内 消火器設置 (名鉄自動車整備株式会社)	9月8日
39	園内 簡易専用水道検査 (愛知県薬剤師会)	6月10日
40	マダガスカル館 電源改修工事 (文化電気)	10月4日
41	バックヤード 照明器具取替え修理 (文化電気)	10月4日
42	ステン柵修理 (鍛冶幸)	10月28日
43	南米館 柵修理 (鍛冶幸)	10月29日
44	アフリカセンター 昭和製温室ボイラー保守点検 (今井設備)	10月30日
45	長府温風ボイラー保守点検 (今井設備)	10月30日
46	暖房機器部分 (今井設備)	10月30日
47	ヒヒの城 寝室扉柱取り付け・補強作業 (鍛冶幸)	10月30日
48	エコドーム 天井の柵 (鍛冶幸)	11月4日
49	南米館前 雨除け撤去 (何でも屋)	11月4日、5日
50	モンキーバレイ フェンス下土留・雨よけ撤去作業 (何でも屋)	11月6日
51	アジア館 ステン柵修理 (鍛冶幸)	11月12日、16日
52	旧ジャングリラ (楽猿) 内装工事 (中央工芸)	11月13日
53	アジア館 ボイラー絶縁不良調査修理 (文化電気)	11月20日
54	ビジターセンター裏 集合パイプ配管漏水修理・グラウンド パッキン取替 (村上設備)	11月27日
55	南米館横 給水管漏水修理 (村上設備)	11月27日
56	テナガの池 給水メーターストレナー清掃 (村上設備)	11月27日
57	ヒヒの城 給水管漏水修理 (村上設備)	11月27日
58	ハンドリングユニット点検 (今井設備)	11月29日
59	Wao ランド エアコン取替え工事 (今井設備)	11月29日
60	FA 暖房修理部分交換 (今井設備)	11月29日
61	セミナーハウス白帝 光ケーブル敷設 (ユービシステム)	12月15日～18日
62	セミナーハウス白帝 エアコンセット (エディオン)	12月24日
63	ニホンザルの丘 寝室の補強工事 (鍛冶幸)	12月24日
64	アジア館 柵の修理・補強 (鍛冶幸)	12月25日、27日
65	敷地境界付近の伐採 (名鉄環境造園株式会社)	12月25日
66	ヒヒの城 寝室出入り口の補強 (鍛冶幸)	12月26日
67	アフリカ館 暖房修理 (今井設備)	12月28日
68	バックヤード ストープ修理 (ニュースター株式会社)	1月20日
69	ケヤキの森 給水管漏水修理 (村上設備)	1月21日
70	バックヤード隔離舎 FA 暖房緊急修理 (今井設備)	1月23日
71	バックヤード 照明機器修理 (文化電気)	1月31日
72	駐車場 ライン引き	2月の休園日
73	セミナーハウス白帝 カーテン取り付け (インテリアコーノ)	2月20日
74	アフリカ館 電灯盤調査改修工事 (文化電気)	2月28日
75	市水給水ポンプのコンプレッサー交換 (村上設備)	3月24日
76	アジア館・アフリカ館 柵の修理 (鍛冶幸)	3月29日

XIII その他

1. 学術部

- (1) 有害獣捕獲（イノシシ）（愛知県大口町）

平成 26 年 11 月 6 日

加藤章

- (2) あいち健康プラザ健康科学館冬季特別展示への協力（愛知県東浦町）

平成 26 年 12 月 11 日、平成 27 年 3 月 3 日

新宅勇太

2. 附属動物園部（飼育）

- (1) 動物愛護管理法関係（愛知県動物保護管理センター）

- ① 動物愛護管理法に関する手続きへの仕様を目的とした委任状作成 平成 26 年 4 月

- ② 第一種動物取扱業変更届出書ならびに特定動物飼養・保管許可変更届出書の提出

平成 26 年 4 月

- ③ 特定動物飼養・保管増減届出書の提出（平成 25 年度 1 月～3 月分）

平成 26 年 4 月

- ④ 特定動物飼養箇所変更に関する申請及び廃止届の提出

平成 26 年 4 月

- ⑤ 特定動物取扱責任者の氏名変更に伴う届出の提出

平成 26 年 5 月

- ⑥ 特定動物飼養・保管増減届出書（平成 26 年度 4 月～6 月分）ならびに

特定動物飼養・保管廃止届出書の提出

平成 26 年 7 月

- ⑦ 特定動物飼養・保管許可申請書ならびに変更許可申請書の提出

平成 26 年 7 月

- ⑧ 特定動物飼養・保管許可申請書ならびに廃止届出書の提出

平成 26 年 10 月

- ⑨ 特定動物飼養・保管廃止届出書の提出

平成 26 年 10 月

- ⑩ 特定動物取扱責任者の氏名変更に伴う届出の提出

平成 26 年 10 月

- ⑪ 特定動物飼養・保管増減届出書の提出（平成 26 年度 7 月～9 月分）

平成 26 年 10 月

- ⑫ 特定動物飼養・保管増減届出書の提出（平成 26 年度 10 月～12 月分）

平成 27 年 1 月

- (2) 外来生物法関係（環境省中部地方環境事務所）

- ① 特定外来生物の使用等許可者の変更届の提出

平成 26 年 4 月

- ② 特定外来生物飼養状況届出書の提出

平成 26 年 6 月

- (3) その他

- ① 危険物安全協会定期総会

平成 26 年 4 月 24 日

堀込亮意

- ② 宮島サル調査（広島県廿日市市）

平成 26 年 5 月 27 日

伊谷原一

- ③ 防火管理者講習（犬山市役所）

平成 26 年 7 月 17 日～7 月 18 日

根本慧

- ④ 宮島サル調査（広島県廿日市市）

平成 26 年 8 月 27 日～8 月 29 日

根本慧

- ⑤ 合同高齢・障害者雇用促進セミナー（愛知県稲沢市）
平成 26 年 11 月 17 日 根本慧
- ⑥ ワタボウシパンシェの引取り（静岡県伊東市・伊豆シャボテン公園）
平成 26 年 12 月 16 日～ 12 月 18 日 岡部直樹、根本慧
- ⑦ スタードームの設営（ケヤキの森、無料休憩所裏広場）
平成 27 年 1 月 13 日～ 1 月 14 日
指導：今田文、猪股萌子（九州フィールドワーク研究会）
- ⑧ 除角見学実習及び飼育視察（愛知県名古屋市・東山動植物園）
平成 27 年 3 月 23 日 木村直人、鏡味芳宏



スタードーム設営

3. 附属動物園部（動物病院、獣医療関係）

(1) 獣医療関係

- ① 飼育動物診療施設届出事項変更届の提出（愛知県西部家畜保健衛生所尾張支所）
平成 26 年 4 月・12 月
- ② 動物病院遺漏エックス線線量当量率測定の実施（テクノ中部）
平成 26 年 8 月・平成 27 年 2 月

(2) 麻薬及び向精神薬取締法関係

- ① 向精神薬試験研究施設設置者登録証記載事項変更届、
ならびに麻薬免許証記載事項変更届の提出
（愛知県健康福祉部健康担当局医薬安全課および江南保健所） 平成 26 年 4 月
- ② 麻薬研究者免許申請書の提出（交代・新規）
（愛知県健康福祉部健康担当局医薬安全課および江南保健所） 平成 26 年 10 月
- ③ 麻薬管理者免許申請書の提出（交代・新規）ならびに
麻薬施用者免許申請書の提出（更新）（愛知県江南保健所） 平成 26 年 11 月
- ④ 年間麻薬譲渡譲受届の提出（麻薬研究者分・麻薬施用者分）
（愛知県健康福祉部健康担当局医薬安全課および江南保健所）
平成 26 年 10 月・11 月
- ⑤ 麻薬施用者免許申請書の提出（新規）（愛知県江南保健所） 平成 26 年 12 月
- ⑥ 麻薬免許証返納届の提出
（愛知県健康福祉部健康担当局医薬安全課および江南保健所） 平成 27 年 1 月
- ⑦ 年間向精神薬輸入・輸出・製造届の提出（愛知県江南保健所） 平成 27 年 1 月

(3) 銃砲刀剣類所持等取締法関係

- ① 銃砲刀剣類所持許可証書換申請書の提出（麻醉銃）
（犬山警察署生活安全課保安係） 平成 26 年 4 月
- ② 銃砲一斉検査（麻醉銃）（犬山警察署生活安全課保安係） 平成 26 年 4 月

(4) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係

- ① 特別管理産業廃棄物発生事業場変更報告書の提出
（愛知県尾張県民事務所廃棄物対策課） 平成 26 年 4 月
- ② 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出（株式会社イープラネット）
平成 26 年 6 月

(5) 感染症法関係

- ① 輸入サル飼育施設指定変更届出書の提出（厚生労働省結核感染症課） 平成 26 年 4 月
- ② 高病原性鳥インフルエンザ対応マニュアルの改訂 平成 26 年 4 月

(6) 獣医師法関係

- ① 第 22 条の届出の提出（愛知県西部家畜保健衛生所尾張支所） 平成 27 年 1 月

4. 事務部

- (1) 科学研究費助成事業実務担当者向け説明会（愛知県名古屋市・名古屋大学）
平成 26 年 7 月 2 日 今井由香
- (2) 平成 27 年度科学研究費助成事業公募要領等説明会（愛知県名古屋市・名城大学）
平成 26 年 9 月 11 日 石田千佳

収益事業

I 動物園付帯事業

1. ミュージアムショップの運営

場所：ビクターセンター内

取扱商品：書籍、民俗民芸品、美術作品、オリジナル雑貨、菓子類、委託販売品等

オリジナル商品の開発：ハンドタオル、ソックス、シール、メモ帳など

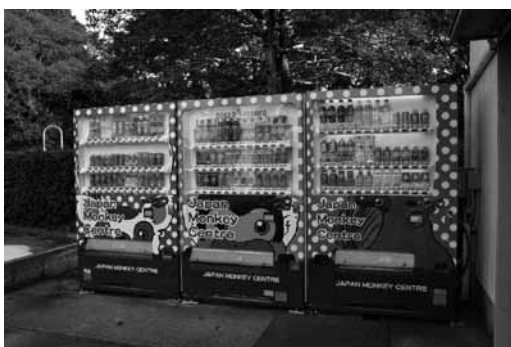


ミュージアムショップ



オリジナル商品（シール・メモ帳）

2. 自動販売機の設置



オリジナルラッピングを施した自動販売機

Ⅱ 土地・建物の賃貸事業

1. 犬山市大字犬山字官林他 土地建物
賃貸先：京都大学
目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究
2. 犬山市大字栗栖字古屋敷他 土地建物
賃貸先：京都大学
目的：霊長類の研究施設
3. 犬山市大字善師野字小野洞他 土地
賃貸先：京都大学
目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究
4. 犬山市大字犬山字官林（JMC 管理棟） 建物
賃貸先：京都大学
目的：教育等
5. 犬山市大字犬山字官林（JMC 管理棟） 建物
賃貸先：（株）名鉄インプレス
目的：日本モンキーパークの運営
6. 犬山市大字犬山字官林 駐車場施設
賃貸先：（株）名鉄インプレス
目的：駐車場

經理

I 計算書類

正味財産増減決算書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	1,538,044	▲ 1,538,044
基本財産受取利息		396,904	▲ 396,904
基本財産売却収益		1,141,140	▲ 1,141,140
事業収益	137,686,080	182,454,897	▲ 44,768,817
動物園入園料	57,801,864	150,193,066	▲ 92,391,202
動物園附帯事業	31,378,825	32,261,831	▲ 883,006
賃貸事業	48,505,391		48,505,391
駐車場	23,112,000		23,112,000
土地・建物	25,393,391		25,393,391
受取事務受託料		1,590,000	▲ 1,590,000
事務受託料		1,590,000	▲ 1,590,000
受取寄附金	131,214,841	130,094,525	1,120,316
受取寄附金	131,014,804	129,894,488	1,120,316
受取寄附金振替額	200,037	200,037	0
雑収益	2,590,872	3,599,172	▲ 1,008,300
受取利息	23,717		23,717
雑収入	2,567,155	3,599,172	▲ 1,032,017
経常収益計	271,491,793	319,276,638	▲ 47,784,845
(2) 経常費用			
事業費	243,297,559	258,392,711	▲ 15,095,152
人件費	113,219,242	130,531,466	▲ 17,312,224
飼料費	13,959,617	21,126,433	▲ 7,166,816
水道光熱費	41,681,232	38,595,422	3,085,810
幹旋手数料	2,137	1,468,948	▲ 1,466,811
業務委託費	30,502,065	19,381,200	11,120,865
租税公課	8,159,915	1,067,700	7,092,215
減価償却費	11,909,065	7,994,257	3,914,808
退職給付引当金		1,223,240	▲ 1,223,240
その他経費	23,864,286	37,004,045	▲ 13,139,759
管理費	11,978,452	10,422,810	1,555,642
人件費	4,741,176	7,513,693	▲ 2,772,517
旅費交通費	125,620	408,257	▲ 282,637
会議費	179,748	835,621	▲ 655,873
通信運搬費	691,087	606,166	84,921
その他経費	6,240,821	1,059,073	5,181,748
予備費	0	1,590,000	▲ 1,590,000
予備費		1,590,000	▲ 1,590,000
経常費用計	255,276,011	270,405,521	▲ 15,129,510
当期経常増減額	16,215,782	48,871,117	▲ 32,655,335

科 目	当年度	前年度	増 減
1. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	2,048,180	3,375,474	▲ 1,327,294
指定正味財産からの繰入額		22,000,000	▲ 22,000,000
経常外収益計	2,048,180	25,375,474	▲ 23,327,294
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	53,638		53,638
経常外費用計	53,638		53,638
当期経常外増減額	1,994,542	25,375,474	▲ 23,380,932
当期一般正味財産増減額	18,210,324	74,246,591	▲ 56,036,267
一般正味財産期首残高	52,652,833	▲ 21,593,758	74,246,591
一般正味財産期末残高	70,863,157	52,652,833	18,210,324
II 指定正味財産の部			
受取寄付金	163,000,000	3,000,000	160,000,000
寄附金	163,000,000	3,000,000	160,000,000
固定資産減少額	▲ 200,037	▲ 200,037	0
固定資産償却減少額	▲ 200,037	▲ 200,037	0
固定資産受贈益	595,848,254		595,848,254
土地受贈益	595,848,254		595,848,254
一般正味財産への振替額	▲ 127,000,000	▲ 22,000,000	▲ 105,000,000
当期指定正味財産増減額	631,648,217	▲ 19,200,037	650,848,254
指定正味財産期首残高	6,992,781	26,192,818	▲ 19,200,037
指定正味財産期末残高	638,640,998	6,992,781	631,648,217
III 正味財産期末残高	709,504,155	59,645,614	649,858,541

正味財産増減計算書内訳表

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0
事業収益	69,913,105	67,772,975	0	137,686,080
動物園入園料	57,801,864			57,801,864
動物園付帯事業	12,111,241	19,267,584		31,378,825
賃貸事業	0	48,505,391	0	48,505,391
駐車場		23,112,000		23,112,000
土地・建物		25,393,391		25,393,391
受取寄附金	129,722,091	0	1,492,750	131,214,841
友の会会費収入			1,492,750	1,492,750
受取寄附金	129,522,054			129,522,054
受取寄附金振替額	200,037			200,037
雑収益	2,059,539	0	531,333	2,590,872
受取利息			23,717	23,717
雑収入	2,059,539		507,616	2,567,155
経常収益計	201,694,735	67,772,975	2,024,083	271,491,793
(2) 経常費用				
事業費	225,432,163	17,865,396	0	243,297,559
給与手当	96,427,496	979,027		97,406,523
謝金	412,302			412,302
法定福利費	11,447,841	120,504		11,568,345
福利厚生費	308,872			308,872
旅費交通費	326,011			326,011
研究旅費	539,120			539,120
研究会費	89,000			89,000
調査研究費	165,289			165,289
出版費	635,712			635,712
普及事業費	1,101,518			1,101,518
展示費	82,543			82,543
飼料費	13,959,617			13,959,617
動物購入費	756			756
衛生薬器費	1,655,498			1,655,498
サル輸送費	327,607			327,607
施設整備費	11,118,424			11,118,424
販売費		1,354,310		1,354,310
備用品費	3,157,925			3,157,925
被服費	831,509			831,509
水道光熱費	39,487,483	2,193,749		41,681,232
車両費	707,241			707,241
幹旋手数料	2,137			2,137
業務委託費	17,868,690	12,633,375		30,502,065
租税公課	7,710,818	449,097		8,159,915
諸会費	439,990			439,990

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
補償費	171,446			171,446
通信運搬費	630,558			630,558
雑費	529,829			529,829
減価償却費	11,810,431	98,634		11,909,065
賞与引当金繰入額	3,486,500	36,700		3,523,200
管理費			11,978,452	11,978,452
給与手当			4,096,105	4,096,105
法定福利費			482,014	482,014
福利厚生費			16,257	16,257
旅費交通費			125,620	125,620
備品費			1,373,568	1,373,568
会議費			179,748	179,748
通信運搬費			691,087	691,087
諸会費			25,100	25,100
水道光熱費			2,193,749	2,193,749
減価償却費			92,862	92,862
租税公課			167,448	167,448
業務委託費			2,186,000	2,186,000
車両費			61,499	61,499
補償費			42,864	42,864
賞与引当金繰入額			146,800	146,800
雑費			97,731	97,731
経常費用計	225,432,163	17,865,396	11,978,452	255,276,011
当期経常増減額	▲ 23,737,428	49,907,579	▲ 9,954,369	16,215,782
1. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産受贈益	2,048,180			2,048,180
車輛運搬具受贈益	1,800,000			1,800,000
図書受贈益	248,180			248,180
経常外収益計	2,048,180	0	0	2,048,180
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	53,638			53,638
経常外費用計	53,638	0	0	53,638
当期経常外増減額	1,994,542	0	0	1,994,542
他会計振替額	23,456,483	▲ 23,456,483	0	0
当期一般正味財産増減額	1,713,597	26,451,096	▲ 9,954,369	18,210,324
一般正味財産期首残高			52,652,833	52,652,833
一般正味財産期末残高	1,713,597	26,451,096	42,698,464	70,863,157
Ⅱ 指定正味財産の部				
受取寄附金	163,000,000	0	0	163,000,000
受取寄附金	163,000,000			163,000,000
固定資産減少額	▲ 200,037			▲ 200,037
固定資産償却減少額	▲ 200,037			▲ 200,037
固定資産受贈益	595,848,254	0	0	595,848,254
土地受贈益	595,848,254			595,848,254
一般正味財産への振替額	▲ 127,000,000			▲ 127,000,000
当期指定正味財産増減額	631,648,217	0	0	631,648,217
指定正味財産期首残高	6,992,781			6,992,781
指定正味財産期末残高	638,640,998			638,640,998
Ⅲ 正味財産期末残高	640,354,595	26,451,096	42,698,464	709,504,155

貸借対照表

平成 27 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	46,946,751	65,940,556	▲ 18,993,805
寄附金預金	3,480,066	2,203,545	1,276,521
未収入金	556,000		556,000
仮払金	1,855		1,855
流動資産合計	50,984,672	68,144,101	▲ 17,159,429
2 固定資産			
基本財産			
定期預金		22,000,000	▲ 22,000,000
土地	378,300	378,300	0
建物	3,414,444	3,614,481	▲ 200,037
基本財産合計	3,792,744	25,992,781	▲ 22,200,037
特定資産			
宮島預金	6,000,000	3,000,000	3,000,000
動物園施設整備資金	2,000,000		2,000,000
土地	595,848,254		595,848,254
退職給付引当預金	23,117,000	23,117,000	0
特定資産合計	626,965,254	26,117,000	600,848,254
その他固定資産			
建物	58,607	117,387	▲ 58,780
建物附属設備	39	39	0
構築物	10,852,820	11,297,333	▲ 444,513
機械装置	5,797,821	1,589,147	4,208,674
車両運搬具	1,797,238	250,976	1,546,262
器具備品	2,867,558	1,271,005	1,596,553
動物	39,580,751	36,886,123	2,694,628
図書	1,086,394	1,125,154	▲ 38,760
雑設備	2	2	0
土地	754,611	754,611	0
電話加入権	18,301	18,301	0
ソフトウェア	371,448		371,448
その他固定資産合計	63,185,590	53,310,078	9,875,512
固定資産合計	693,943,588	105,419,859	588,523,729
資産合計	744,928,260	173,563,960	571,364,300
II 負債の部			
1 流動負債			
仮受金	166,240	90,801,346	▲ 90,635,106
未払金	8,470,865		8,470,865
賞与引当金	3,670,000		3,670,000
流動負債合計	12,307,105	90,801,346	▲ 78,494,241
2 固定負債			
退職給付引当金	23,117,000	23,117,000	0
固定負債合計	23,117,000	23,117,000	
負債合計	35,424,105	113,918,346	▲ 78,494,241

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
受取寄付金	38,799,963	3,000,000	35,799,963
固定資産受贈益	3,992,781	3,992,781	0
受贈土地	595,848,254		595,848,254
指定正味財産合計	638,640,998	6,992,781	631,648,217
(うち基本財産への充当額)	(3,792,744)	(3,992,781)	(▲200,037)
(うち特定資産への充当額)	(603,848,254)	(3,000,000)	(600,848,254)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	70,863,157	52,652,833	18,210,324
(うち特定資産への充当額)	(23,117,000)	(23,117,000)	(0)
正味財産合計	709,504,155	59,645,614	649,858,541
負債及び正味財産合計	744,928,260	173,563,960	571,364,300

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

基本財産のうち建物及びその他固定資産は定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金

期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	22,000,000		22,000,000	0
土地	378,300			378,300
建物	3,614,481		200,037	3,414,444
小 計	25,992,781	0	22,200,037	3,792,744
特定資産				
宮島預金	3,000,000	3,000,000		6,000,000
動物園施設整備資金		2,000,000		2,000,000
土地		595,848,254		595,848,254
退職給付引当預金	23,117,000			23,117,000
小 計	26,117,000	600,848,254	0	626,965,254
合 計	52,109,781	600,848,254	22,200,037	630,757,998

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土地	378,300	(378,300)		
建物	3,414,444	(3,414,444)		
小 計	3,792,744	(3,792,744)	0	0
特定資産				
宮島預金	6,000,000	(6,000,000)		
動物園施設整備資金	2,000,000	(2,000,000)		
土地	595,848,254	(595,848,254)		
退職給付引当預金	23,117,000		(23,117,000)	(23,117,000)
小 計	626,965,254	(603,848,254)	(23,117,000)	(23,117,000)
合 計	630,757,998	(607,640,998)	(23,117,000)	(23,117,000)

4. 担保に提供している資産

なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び差引計

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び差引計は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	差引計
基本財産			
土地	378,300		378,300
建物	8,232,000	4,817,556	3,414,444
小 計	8,610,300	4,817,556	3,792,744
特定資産			
土地	595,848,254		595,848,254
小 計	595,848,254	0	595,848,254
その他固定資産			
土地	89,732,511	89,673,904	58,607
建物附属設備	23,867,614	23,867,575	39
構築物	407,465,799	396,612,979	10,852,820
機械装置	12,972,360	7,174,539	5,797,821
器具及び備品	27,347,771	24,480,213	2,867,558
車両運搬費	3,888,150	2,090,912	1,797,238
動物	149,833,140	110,252,389	39,580,751
図書	21,050,772	19,964,378	1,086,394
雑設備	2		2
土地	754,611		754,611
電話加入権	18,301		18,301
ソフトウェア	464,310	92,862	371,448
小 計	737,395,341	674,209,751	63,185,590
合 計	1,341,853,895	679,027,307	662,826,588

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替	200,037
受取寄附金の振替額	127,000,000
合 計	127,200,037

附属明細書

1. 基本財産及び特定財産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金		3,670,000			3,670,000
退職給付引当金	23,117,000				23,117,000

財産目録

平成 27 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	618,519
小口現金			1,033,000
預金	普通預金 (寄附)	運転資金	
	名古屋銀行犬山支店		2,213,661
	三菱東京UFJ銀行犬山支店		1,266,405
	普通預金 (寄付) 計		(3,480,066)
	普通預金	運転資金	
	三菱東京UFJ銀行犬山支店		665,482
	三菱東京UFJ銀行犬山支店		22,547,642
	新生銀行名古屋支店		82,108
	普通預金計		(23,295,232)
	定期預金		
	三菱東京UFJ銀行犬山支店	運転資金	22,000,000
未収入金	賃借料他	収益事業に供する家賃の未収入分	556,000
仮払金	販売委託費	収益事業に供する委託販売手数料の仮払分	1,855
流動資産合計			50,984,672
(固定資産)			
基本財産			
土地	犬山市栗栖	公益目的事業を行うために不可欠な特定の財源	378,300
建物	犬山市栗栖	公益目的事業を行うために不可欠な特定の財源	3,414,444
	基本財産計		(3,792,744)
特定資産			
宮島預金	普通預金	宮島で捕獲予定のサルの飼育費用の財源として	6,000,000
	三菱東京UFJ銀行犬山支店	している	
動物園施設整備資金	定期預金	公益事業の積立資産であり施設整備費として	2,000,000
	三菱東京UFJ銀行犬山支店	管理されている資金	
土地	犬山市犬山 42 - 2 他	公益事業に供する施設の敷地等に使用している	595,848,254
退職給与引当預金	定期預金	職員退職金積立預金	23,117,000
	新生銀行名古屋支店		
	特定資産計		(626,965,254)
その他の固定資産			
建物	猿舎他	公益目的事業を行うための事業財産	58,607
建物附属設備	モンキーバレイ遊具他		39
構築物	スクイジングゲージ他		10,852,820
機械装置	加圧ポンプ他		5,797,821
車両運搬費	ミニキャブトラック他		1,797,238
器具備品			2,867,558
動物	オランウータン他		39,580,751
書籍	寄生虫学他		1,086,394
雑施設	商標権他		2
土地	犬山市犬山官林		754,611
電話加入権	No.0568-61-2327		18,301
ソフトウェア	会計ソフト		371,448
	その他の固定資産計		(63,185,590)
固定資産合計			693,943,588
資産合計			744,928,260

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)			
仮受金		収益事業に供する委託販売の売上金の仮受金	166,240
未払金		公益事業に供する飼料費等の未払分	8,470,865
賞与引当金		従業員に対する賞与の支払に備えたもの	3,670,000
流動負債計			12,307,105
(固定負債)			
退職給付引当金		従業員に対する退職金の支払に備えたもの	23,117,000
固定負債計			23,117,000
負債合計			35,424,105
正味財産合計			709,504,155

**公益財団法人 日本モンキーセンター年報
平成 26 年度**

〈非売品〉

発行日 平成 28 年 1 月 25 日

発行者 公益財団法人 日本モンキーセンター

〒484-0081 愛知県犬山市大字犬山字官林26番地

電話 (0568) 61-2327

FAX (0568) 62-6823

京都大学霊長類学・ワイルドライフ

サイエンスリーディング大学院

〒606-8203 京都市左京区田中関田町 2-24

京都大学野生動物研究センター内

電話 (075) 771-4388

印刷所 オリンピア印刷株式会社

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-13-6F

電話 (06) 6445-0321

Japan Monkey Centre
Annual Report

2014



協力：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院
Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science, Kyoto University